京城日報

議會繰上説

京城日報

政府は、近日中臨時議會を召集するであらう。否召集するのが當然であると、この數日來、諸方面に於て頻りに唱道されつゝあつたのであるが、東電の報ずる處に依れば、臨時議會は召集されない、其代りに、通常議會を繰上げて、十二月一日に開會する政府の意嚮であると。此の報が果して實現さるゝものか、何うか、今直に之を豫斷することは出來ないが、臨時議會にもせよ、通常議會にもせよ其稱呼の如きは問ふを要しない、兎に角早く帝國議會を召集の必要はあるのである。震災の爲に、政府は種々臨機應急の措置を取つた、而して今日迄の處、國民は政府の善謀果斷を稱し、大いに信賴し深く感謝して居る更に吾人は去る十二日を以て降し給ひし詔書を拜するに及むで、今後と雖も、政府が大命を奉行するに當りて、愼むで聖旨を奉體し、能く其全力を盡すに於ては、啻に國難を凌ぐに止まらず、禍ひを轉じて福となすことも亦決して至難の業に非ざることを信ずるのであるが、併しながら震災後救急の處置が一段落を告げたならば、政府は救濟復興の大策に關し國民と共に愼重に之を講究し、萬全を期し無ければならぬ。其れは國法の命ずる處であるのみならず、又實際、國民の至誠を效さしむる爲めにも、最も緊切なる措置である。即ち政府の非常緊急の處置を取らざるべからざる時機が經過した以上は成るべく速かに帝國議會を召集して國民の代表者等と共に善後の大策を研究し議定せねばならぬことである。然も吾人は敢て形式を論ふることを急ぐものではない、既往に於ける緊急勅令や、責任支出の承認を求むることの如きは、寧ろ第二次的の事項であるとさへ思ふ位であるが故に、今日以後と雖も議會召集の準備を整へんが爲めに、或は議會開會期を目前に控へつゝあるといふ遠慮の爲に、萬一にも當面緊急の政務に、少しでも遲滯を生ずるの虞あらば、決して議會の召集を急ぐに及ばぬと思ふのである。

然るに政府は臨時議會召集の意思が無いとすれば、其は叙上吾人の疑懼するが如き支障あるが爲めか或は此際臨時議會を召集するとして、如何に急速に準備手續を了すとも、開會は十月に入るべく、而して相當の會期を見積れば、通常議會の開會期迄に長くとも一月半、或は一月の餘日をも殘し得ないであらう。斯くては、震災善後一年の複雜なる財政經濟の諸政策を按疑して、豫算を編成する時日が足らない懸念かも知れぬ、何れにしても、臨時議會の召集が、何等の支障なく出來得るものならば、誠に結構であるけれども、事情の許さざるものあらば、强ひて之を要求するの理由無く、又其必要も無いと信ずる。吾人は通常十二月中旬の開會期を、同月一日に繰上ぐるだけでも、政府が餘程の精勵の結果であらねばならぬことを諒解するものである。尙十二月より一月にかけて、月餘に亘る長き休會期を短縮しなければならぬといふ世論は、山本内閣の英斷に依りて、來るべき議會から實現さるゝことを希望する。

非常時に於ける國民の覺悟

日銀總裁談

正金銀行を通じて正式資金の貸出しは生絲の輸出港を何處に定めるかと云ふ點に就て政府の意嚮が未定であるから從つて生絲資金の融通は未定である日銀の兌換券は十四億に達したであらうとの件に就ては自分は數字を能く記憶しないが其位に達したものと思ふモナトリアム實施の效果は頗る偉大であれば幸ひ一時安定する事を得た災害地以外の地方に於てはモナトリアムを標準として營業をやつてゐるから其效果は全國に及んで居ると云つても過言ではない併し現在所ではモナトリアムの擴張も期間の延期も政府に於て考へてゐない事と信ずる。結局災害緊急時に際して預金者が輕擧妄動せず銀行と兩立するつもりで必要以上の預金を引出す事をしなかつたので案外容易に財界の建て直しが出來るだらう。

今回の震災善後策につけ各方面から政府に對する希望注文殺到の姿であるが政府としては官民の協力に依つて此大事を遂行するつもりである中には政府の方針確立の遲々たるを攻擊する向もあるが今後の善後復興及び罹災者救援の方策を樹つる事は種々の困難が錯綜して居るから愼重に各般の調査を要し輙々しく決定する事は出來ない、但し夫れが爲に當面の救濟を閑却する事は出來ない否寧ろ局面は緊急救濟に沒頭して居る有樣であるから此點は國民一般も諒とし置ひたい尙復興救濟に關する内閣の意嚮を語つて置きたいが其要項を擧ぐれば

一、政府は帝都の復興が帝國の運命に至大の關係ありとし斷乎として大々的復興を遂行すべく之か爲にはあらゆる困難を排して使命を果すつもりである

一、此大事を行ふに當りては勿論擧國一致の力に俟たなければならない國民一般も政府の決意に協力を惜むものでないと信ず現に政派の異動を問はず協力の實が現れて居るのは協同一心の高潮に達して居る證據と思はれる政府は此高潮に乘じて極力效果を擧ぐるの決心である、

一、之が爲に特別の機關を設置するは一般政務の澁滯を避くる所以であるに鑑みた結果である、政府部内では去三日頃から此計畫を立て既に二三の立案もあり今や大體の骨子を直に發表し得る運ひになつたがこの機關の運用に付いても周圍と協議し充分の監督をして貰ひ度い斯くて大體の目算が立てば臨時議會を召集するが肝要である

一、銀行、保險、産業、治安、教育などの復活仲裁などに付ては萬遺算なき方策を考へてゐる之れも又國民一致の力を要するのであるが、政府は斷じて此の災害の爲に缺陷を生ずるが如き事はない、國家の力を充分發揮して個人及社會の幸福の爲め貢獻する決心である以上は抽象的な事柄であるが首相以下各大臣は何れも非常の決心と考慮とを以て事に當る覺悟であるから國民は政府の行ふ所に信賴して翼贊するは勿論である(東京電報)

支那は元首鼎立か

三國時代に逆轉する

【十二日天津通信】北京に於ては直隷派が年來の慾望たる曹錕氏を大總統に擁立する運動が漸次進捗して來た。法理的に解釋せば幾多の難點があるけれども要は實力派が覇を唱ふる事は支那の歴史が語ふる所で强も怪しむに足らない。國會議員の過不足の如きは抑も末枝で來る十月十日には曹錕氏は北京に入京して大總統の印綬を帶び長江以北に號令することになろう。而して北京には直隷派の大總統と政府と國會が覇を唱へ正統を叫ぶことになる一方、六月十三日直隷派に驅逐せられた大總統黎元洪氏を擁する一派即ち反直隷派は之に對抗して北京に大總統と政府と國會を設けることになつてゐる。

始め反直隷派は輿論の力と直隷派を共同の敵とする諸勢力とを以て直隷派の此野心を打破する目的を有してゐたが四圍の事情は徒手空拳決して直隷派に優ることは出來なかつた。之が爲め黎元洪氏李根源氏等一派は本月八日天津から上海に向ひ既に政府組織に着手したといふ。茲に於て北京に直隷派の政府上海には反直隷派の政府が現出して南北對峙の新しい局勢が吾人の眼前に展開せらるゝ譯である更に南北の對峙に就て忘るゝことの出來ない人は孫文氏である。同氏は目下廣東に在つて大元帥と稱し民黨を提げて直派に對抗してゐるのみでなく黎元洪氏一派に對しても決して好意を有せないし或は直隷派を討つといふ點に於て黎氏を擁する政學會と民黨は提携することないではないが自尊心の强き孫文氏一派が果して之に出づるかどうか。若し政學會と民黨が一致せざるに於ては孫文氏は南から廣東に在つて政府を組織し年來の主張たる北伐を號召するであらう。斯くの如き狀態に立到らば支那には三個の政府と三人の元首が現れる三國誌が示すやうな天下は三分に置かれる譯である

此新しき形勢は曹錕氏の大總統たるに於て現出されたものであるが其結果たるや遂に武力を以て解決するといふ形勢に進むことは明かで、現に四川に於て楊森氏は失敗し湖南では譚延闓氏が進出したことは直隷派の爲めに一敵國たるを失はない。形勢が更に進んで張作霖氏が起つとせば直隷派の政府は最も大打擊を蒙るが、その張氏は昨年の大失敗に鑑み若し討直の軍が四方に起つた場合ならば兵を畿内に入れるであらうが、目下の所にては徐ろに時局を傍觀するであらう。

故に若し今秋支那に戰ひが起るとせばそれは長江の流域に於ける曹錕氏派と黎元洪氏派の小競合である。某支那青年は『日本は大災に苦しむが支那は人禍に悩まされる』と語つたのは感を同じうする(九、一二)

戀愛の倫理的基礎(上)

文學博士　吉田靜致

たとへば畫家の繪を鑑賞する場合、如何に其部分々々に分析解剖して見たところでその繪の持つて居る眞の藝術的價値は分らないであらう。たゞその繪の持つところの藝術的味を味ひ得る者のみその價値を知ることが出來るのである。人間の生命の燃燒たるところの戀愛を味はひ且理解することも略之と同一である。

而してこの戀愛なるものを倫理的見地から觀察しようとすると事は極めて複雜となつて來るのである。倫理的解決を決定するものは各人の持てる人生觀の相違に據るのである之は獨り戀愛ばかりでなく、戰爭にせよ、國際問題にせよ吾々確立した人生觀に依つて初めて解決されるのである。そこで私の人生觀を簡單に述べて見ると、要するに人間は他の動物とは本質的に相違してゐると云ふ事である更に之を平易に云ふならば人間は他の動物と異つて單なる生理的存在物では無く、精神的生活を送つてゐるものであると云ふことである。而してその精神生活とは何であるかと云へば同一體の普遍と云ふところに特徵があるのである。吾々お互は身體と云ふ點から考へれば皆それぞれで異つてゐるのであるが世界十六億を數ふる人間も誰一人として同一なものはないのである。甲乙丙の各その顏貌の異れるが如くその精神生活も亦異つて居るのである。然しながら萬人が萬人異つて居るには居るのだが、全然異つて居るかと云へば決してそうではない。即ち吾々お互は自己と云ふ特殊の相を以て象られてゐるが、特殊の相は同一體の普遍である。特殊化された萬人共通の普遍である。

朝刊(朝夕刊合せて十頁)
本紙定價 一ヶ月金壹圓參拾錢 廣告料 發行兼編輯人 泥谷良次郎 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話(光)長四〇番 長四〇二番 振替京城三〇〇番

震災義捐金(京城府扱)(第九回)

千圓　漢江通第五區　荒井初太郎
千圓　同　合資會社間組
三百圓　同　津田辰次郎
三百圓　同　福壽洋行
三百圓　同　大和與次郎
二百圓　同　朝鮮計算株式會社
二百圓　同　宮崎吉太郎
二百圓　同　陣内茂吉
百圓　同　龍山水產株式會社
百圓　同　戸張又市
百圓　同　土肥鹿四郎
百圓　同　山本幸次郎
百圓　同　一
五十圓　同　龍山運送店(合組)
五十圓　同　山崎新
五十圓　同　山田龜太郎

▲三十圓同兒玉琢▲三十圓同柴崎周造▲二十圓同藤野源藏▲二十圓同環谷秀三郎▲二十圓同田中興吉▲廿圓同山崎榮喜助▲廿圓同阿部喜之助▲十五圓同御厨休七郎▲十圓同齋藤貞一郎▲十五圓同京城葬儀株式會社龍山支店▲十圓同清水國太郎▲十圓同富田淸彦▲十圓同吉岡宇太郎▲十圓同上野孝▲十圓同水野源藏▲十圓同莊野伊四郎▲十圓同本田淸太郎▲十圓同森田政次郎▲十圓同松下市三郎▲十圓同前田新壽郎▲十圓同大塚勝吉▲十圓同梅原琢次 [illegible]

千十九圓　南大門通二丁目　小林源六

百圓　黃金町四丁目　南鄕公利
百圓　同　北方末吉
七十圓　同　木村淺吉
五十圓　同　金子淸藏
五十圓　同　石田愛之助
五十圓　同　高井兵三郎
五十圓　同　荷福仁助

[illegible]

五百圓　同　新井虎太郎
五百圓　同　土佐紙株式會社京城支店
三百圓　同　西川篤次郎
三百圓　同　中山秀一
二百圓　同　土井誠一
二百圓　同　北村はな
二百圓　同　範多商會
百五十圓　同　瀬戸勝兵衛
百五十圓　同　南方商店
百五十圓　同　馬場正一
百圓　同　清水芳松
百圓　同　日比與一
百圓　同　吉田卯之助
百圓　同　北村正夫商店
百圓　同　共益社
五十圓　同　東洋物產會社
五十圓　同　朝鮮羅紗製品株式會社
五十圓　同　森己三郎
五十圓　同　堀田又三郎
五十圓　同　增田直三郎
五十圓　同　井手商店
五十圓　同　福井商店
五十圓　同　日獨貿易合名會社

[illegible]

計金壹萬八百六拾八圓五拾錢
累計金拾四萬四千百貳圓參拾六錢

最新刊
大阪屋號書店

あんわた　ナシ(しんナシ)保證付
綿　京印
綿店　呉服店ニアリ
朝鮮製綿會社　京城府蓮町　電話龍山二一六

鐵工部　機械及諸金物製作修理並ニ設計
營業部　機械特約販賣
三菱セメント特約販賣
耐火煉瓦特約販賣
合資會社　アサヒ工業社　京城府岡崎町八九番地　電話龍山九五〇番

實質本位
東京竹内製金庫
東洋一の竹内製は世界第一のヱール符合機を使用す
ヱールは精巧なり
ヱールは故障なし
〔在庫品有り〕

熊平商店　京城本町

『主婦之友』愛讀者諸姉へ急告

東京の大地震と大火災のために、わが社も遂に全燒いたしました。けれども幸にして印刷製本部は安全地域にありて無事でございます。また社の重要書類は總て金庫内にありて燒失を遁れましたから、讀者諸姉に御迷惑を及ぼす點は毫もあるまいと存じます。此段謹んで御報告申上げます。尙ほ『主婦之友』の十月號は既に印刷の大部分を終つてゐましたが、わが社は此の際東京大災害の大事實を皆樣にお傳へ申す爲めに十月號の『主婦之友』は

▲東京大震大火畫報　定價金六拾錢　送料金貳錢

として、本月中旬過ぎまでに發行することに改めました。史上に比類なき大慘害の眞相は獨特の寫眞と記事とに依りて、初めて詳細を盡し得ることを信じます。どうぞ御愛讀のほどをお願ひ申上げます。

大正十二年九月五日

購讀御希望の方は成るべく速かに賣捌店または左記宛に御註文のほどを願ひ上げます。

東京市牛込區榎町七番地
日清印刷株式會社内
主婦之友社臨時出張所

帝都復興勅令
閣議で告諭內容と共に決定

【東京電報】十五日の閣議に於て山本首相は官民に對する告諭の內容を決定した帝都復興に對しての勅令を出す事に決定した勅令の內容は山本首相を總裁として大臣及び各政黨主幹事所有人士を網羅して委員と爲すものもあるが帝都復興審議會は天皇直屬として約二十名の委員を之に充つるものである

横須賀軍港改築
至急理想的に行ふ

【東京電報】今回の震災に横須賀軍港は大破損を被り之が復舊に付いては當局に於いても目下調査中であるが右軍港は帝都の關門で一日も忽にすべからざるを以て速かに復舊に全力を盡す事となるべく今回は此に從來の不完全なる個所を徹底的に改築し假の理想的軍港を實現する由である

横濱港內の交通
午後九時限り禁止

【東京電報】戒嚴司令部發表　横濱港內では夜間在泊艦船と規定の外は港內の交通は午後九時限り絶對に禁止す若し同市に公用にあらずして海岸に近接し又は上陸乘艦等を爲す事ある時は衛兵の處分を受くることあるべしと

カナダ赤十字救濟決議

【東京電報】カナダ赤十字社は日本の災害救助の爲左の事項を決した
一、加奈陀赤十字社は政府の請求に基き全國に亘り救恤資金の募集を爲すこと
二、加奈陀赤十字社は救護班を派らず一切日本赤十字社の活動に信頼する事
三、加奈陀赤十字社は日本赤十字社の最も必要とする救濟材料の種類を正確に承知したい

政友會の緊急會議

【東京電報】政友會では十五日午前十時芝三緑亭假本部に於て緊急會議を開き粕谷氏を座長に推し星月幹事長より震災後幹部の處置並に同黨所屬議員の動靜を報告したる後高橋總裁より一場の演說を爲し後各自の意見を交換し政友會としては救濟善後策及び帝都復興等は調査會を設けて對策を講ずる事とし午後二時頃散會した

高橋總裁演說

【東京電報】別項政友會の緊急議員總會に於て高橋總裁の試みた演說の要旨次の如し此度の大震災は誠に有史以來の大慘事であつて各皇族の御不幸すら多く同胞の死者算なく東京其他の都邑を焦土の巷と化した事は誠に心痛に堪へない處である之に付て我黨は大に善後策を講じ復舊に付て最も力を盡し愼重なる注意を拂はねばならぬと

支拂猶豫令の擴張延期問題
松本銀行局長談

【東京電報】大藏省松本銀行局長は語つて曰く震災地域內に限定されて居る支拂猶豫令は九月三十日を以て期限となるが交渉の狀況に依り或は相當の延期を爲す事にならうが此の支拂猶豫の範圍を擴張する事は猶豫令撤廢後の事を憂ふると實行が出來るものではない又此の債務者のみの便利を計つて債權者の立ち場を考慮しないと震災後善後策の設備が之が爲め遲延し復舊事業遂滯の憂ひがあるから政府としても愼重の注意を拂つて細案の方法を講じたいと思つて居る云々

横濱貿易貨物は
阪神兩港で取扱ふ

【東京電報】震災の爲め一時横濱稅關事務は閉鎖され輸出入貨物は全部大阪又は神戸で取扱ふ事として輸入は前記兩港で陸揚の上近海船に積換へ名古屋清水兩港に臨時稅關を設置し更に神戸大阪で取扱ふ事となつた

諸會社の損害程度
と事務開始時期

【東京電報】今回の震災により諸會社の損害程度事務開始時期等について一般株主が頗る留意しつゝある所であるが秩序漸次恢復と同時に事務開始の緒についたものも相當にあり今主なる會社の消息を集めて見ると

臺灣製糖 は從來の丸の內有樂館六階の事務所で五日から事務を開始しつゝあり來月末定時總會を開く豫定

日本製油 の損害は有樂館ビルデイングの損害本所業平町の油粕製造所鶴見製油所等の燒失などを含み凡そ三十萬圓見當であるが保險金百八十萬圓ある外事業地たる秋田、越後地方は全部無事で來る十七日より事務を開始し來月二十七日定時株主總會を開く筈

古河電氣工場 の燒失は横濱電氣製作所及ケーブル工場本所伸銅所等であるが遠からず恢復の見込

北海道炭鑛汽船 は目下麴原ビルデイングに假事務所を置き事務を開始したが市內出張所は全滅並に輸送困難の爲未だ實際の事務を取扱はない

富士瓦斯紡績 の主なるものは押崎事務所押上並小名木川崎工場（復舊の見込未分）小山工場第一第二工場の大半倒壞したるが機械類は大部分使用出來得る見込で目下興業銀行ビルディング三階に假事務所を設け多分こゝで出張事務を取る筈

旭ガラス 會社の損害總額は目下調査中鶴見工場は復舊工事を開始すべく事務所及販賣店を興業銀行ビルディング五階に置いた

大日本肥料 興業銀行ビルディング大隈の本社全部燒失被害程度は横濱小野外一ヶ所の三工場の四百萬圓程度であるが燒を免れた小松川其他の工場で製造に着手す

日清製粉 會社の損害程度は小網町本社の燒失及横濱工場倉庫の一部崩壞で目下關東地方に於て中日運轉で約五百バアレルを製造し關西方面に於ては晝夜運轉に依つて凡そ二千五百バアレルの製造を實行する營業事務所は小石川小日向臺町正田方に設置

廢艦實行

【舞鶴電報】華府會議に基く廢棄艦の除籍は震災の爲め有耶無耶裡に延期となつて居つたが十四日海軍省から各鎮守府に對し除籍は二十日過ぎを以て發令する旨訓令を發した各鎮守府では當日十一隻の廢棄艦に對し悲壯なる廢艦式を擧行すべく準備中である

善良なる朝鮮人に對しては遺憾なく保護して居る
內鮮人相互の誤解なきやう
齋藤總督歸任の上聲明書發表の筈

【東京電報】急遽上京した齋藤總督は過般山本首相と打合せの結果近く朝鮮に歸任し朝鮮に於ける人心の安定を圖る爲一の聲明書を發表する筈であるが該聲明書は帝都未曾有の大震災に際し萬一日極めて少數の朝鮮人が誤解を招くが如き行動を爲した事は甚だ遺憾であるが善良なる朝鮮人に對しては毫も危害を加へず內地人同樣救護の遺憾なきを期して居るから內鮮人相互に誤解する樣な事はない日鮮融和の實を擧げよとの意味のものであると云ふ

朝鮮牛の免稅打擊
青島牛から脅威される

我國に於ける生牛肉と鳥卵は本年の十月までは現に關稅を免除せらるゝ事になつて居たのである。所が政府は今回の大震災に鑑し是等の免稅を來年三月三十一日まで延期するのみならず、其の他の生活必需品に於ても

五十餘種を 輸入關稅免除の旨發表した。これによつて需要者側は非常なる利益を得る事となる譯であるが、一方旺に內地に移出せられつゝあつた朝鮮生牛は來る十月輸入生牛の關稅徵收開始と同時に一段の活氣を呈する事となつてゐたのである。然るに引續いて輸入生牛の關稅を免除せらるゝ事となつたのみならず關東地方の交通不便とに基因して輸送途中逆戻りするもの等もあり、旁々前途の

悲觀見越に よつて已むを得ず茲に朝鮮生牛は相場の下落を豫想した模樣である。最も例年今頃より農繁期を終るまでは取引活潑を缺ぎ十一月に入つて相場頭するのが例であるが、本年は前記の如く交通不便、其他種々の事情の爲め到底例年通りの活氣を見る事は出來まいと云はれて居るが更にそればかりでなく關稅免除の爲め格安の青島牛は益々輸入せらるる

水稻豫想
平年以上の作柄

本年度の水稻豫想に付き農務當局者は語る。本年の朝鮮水稻は世間周知の如く稀有の大洪水に遭遇したのみならず西鮮には恐るべき蟲害が襲來して堤防殆ど決潰し、爲めに水田に浸つた水害は決して輕からざるものであつた。而して凡そ其被害の爲め收穫減を來す事は二、三十萬石にも及ぶであらうと推測せられて居るが、一方一般に於ける作柄と氣候の關係を見るに本年は氣候極めて順調で第一植付の當時に於て雨量の豐概至極順調に進み當時に於て既に昨年より十萬町歩の多くを植付け得た。これが大體に於て非常なる好結果を齎したもので其後更に二百十日が大いに氣遣はれたが之も無事に通過し更に厄日たる二百二十日も漸く順調に經過する事を得た。唯此の二百二十日前後に於て一時非常に豪雨が降つたので此際に多少の心配があつたでもなかつたが之も一兩日中から氣候も恢復した。此の調子で行けば今一照りで氣候は實に理想的に進んだものと云ふべく今後は例年に比しても俗に秋晴れと云ふ時期で滅多に晴天の急變はない事になつて居るのみならず一方作柄としても非常に立派に出來て居るので結局水害による收穫減を差引して尚多少の增收を見る事となる譯である要するに本年の水稻は非常なる豐作とまでは行かぬとも結局平年作以上の作柄であることは間違ひのない所であらうと云々と語つた。

黎元洪氏の南下と支那時局の變化
結局は南北分立乎

【天津十三日特信】直隷派は黎元洪氏の南下を非常に恐れた、それは黎元洪氏が未だ大總統の地位を去つて居ないので、若も同氏にして起たば北京の攝政政府も大總統選擧も約法上より論ずれば總て非法のものとなるからである。然るに黎氏はまんまと直派監視の目を免れて無事に上海に到着し直に唐紹儀氏に內閣組織の命を下し北京政府の否認等に關する大總統令を發するに違ない唐紹儀氏が起ち內閣を組織し大總統の命を奉じて憲法を制定する事に盡力するとなると第一は議員の數を如何にするかと云ふ問題になる茲に於て今日以後上海と北京で種々なる議員をなし離間を放つて敵方の中傷をすると同時に議員の爭奪は今日以上に激烈となり火花を散す事になるであらう。

議員の爭奪戰と前後して起る問題は軍事戰である。反直派は既に攝政內閣を否認し、時局混亂以來犯した色々な犯罪行爲に就て有る事無い事を擧に福を付けて各省軍民長官新聞社公團等に通電し時局混亂の責任者を擧げて之が逮捕令を發して威嚇しやうと云ふのであるが通信機關は法律上合法で有ろうが有るまいが兎に角直隷派が實權を握つて居るので反直派の不利益は云ふ迄もない

反直派の通電に對して直隷派は如何なる態度に出るかと云ふのに約法上よりすれば何うしても直隷派が敗けるに極つて居るから彼等は只默して非常總統の擁立を斷行するか或は又黎元洪氏は既に一度辭表に署名捺印したものであるから最早權利は無い。從つて又上海政府は合法的でないと否認するであらう。政策を取るとすれば其時は張作霖氏の後援を得た時の事であるが張作霖氏が果して動くや否や。彼は目から鼻へ抜ける程利巧な男で直隷派にも少しばかり色氣を見せて一方反直隷派にもちよいくく小使錢を與へて今日の如く腰を强くした。今日では反直隷派と直隷派とが稍五分五分の勢力に迄漕ぎ付けて來たのでどちらからも迂濶に手は出せない。こうなると兩方から拜み倒されるのは張作霖だから默い氣持ちのしやう筈がない。張作霖氏に取つては此狀態を繼續する事が一番安全であるから到底其何れへも當分加勢はすまい。

張作霖氏が其何れにも加擔しないとし、付かず離れずの態度を持續するものとすれば直隷派も決して積極的態度は取り得ない。四川に於ては目下直隷軍の旗色頗る振はずと雖而かも反直派が勝ち誇りたる勢ひを以て長驅して北征し得るやと云へば之又絶對に不可能である。と云ふのは今日迄四川方面に於て反直派は勝を制して居るも彼等の間には何等の聯絡もなければ統一も無い。云はゞ烏合の衆である之に反して直隷軍は數年間同一の旗印の下に左右し、よく命令が行はれる、而かもそれが完全な通信機關を持つて居るのだから七分の强みがある。

或軍事眼を有する人の談話に據ると直隷軍の陣立は內線と云つて圓を二つ重ねて置いた其內側の圓で圓の中心に參謀本部が有つて圓周に向つて指揮命令を發するのだから何れの方面へも均等に命令が傳達せられ全軍の活動を敏速にする事が出來るのに反し反直軍の陣容は外部の圓形であつて之を外線と唱へ圓の或一點から他の一點へ命令を傳へる爲には非常な差異を生じ全軍を一時に集散せしむる事は不可能である。若し張作霖軍が反直派に加へたとしても戰術上では外線の場合は內線の三倍の兵力を要するものとされて居るから反直派が直隷軍を積極的に攻擊する事は不可能であらう

若し直隷軍と反直軍とが大勢總ての豫想を裏切つて砲火の間に相見ゆると假定し其時死號は如何なる態度に出るであらうか、戰爭が若も在支外國人に何等の損害を與へない地方に於て行はれ軍隊の留守中に匪賊の跳梁する事なしとすれば列國は暫く沈默を守るであらうが支那の戰爭に付物は兵隊の掠奪が行はれる事で上海や北京天津近所で戰爭が行はれたとしたなら、列强は直に共同管理論を持ち出すであらう。

それは直隷と反直隷を問はず、支那の有識階級が最もよく知つて居る事で若も共同管理ともなればそれは支那の滅亡する時だから恐らく思ひ一度茲に至れば彼等は決して無謀な戰爭は開始するが如き事は無いであらう。然らば黎元洪氏が南下し上海に政府を樹立した事か支那の政局に及ぼす影響は必ず變化は當分の間南北分立と云ふ事に歸著し、其形式を維持するであらう。

政府反對運動
西班牙バルセロナ市に起る

【倫敦十四日發電】昨日西班牙バルセロナ市に於て分離派と職工黨とが政府反對運動を起しバルセロナの交通機關は彼等の占領する所となつた右分離派と云ふのは西班牙カタロシャ地方の獨立を主張する一派である夫れが外交問題の失敗を機會とし現政府の目的を以て起つたもので國王に對しては何等反感を有せず、又勞働者、社會黨は今回の擧に少しも關係がないのである目下バルセロナ市は政府の手で戒嚴令が布かれて居る夫れ故に反政府軍と政府軍とが對抗して居る譯であるバルセロナ以外の各地に在る軍隊中には分離派に內通して居るもの若干あるらしい然し西班牙の首府たるマドリッド市は現政府が治安を維持し今の所何等の騷擾も起つて居ない

大した事はない

【マドリッド十四日發電】半官的に發表された所に依ればバルセロナに於ける今回の事件を目して職工の叛逆と稱するは至當でない又マドリッドハウマサフルバーク等西班牙の主なる都市は至極平穩で各地軍隊は營所を出でず商店、會社、銀行は平日の如く營業し工場に於ては作業を行つてゐるバルセロナの報道に依れば同地に於ける軍事的行動は單に分離派が電信電話局等を占領した丈けで其他には變りはないと

閣僚辭表提出

【倫敦十四日發電】マドリッドに歸還した西班牙國王陛下は陸軍當局に質問し首相にバルセロナ司令官の罷免を要求し首相は反逆民間題に付諸會の召集を要求したが國王は熟考を約して明答を避けた茲に就て首相は各閣僚の辭表を纏めて提出した

暴徒に組閣中止命令

【倫敦十四日發電】西班牙國王アルフォンド皇帝はプロヘイに在る前首領ゲリシアテラを首府マドリッドに招致し內閣組織中止を命じた

朝鮮の木材界には
震災の影響はあるまい
西村殖產局長談

朝鮮木材界の趨勢と前途に就て西村殖產局長は語る。內地の大震災に就ては朝鮮から木材を送る必要があるだらうとは當初一般に考へたところで當局としても出來るだけの便宜を圖りたいと考へて營林廠材料として營林廠にある二萬尺締の內一萬尺締だけは既に他へ約束濟みであるから殘る一萬尺締だけを九月下旬までに送り出さうと計劃した然し木材は米とは異つてさう急を要するものではないし政府の計劃上の關係もあらうから只準備だけはして置くことゝし總督府の方へも其事を申込み尚新義州の木材組合に二萬尺締餘りの製材があるから之を買上げ倂せて三萬五千尺締を準備しやうとすれば一萬噸の汽船に一艘あるからと考へ何時でも必要に應じて送出すべく營林廠をして木材組合に買ひ上げの交渉を爲さしめつゝあつたところへ丁度東京から『職材料は政府既に手配せり將來必要あらば更めて交渉する』といふ電報が來たから早速當地の手配は中止したやうな次第である斯樣な有樣だから現在市中に何程の木材があるか其方はまだ調べて居らないが兎に角朝鮮の木材界は從來と殆ど變動はない筈である隨つて將來も急に內地からの交渉がない限りは何等の變動がないと觀て差支へはあるまい

朝鮮火災被害

朝鮮火災保險業法の關係上直接內地では保險契約を締約する事は出來ぬが再保險に依り目下東京、横濱、千葉、埼玉、山梨、靜岡各地に亘り若干の契約があり是が震災に對しては多少の拂戾しを行ふ筈であるが契約地方の家屋全部罹災したとしても其被害額は六萬圓以內であると

機械震災影響

機械類は內地罹災程度不明であるがモーター、電球、電線、電話器石油、發動機等は當然供給難に陷るべく觀測され各工場の被害狀況迄は不安なる狀を呈してゐるが鐵道材料、機械、機關車等の供給は目先き不足を訴ふる事が無いとの見込みで懸念は一掃さる模樣である

罹災地宛郵便電報
發信上の注意遞信當局談

朝鮮から災害地方に宛て發する郵便電報に就ては一般公衆の爲に一時も早く送達の途を開かむとし遞信當局では內地派遣員及び東京大阪下關等の關係局と絶えず連絡を執つて日夜苦心焦慮してゐるが何分鐵道不通の個所が容易に恢復せず東京大阪間の電信線の開通も意の如く進捗せぬので出來得る限りの臨時手段と迂回送達の方法を講じてゐるけれども罹災地に宛つるものであるから官公署宛の緊急のものゝ外今尙送達が出來ぬのは誠に遺憾である朝鮮としては何等かの方法で幾分にても送達せむべく最善の手段を執る筈である、目下の所では郵便電報等の發出に就ては左の如く取扱つてゐるから一般の周知を希望する次第である

外相親任式
十六七日頃擧行

【東京電報】關東長官伊集院彥吉氏は愈外務大臣に內定したが親任式は十六七日頃行はれると

鮮內流通貨幣

八月中の鮮內通貨流通高は硬貨一千四百六十餘萬圓鮮銀券八十餘圓合計約一億圓で之を前年同期に比すると約五百萬圓の減少であるが小額紙幣は全く消滅した

支那麻布
鮮內輸入激增

支那麻布は專ら支那人の手を經て鮮內に輸入され其數量は逐年增加を示してゐるので斯業者から多大の注目を拂はれてゐる、大正元年には一ヶ年輸入高僅に百四十八萬圓に過ぎなかつたが十一年には約七倍の八百七十萬圓に增進し今年は九百萬圓を突破すべく豫想されてゐる、日貨排斥の爲め我綿糸の輸出著しく減少したに拘らず麻布の輸入激增の傾向にあるは支那商人の販賣手段の巧妙と潑剌たる行にあるやうだ、最近の鮮內輸入趨勢を示せば次の通りである

	數量（斤）	價格（圓）
元年	七〇〇、七六六	一、四八五、三四一
三年	六四七、六九九	一、五四四、三三五
六年	六、六三二、三九七	三、三三〇、七三〇
八年	三、三三〇、四四二	六、九〇七、三三九
十一年	一六、四四六、三三六	八、七四三、八六九

銀行預金減少

京城組合銀行八月末現在預金殘高は公金預金七百六十五萬七千九百十六圓定期預金四千二百六十六萬五千七百九十六圓當座預金八百四十七萬二千九百九十七圓小額預金一千百三十六萬九千六百十七圓諸預金六百七十五萬一千七百五十一圓合計七千六百九十一萬七千七百七十七圓であるが七月末現在に比し其增減を見れば次ぎの如くである

公金預金	增	二一六、四五九
定期預金	減	二、三一七、三九一
當座預金	減	一、四六一、五五六
小額預金	減	四三四、一八一
諸預金	減	四六〇、一九四
合計	減	四、四六四、〇六五

鮮銀地金輸出

鮮銀本支店に於ける七月中の地金輸出高は二十一萬七百四圓で之を前年同期に比すると九萬一千餘圓の增加である尚ほ一月以降の輸移出高五十萬四千餘圓である各店別七月輸移出高は次の通りである（單位圓）

本店	一五二、六七五
平壤	五七、五四〇
其他	四八八

女子普通校認可

仁川港町南坐所在永代女子校は明治四十二年八月以來私立學校規則により初等普通教育をなし來つた所今回普通學校規程に依り組織を變更して十三日附を以て永代女子普通學校設立認可を受けた。

公會私會

◇遞信局の講演會　遞信局にては東京一總社長宮本東國を聘し十四日午後三時から『帝都の慘害と時代思想に對する吾人の覺悟』と題する講演があつた

◇震災時局演說會　大阪朝日大阪每日兩社支局主催震災時局演說會は十四日午後六時から公會堂で開催した頗る盛會であつた

人事消息

▲那須憲兵司令官　副官を隨へ十五日朝府廳及中國領事館を訪問新任の挨拶をなし即日歸城

ヨシアシ

有賀殖銀頭取十五日の夜行で急遽東上とある、大震災の折拂、こんな御物はチト乖過ぎると、言ふ者もある、謂はぬ者もある。

◇

國境に出沒する朝鮮馬賊と、不逞思想を煽動する不逞新聞と、孰れがより多く國家と良民とを毒するか。

◇

渡邊國粹會朝鮮本部長を傷害した共犯者が、全部逃走後逮捕されたとは男らしくない、要するところは、度胸と膽力の問題だ。

◇

何もわかりもしないくせに、知つたかぶりが一番困る、朝鮮豫算がどうとか、鐵道事業がどうとか、ソンナことはよさんか。

◇

暴利取締令といふ寶刀は鞘を拂ふには拂つたが、問題はその切れ味で決る。

◇

十二日迄に判明せるもの東京死者十三萬千五十三人、中男女の判別つかざるもの三萬九千二百九十四人ありと警視廳發表す、嗚呼何といふ人生の悲劇か。

暴風雨警報

十五日午後四時發、風强かるべし成鏡南北、江原慶尙南北道沿岸を警戒す、低氣壓中心は瀨戶內海にあり、七百二十六粍を示し北に進行しつゝあり、西北風强かるべし低氣壓漸次深厚なり

各地の天候

（十五日京城測候所觀測）

釜山	曇	七十二度
木浦	晴	七十度
仁川	曇	六十三度
京城	曇	六十三度
龍岩浦	快晴	五十七度
元山	曇	六十三度
大阪	晴	
下關	晴	

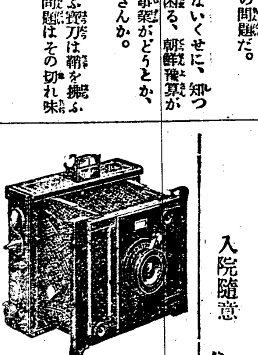
京城南大門外（御成通ヲ左ヘ上ル）　小兒科　內科　久保田醫院　電話本局一五三七番

魔法瓶と水筒
京日特選　金星印魔法瓶
三合入　二圓
四合入　二圓三十錢
五合入　二圓六十錢
荷造送料共　三合入七十錢　四合入九十錢　五合入一圓
學生用水筒
ラシャ覆四合入　一圓四十錢
別珍覆二合入　一圓三十錢
別珍覆三合入　一圓四十五錢
黑塗三合入　一圓
荷代送料共四十五錢
京城太平通り　合資會社　京日代理部　振替京城三〇〇番　電話光化門四〇〇、六二三番

創立明治參拾貳年　倉庫業兼營
京城府南大門通一丁目十九番地
株式會社　朝鮮商業銀行
頭取　趙鎭泰　專務取締役　岩崎虎次郎
支店（京城南大門・同本町・同東大門・仁川・平壤・利川・群山・釜山・元山・濟津）

代表商品　ソーウル自轉車發賣元　ユーニツク自轉車並ニ及各國自轉車附屬品一式
修繕ハ親切・神速廉價
大高自轉車商會　京城明治町壹丁目　電話本局三〇〇二番

內科一般　入院隨意
長谷川內科醫院　電話龍山五〇四番・六七四番　元松村病院跡　院長醫學士　長谷川與一郎


眞寫機械材料（目錄進呈）
岩瀨寫眞機店　京城本町一丁目　電話七五五番　振替七八八番

牡丹と芍藥
今が移植の最も好い時です本年は特に安價を以て御注文に應じます
仁川　柳町　驛前　華王園

京城長谷川町（鮮銀裏）　備前屋旅館　鐵冷溫泉　電話本局一五四一・一四六一番

大田案內

大田春日町二丁目　酒の花　ますや酒店　長電話一六七番

忠南名物　りんごカステラ　朝鮮大田　中田堂　電話一七九番

大田春日町一丁目　相浦式ビタミンパン　製造發賣元　京愛商會　長電話三一六番

純白寒水石　大田春日町二丁目　大田石灰製造所　長電話八六番　石灰　生石灰

大田春日町一丁目　土木建築請負業　須々木權次郎　電話二二六番

珍菓　鶴の子　忠南名產　大田驛前通

大田本町一丁目　一般診療に應ず　院主　和智醫院　長電話三二一番

大田本町二丁目　西原自轉車店　長電話三五四番

大田春日町二丁目　小橋自轉車店　長電話二五番

一般診療に應ず　大田鐵道病院　電話（局內內科十四番　外科十四番　公衆長四十九番）

大田電氣株式會社　長電話一四二番　三三七番

京釜線大田春日町一　歐米雜貨　手藝品　化粧品　丸友洋品店　電話一四九番

[illegible]水[illegible]…渡守、大井川は十三日來の豪雨の爲め増水七尺に及び苦心慘憺の[illegible]…東西は再び交通杜絕の有樣となつた、（靜岡電報）

工夫部屋埋沒

[illegible]た第七號隧道西口五十尺の所崩壞し線路は附近の工夫部屋と共に埋沒され婦人、小兒人四名生[illegible]…西部事務所では直に工夫を急派して復舊に努めて居る（靜岡電報）

五十名共謀で

[illegible]…件として數日來大活動中であつたが右は約五十名共謀して彼の津[illegible]…印紙を押收して秘密裡に嚴重取調中である（大阪電報）

[illegible]して罰金刑

【奉天十四日發電】色々問題を起して計り居る正隆銀行の竹內寧夫[illegible]…口は[illegible]十九圓竹內は十圓と何れも罰金を徵收された

[illegible]…府內林[illegible]外百四十五名の患者に對しモルヒネ、ヘロインを施用して治療しながら診療等に[illegible]…ら取つて居ると（平壤）

醉つ拂ひ檢束

[illegible]…十五日午[illegible]…本町署に檢束された又府內光化門[illegible]…三五番地[illegible]…同日

攝政宮 「御愛馬に召されて震災地を御視察」

慘害の意外なるに驚き給ひ御同情のお言葉を賜ふ

【東京十五日發】攝政宮殿下には十五日午前六時震災地方御視察の爲め赤坂離宮御出門御愛馬に召され武田宮內省御用掛以下侍從を從へ四谷市ケ谷見附、九段坂上、田安門外などに暫らく御馬を止めさせられ夫れより神田、京橋、日本橋、本郷等を經て水道橋にお茶の水を過ぎ上野廣小路東照宮に向はせられ同所にて後藤內相、宇佐美知事、永田市長、近衞師團長等御出迎へ申上げ上野高臺に御野立遊ばされ近衞師團長先づ御前に進み下谷、淺草、日本橋より山下一帶の燒跡に付いて一々御說明申上げ次いで湯淺警視總監が避難罹病者の情狀及び死體取片付等に付いて言上し又永田市長より水道及び米の配給に付き御說明申上げ特に米に付いては震災當時陸軍糧秣廠は燒けて配給の見込立たず千住の渡邊倉庫に自動車二十臺を急派したが之れも亦間もなく被害して僅に十七俵を得たのみで又佐久間町の河岸は幸ひ燒けず其處で一萬俵の貯藏米を得て僅に安堵したが佐久間町の類燒しなかつたのは眞に天佑と云ふべきものであらう同時に埼玉縣から震災三日目に精米三百俵を受取つた時に最も意を强ふした次第であると言上申上げ宇佐美知事からは各地方府縣の多大なる同情並に各地青年團在鄕軍人團員が續々上京して連日活動を續けて多大の勢力を與へて居る事を言上申上げるところあり畏くも殿下には御熱心に御傾聽遊ばされ次に殿下には特に永田市長に對しこれから先き衣服の事は如何にするかと御下問あつたが衣服問題は今後最も注意すべき大問題であつて玆に大御心を惱ませられし事の有難さに永田市長は感激[illegible]として衣服給與に就て夫々手配せる事を明かに申上げた同殿下は七時四十分上野廣小路より須田町に出でさせられそれより陸軍被服廠跡白木屋跡より宮城前に出でさせられ參謀本部に御立寄の上赤坂離宮に還啓遊ばされた（東京電報）

宜陽丸事件で虐殺された邦人

藥草研究の吉野氏と判明

【上海十四日發電】宜陽丸事件で四川軍の爲め虐殺されたる日本人船客は藥草研究の爲め重慶に赴いた吉野金七氏と判明した

富士山の中腹で遭難した外國婦人

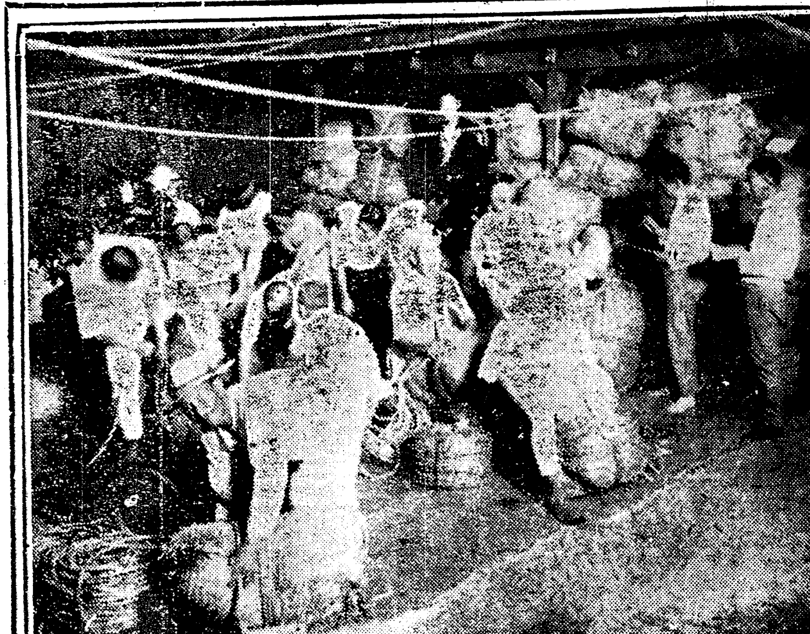
三名が交々當時の模樣を語る

神戶に避難して居る外人中に大震災當時富士山の五合目に居た米國婦人アレキサンダー、ミイド、オウスチンの三人がある三婦人は交々語る「八月卅一日夕、月明に乘じて富士山に登つて同夜九時頃五合目に辿りついたが其頃から漸次暴風雨となり迚も之以上登ることは出來ないので已むを得ず五合目に宿りましたが其暴風雨は翌一日午前十一時頃になつても止みませんでした、ところが地震が起り五十分頃になつて空は急にカラリと晴れて實に麗しい微な太陽が輝き始めた、すると又忽ち地震が起つたのです、同時に山が恐ろしく鳴動し小石がゴロ／＼と轉がり出て樹木が左右に搖れて折れそうになつたので私達はどうする事も出來ず其止むのを待つてゐましたが、其時どうも富士山の頂上に噴口が出來て何んだか形が變つたような氣がするので麓の人達や沼津の人々に聞いて見ると矢張り形が變つてゐました」（神戶電報）

兩陛下 月末まで

日光に御滯輦

日光田母澤御用邸に御駐輦中の聖上皇后兩陛下は今回の大震災の爲め宮城內に多少の損害を被り且鐵道も未だ上野驛迄開通せぬので御當分同地に御滯在の上月末頃還幸啓ある由（宇都宮電報）



實業同志會の震災慰問品荷造り

愛婦本部より眞綿寄贈

有吉本部長以下役員總出で包裝

愛國婦人會朝鮮本部では時節漸く向寒に際し罹災者の爲め赤十字社在庫の眞綿七十餘貫を寄附すべく十五日午前九時より同事務所に有吉本部長始め各役員三十餘名の集合眞綿十枚宛を一々紙包みとなし目の廻る程忙しく立働いてゐる荷造りの上は第二回取纏めの新古衣類と共に來る廿一日釜山發景北丸に積込東京へ直送する由にて衣類などは來る十九日迄にまとめ發送する由（寫眞は朝鮮本部にて眞綿包裝の最中にして向つて三人目は本部長有吉總監夫人）

八島の隆起は事實

震源地は相模灘に相違ない　京都帝大教授小川博士談

京都帝大教授小川理學博士は學生二名及靜岡縣土木課の加藤技師を同伴し伊豆八島熱海附近の震災地を調査の爲め十二日夜熱海鈴木屋別莊に到着したが同博士は語る「八島の隆起したのは事實と認める島民の語る所によるも震災の襲來と共に海水は一旦著しく減り次いで海嘯があつたが其時は海水は前の水際乾いた所迄は達せず海岸に沿ふて暗礁が露出したまゝ今回に及んでゐると云ふに見るも隆起したことは明白である然して地震は造山性の地震だつたこと及び其震源地は相模灘であつたことも疑ひないと思ふ」（靜岡電報）

羅災鮮人救濟寄附金

募集願書取下げ

十五日午後四時より府內慶雲洞の天道教堂で東京罹災朝鮮人救護會の臨時發起人會を開いたが會する

の者を除外二十名で交渉委員より寄附金募集の出願に對し警察部長の勸告に依り取下るとになつた旨を告げた處內地留學生等は孰れも反對を唱へたれど結局近日中に總會を開き取下ることに決定散會したが不穩な行動は微塵もなかつたと

羅災民に化けて

大阪に入り込む

新潟市上大川前通り小林儀作（二十）一郎（二十）は東京の震災が見たくてたまらず去る十日現金二百五十圓と一萬八千圓の預金通帳を盜み出して家出し八日夜米原驛まで出たが東上が出來ないので罹災民と早變りに化け込み同驛で衣類を貰ひ十日大阪に入込み林本店に雇はれて居たが遂に其筋に逮捕された（大阪電報）

院展延期告示

本年の美術院展覽會は開會せざる旨十三日に附官報號外にて告示した（東京電報）

神奈川縣の震害

死傷十六萬、燒失倒壞廿萬戶

十三日臨時震災救護事務局神奈川支部公報に依れば神奈川縣下の被害は

▲橫濱市　死者二萬三千七百六十七名（內警官二十八名）▲負傷者四萬八百八名▲倒壞及燒失戶數六萬八千三百九十八戶

▲橫須賀市　燒失倒壞一萬三千六百五十戶半燒三百戶▲死者四百五十名▲負傷者八百名

▲鎌倉　燒失倒壞四千百九十五戶半燒二千百三十二戶▲死者四百九十五人▲負傷者千七百六十八名

其他郡下に於ける家屋倒壞又は燒失十二萬一千七百七十四戶、半燒壞二萬二千四百八十五戶、死者二萬八千九十八名、負傷者六萬四千六百九十一名である（東京電報）

七人の家族が貧故に絶食

若妻は遂に自殺

仁川府花町里七八李用俊二男李西弼の妻趙氏（二七）は十四日午前四時頃自宅裏門の樹木に細紐を吊るし縊死した李西弼は七人家族なるに職業を失ひ辛くも糊口を凌いで居た處二三日の降雨に稼ぎされ家內一同は三日間も絶食したので貧苦を悲觀しての自殺らしい（仁川）

慰問金品

料亭千歲女將は日本赤十字社にガーゼ百反と衣類を寄贈した愛國婦人會平壤委員部から第一回取纏め慰問金壹千貳百貳拾錢を本部へ寄贈して來た

大暴風雨の襲來で鳥取市全滅に瀕す

山陰線は不通となる

鳥取地方は十五日拂曉より暴風雨襲來し各河川は氾濫して鳥取全市に浸水し山陰線は不通となり鳥取市は全滅に瀕し附近は避難民の往來で大混雜を呈してゐる（鳥取發至急電報十五日午後四時着電）

縣廳も危險

學生青年團で決死隊を組織し避難民の救護に努む

【別報】鳥取地方は十五日拂曉暴風雨襲來し午前九時千代川增水二丈市內を貫流する袋川は一丈七尺增水し忽ち氾濫して西流域の東部を襲ひ鳥取驛附近一帶の川町は泥の海と化し市民は豪雨を突いて高臺さして續々避難し十一時頃には千代川堤防一部缺潰して鳥取市の郊外は田畑家屋悉く濁流に呑まれ全滅の兆あり十一時濁流は北部の比較的高所にある鳥取縣廳を初め各官衙學校附近を襲ひ危險は漸次に迫つたので市役所では小船を出し市內學校生徒青年團は決死隊を組織して避難民救護に努め大混亂を呈して居る、この暴風が尙續けば鳥取市並に附近一帶は全滅の恐れがある又十四日午後九時鳥取發大阪行きの上り列車は山陰線石見驛浸水の爲め同驛に立往生し下り七百六號列車は山陰線の難所たる久谷、鎧間山崩れの爲め兩驛間の途中で立往生し山陰線は鳥取以東濱坂間久谷鎧間以西は鳥取泊間見、鳥取間何れも不通となり目下開通の見込み立たず（午後六時着電）

三重縣も水害甚大

三重縣下の暴風雨は十四日午後二時以來十五日も益々烈しく津市海岸は一丈餘の高浪襲來し附近の海水浴場旅館に宿泊する者も避難しつゝある極樂町平井才次郎方は津ゴ川の爲め倒壞し東牛川の櫻樹メイ越川橋も流失し安濃郡稲形堤防缺壞四ケ所高宮村山崩れ數ケ所あり海岸地方は田畑の浸水多く伊勢線道東洲川鐵橋は破壞流失同線ヒゴ稲間二哩は不通となり三重合同電氣稲田川發電所は崩壞し復舊は二日間を要する見込等縣下の被害は甚大なるものがある（津電報）

震災慘話とりぐ（1）

私の宅は石垣がくづれて家が傾いた丈けで、みな生きました『慘話とりぐの記』餘白があれば之と筆を執りました（九月七日午後七時始めてついた電燈の下で、細井生）

澤庵屋の命丸儲け

避難民で溢れて居る芝公園へ澤庵桶を一樽持ち込んで澤庵を賣ると飛出したるところがあつた。避難民は大喜びで驅け集まつたが一本七十錢と聞いて二の足を踏みながら、高い、イヤ高くないの最中二人の青年無言でポカ／＼と澤庵賣りの頭を擲りこくつたのを手始めに、みな寄つてたかつて澤庵屋を袋叩き、命丈けは助けて頂きたい、澤庵はみなたゞで差上げますと悲鳴を擧げみなで分け取りにかゝつた一人のかみさんが慌ぱつて兩手に五本かゝえて逃げ早く驅け出したが、待てとばかり、かみさんもみなの者から打たれ擲られ一本丈けを與へられて立去つたとのこと（某所にての話六日）

共同便所に避難

呉服橋の秋共同便所の前に十四五の黒焦げの屍體が、焦土と化したあの邊一帶を行く人の足を止めずにはおかぬ。警視廳一帶からの火、京橋邊から迫つた火、それに神田から丸の內へ流れた火、三方の火に挾まれて逃げ場を失つた人々がせめてもの火焰をよける避しのふせぎにと共同便所の影に期せずして驅け集まつたのであらう。大人の屍體も燒死したのは子供位にしか見えぬ（二日現狀實見）

やけ糞三塊

神田橋の傍らに燒けたゞれた馬が無殘にも、腹部が破れて大腸をはみ出したまゝ燒れて居るのを見た如何に狂ひ廻れたかは、其の姿勢と、馬糞三塊、其一塊は肛門から生み出さうとしたまゝであるのでもわかる（二日現狀實見）

三萬二千の焦死人肉

焦死體といへば、本所をおとづれた雨谷少年の話、始めは眞つ黑な泥が堆積して居るのかと思つたが近寄り見れば、それは全部焦死體の山であつた。總坪數何萬坪かの所もう焦死體でうづまつて居るといふ。これはみな被服廠の職工である相だが、新聞紙の所報によれば被服廠の死者三萬二千六百八十餘名とある。三萬二千の人肉が一氣に蒸燒かれて黑焦げになつたのだ（四日雨谷少年の話）

冷たき乳房よ

燒死したる母の死體に取りすがり無心に乳を吸ふ嬰兒ありしと（五日某所にての話）

此足を切つてくれ

淺草伊勢佐木町の喜樂座前にありし一人の老人この話始めの激震に物凄く仕人足の一隊に休む一日の事にもあれば喜樂座にでも入りてと看板を仰ぎ見たる刹那ゆら／＼と震へ同時にゆるぎ出して、喜樂座も身を振り動かさるゝ思ひ、喜樂座の方に倒れ來らんとす、足、地を踏まず辛うじて、身を翻したる眼の前に、喜樂座は瞬く支那料理の建物と共に倒壞し、全町丸潰れに瓦を潰し、西戶部藤田の自宅へと急ぐ途中下駄となりて手のみ驅はれたるもあり、足首丈け建物の下より血眼となり此の足を切つてくれと叫ぶもあり瞬く間に各所に火災起り川端を驅れる電車は乘客を乘せたるまゝ川中に顚落したりと（一日橫濱にて）

駈落娼妓捕はる

大連逢坂町一三松月樓娼妓千歲事奥村ヤイ（二〇）は馴染客大連滿鐵社員稲村清志（二七）と相携へて駈落ちし十三日仁川に逃げ延びた處を仁川署員に取押へられ身柄は樓主に引渡されて十五日十時出帆の汽船で再び古巢に舞戾つた（仁川）

秋つは

『はて知らぬ旅をし行かばいかがあらむ此野の夜霧身には泌むなり』秋のから冬に掛けての滋養强壯藥としては有名なバイエル會社のソマトーゼが一番良ろしい、ソマトーゼは飲み易く、服用量が少くて滋養分が多い、而して胃腸の消化器官を疲せず吸收せらるゝので、病後、患者と難も安心して服用が出來ます、其他肺結核、胃腸病者、其他諸病の滋養强壯劑です、小兒等にも一番理想的の滋養强壯劑です、發育不良小兒等に服用せしめば、京城本町山崖天佑堂へ申込めばよい（廣告）

肺病　全治御禮

私儀滿二ケ年以上肺結核ニテ苦シミ百藥功能更ニ無之全ク悲觀致シ居リ候處福岡縣太宰府町永光園次郎殿發賣ノ藥結核丸ヲ服用致シ候處僅カ日間ニテ快癒致シ候事全ク結核丸ノ偉力ノ然ラシムル處ト存ジ家族一同悅ビノ余リ全治御禮トシテ謹テ諸兄ニ御忍ビ世ノ同病者諸氏ヘ御勸メ申上候也

佐賀市牛島町六六　永尾榮次郎

東京震災の大映畫

慘絕悲絕炎々たる帝都燒失の慘狀猛火の中に老幼男女の慘死體は無數に散亂し飢渴に泣く市民各所避難民の有樣、愛親閣、丸の內ビルジング、帝國劇場、銀座通、淺草十二階等十上寺其他炎上壞滅しつゝある實況とても正視する能はざる慘害の實況を料金特に値上せず本興行中從來通り○行の招待券御斷

青年タイムス

青年雜誌

飛ぶ程賣れる……九月號出づ

青年タイムス大刷新　全國書店に取次販賣す

◆上京苦學する人々に注意◆小學卒業のみにて中等教員となる順路、其他各官吏に志願あれ

◆各種官吏の志願手引、月々發表さるゝもの受驗案內誌上に發表

◆一年中志願者募集の警官、官業試驗所

◆赤手空拳より石炭王となる迄

◆海外希望者は南洋へ行け…南洋實況詳說す…痛快

◆政府の記事、社會記事、例に依り本號も賴る豐富、力ある讀み物多し

◆美貌が仇せし倫落の美代子

◆哀れ死線に立てる女の僞一日四圓九毛、驚くべき女學生の思想

◆纖細の樣子美しい女護ケ島之れ諸君の參考讀物

◆出放題＝各方面の諷刺皮肉面白し

◆官僚のお通りに非ず德川十六代也、死の際の指一本壹千萬圓さを袋の告白ー教育同盟、女に拔れた青年悲痛の告白。女學生の所謂勞働階級。娼妓の悲慘なる姿

◇本號創作…嬰子と其母、洪水ひ其他數々

◇青年相談所回答……これ皆諸君の參考となる事ばかり、何れも青年の好讀物

尙毎月巻頭に無料賞問券を添へ御迎ふ（一冊三十錢四冊一圓）至急御申込み下さい

全國一流書店御取次にて御求めを乞ふ

發行所　京城本町二丁目二十一番地　青年タイムス社

振替東京三四九一二　

演藝案內

黃金館

松竹キネマ直營　每日晝夜　十二日晝間より　加茂祭　全一卷

米國アーロー社　第二報、只今到着

東京大震災の實況

山ナス死體の遂ましなさでも泣かぬものがあるでせう？▲東京停車場前の混雜▲二重橋無線電信局▲上野驛東京市役所▲神田橋戰者▲萬世橋附近▲本郷東京館▲帝國劇場▲銀座通より京橋附近▲上野公園野驛より全市を望む▲上野廣小路交叉點附近▲不忍池畔の大混雜▲日暮里停車場の雜沓▲吾妻橋下の死體漂流

スクリンクラック映畫　ハロド、ロック、ウッド大力演

男性的健兒の意氣　全六卷

大活劇、戀人の危急を救はんために敵陣めがけてウッドは攻撃の火花を散らし戰の後ウッドはその國の王子と知れ戀人と共に新生涯に這入つた。

序曲　ポペミヤンの少女　（十五分間）

指揮者　高田耕平

松竹キネマ本年八月製作　路口十九高尾光子其他數十名出演

現代劇　天を仰いで　全六卷

多摩川に、砂利工夫として汗と油で働いてゐる孤獨な青年は、都の遊客の華やかな姿を見て、考へるところあり都に出て一躍數十萬圓の資產を作つた、そして日夜紅燈の巷に、さまよつた

喜樂館

京城本町壹丁目　日活直營　電話五九七番

當る十一日より超特別大提供

●實寫　南極探檢　全一卷

●連續活劇　ルスローラレッド　第六回目　鉄腕主演　自十一篇至十二篇

■新派劇　松之助會心の大傑作　柿木錦助　全五卷

傷害保險を附して撮影されたる日本最初の空中勇士由天遙かに金の鯱を覗ふ大膽不敵の大勇士

■日活向島現代劇　山本嘉一小栗武雄主演　純映畫

■生死戀　愛に甦る日　全六卷

嗚呼恐るべきは死！此れ又喜びを我れに與へてくれた運命の戲れである其れは結婚式の當夜の出來事であつた自分の妻となるべき女は其の愛人と情死したのである彼は毅然として意を決した醫師に都ゆる爲め不具の姉娘と結婚したのであるそして僞[illegible]

羅紗と毛布と毛糸

東京黃濱ノ全滅ハ日本ニ於テ販賣スル羅紗ノ七割以上ヲ燒失シ時恰モ冬物季節ヲ目前ニ滿ヲ持シテノ災害ハ忽チ日本全國ノ羅紗相場ヲ暴騰セシムルハ火ヲ覩ルヨリモ明ナリ滿洲朝鮮ノ羅紗屋ハ多クハヲ其供給ヲ受ケツツアリシヲ以テ其成リ行キヤ知ルベキノミ然レドモ白木屋洋服店ガ販賣スル羅紗及ビ毛布ハ全部英國ヨリ輸着シ居ルヲ以テ些ノ動搖ヲ感ゼズ亦一錢ノ値上ゲノ必要ヲ認メズ益々安價ニ良品ヲ提供シ平素ノ御恩報謝ヲ此秋ニ充分奉仕スル事ヲ喜ビ且ツ大ニ得意トシ自慢スル處ニ有之候

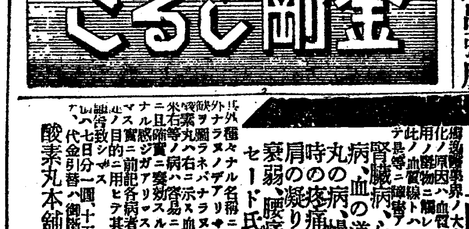
- スコッチ　多服地　一ヤール二付　金三圓・金五圓・金五圓
- メルトン　冬服地・オーバコート地　一ヤール二付　金六圓・金七圓・金十圓
- 不變色　紺サアジ　合冬服地・極厚服地　一ヤール二付　金六圓・金七圓・金八圓・金十六圓
- 禮服地　一ヤール二付　金拾圓・金拾三圓
- 縞ヅボン地　一ヤール二付　金七圓
- 學生服地紺ヘル　一ヤール二付　金三圓・金六圓
- 白毛布純毛　一等　拾二圓（巾五尺六寸長七尺　目方六百五十匁）　二等　拾圓（巾五尺六寸長七尺　目方四百五十匁）
- 寢室用同　三等　八圓（巾五尺六寸長七尺　目方三百五十匁）
- 旅行用純ラクダ　一等　廿五圓（巾五尺二寸・小包料　滿洲朝鮮　一枚に付　四十五錢・內地　一小包料　六十錢）　二等　廿四圓（長六尺）
- 縞毛布　三等　廿三圓（目方六百匁）　小包料　滿洲朝鮮內地　七十五錢
- 毛糸　編物用　一ポンド　二圓五十錢・三圓　百廿匁

英國織物直輸入　品質自慢安賣道樂

大連大山通り　白木屋洋服店

電話代表番號五一七五番　振替口座（大連）五四〇番

電信宛名大連白木屋洋服店御中　電報宛名（ダイレン・シロキヤ）

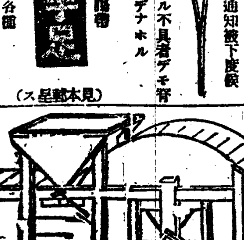


法人登記公告

一、合名會社組合（變更）目的中第五號ヲ左ノ如ク改ム●五、紀元興ニ非ラサル者ノ預リ金ヲ爲ス合ト

右大正拾貳年九月拾參日登記

平壤地方法院　順川出張所



○患者用松葉杖一組金參圓貳拾錢ヨリ五圓五十錢マデ各種下命ノ時ハ腋下カラ床マデノ寸法通知被下度候

▲義手足元祖如何ナル不具者デモ脊髓病デモ醫療術應用デナホル

（見本進呈ス）

松葉杖各種　理想脫腸帶

專門製作　高野肢製作所

電話本局壹貳六番　京城本町一丁目

驚クベキ特效藥　酸素丸

腎臟病ノ大家ローランド氏ノ說ニ依レバ吾人ノ疾病ヤ老人ノ衰弱ノ原因ハ血質ノ缺乏ト又ハ體內ノ酸素ノ不充分ニ依リ其化ノ頭ノ原因ニ因リテ發スル病モアリ斯定サレテ居リ此ノ血質即チ酸素ノ缺乏ハ手足ノ冷症ヲ現出スルノデアリマス

腎臟病、心臟病、神經衰弱、ヒステリー、子宮病、血の道、月經不調、糖尿病、卵巢の病、丸の病、慢性痳病、慢性消渴、尿道狹窄、月時の疼痛、下腹部の硬塊、常習的頭痛、常習的肩の凝り、眩暈又は便秘、産後の諸病、貧血衰弱、腰痛、淫萎、不姙症、胃又は腸の病、セード氏病

外ニ種々ナル名稱ニ因テ現ハルヽモ要スルニ皆ナ血質缺乏ノ故ニ無病長壽ヲ希フ方ハ先ヅ其ノ血質ヲ補フベシ

本丸ハ右ニ示ス血質缺乏ノ病氣一切ニ卓效ヲ奏スル新藥ニシテ英國等ノ病ハ容易ニ治シ難キモノトセラレタルモ我ガ酸素丸ハ殊ニ確實ニ奏效スルノミナラス病症ニテ頑固ナル其病ニ著效アリ且ツ試ミニ服用スルモ大概三四日乃至一週間ニテ效ヲ見ル又老人ノ目的ニ前記各病者ノ一大福音デアル事ハ確カニ何人ニモ證ハレ用ヒテ其效ノ偉大ナル事ヲ[illegible]

七日分一圓、十五日分二圓、卅二日分四圓各金次第送附致シマス、代金引替ハ御斷リ致シマス

酸素丸本舖　南滿洲本溪湖　中西亮　振替大連三四三五番

米穀調製用具

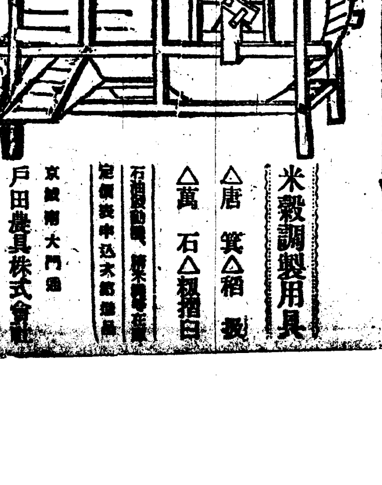
△唐箕△稻扱　△萬石△籾摺臼

石油發動機、精米機等在庫

定價表申込次第進呈

京城南大門通

戶田農具株式會社



魂の力（第十四回）

中川雨之助作　小寺柳村畫

義理の強み

鐵一郎と別れる悲しみは、この世の中の、如何なる悲しみよりも大きな悲しみであるとさへ思つてゐる京子も、義理と人情の強みの前には偽且、苦しまずには居られなかつた。

逸枝が、その身を捨れば、三方四方が丸く納まると思つてゐると聞いたやうに、京子も亦、それと同じやうなことを思はずには居られなかつた。すなはち、自分さへ鐵一郎と別れてしまへば家の爲にも父や兄の爲にも、逸枝の爲にも總てが好都合であるに違ひないからであつた。が、只、鐵一郎自身のために、それが好都合であるか否やといふことだけは、彼女には考へられなかつた。否、考へてみやうともしなかつた。

逸枝だそこまで美しい決心を見せてゐるのに對して、自分が何時までも女々しい繰言を並べてゐるといふのは、鐵一郎に對しても躰裁の悪いことに思はれた。

『私、別れます……思ひ切て別れませう』と言ひ放つて、京子はそのまゝ其處に泣き伏してしまつた。

鐵郎はちよつと面喰らつた。

『別れて呉れますかね、難有う』

『はい……』

京子の眼から、淚が止め度なく溢れた。

『能く聞き分けて呉れましたねえ。だが、あんたの心は充分お察ししますよ、辛いだらうが我慢をして更に角別れて下さい。後は何とでも僕が相談に乘りませうから……』

逸枝を慰めるのも、京子を諭るのも、鐵郎の心持ちに變りは無かつた。

『私、きつとお別れしますから……モウ暫らくお待ちなすつて……』

京子は顔を覆つて、謎のやうに濡る淚を拭はふともせず濡れた瞳でぢいつと何ものかを凝視ながら云つた。

『何時でも宜んですよ……別に何時別れなきやならないと云ふんでは無いんだから……併しねえ京子さん、餘り思ひ過ごして、變な考へなど起しては不可ませんよ』

『はい……』

『それに鐵一郎は、彼の通り一本氣な人間ですから、そんな話でも聞くと、或は何んなことを仕出かさんにも限らないから、その所もよく氣を付けて下さいよ』

『はい』

『で鐵一郎はやつぱり今日も工場の方へ行つて居るんでせうねえ』

『いゝえ、工場の方は、二三日前から閉鎖して終つて居るのでございます』

『え、工場を閉鎖したんですつて それは全體何う云ふ譯なんです』

『少うし都合の悪いことが有つたものですから……』

『何です？都合の悪いと云ふのは若し金のことでは無いんですか』

『お金のことも然うなのですが、今迄取引をして居りました日出會の方から、不意に取引の中止を申し込んで參つたのださうです』

『成程、それは打撃に違ひない。そして職工たちは何うしました』

『泉といふ齢の若い人獨を除いた外は、皆な元の塚谷さんの方へ戻つて行きました。何でも、先方から誘惑をされたとかいふ話でございました』

『やはり人の心は頼み難いものですねえ……而して鐵一郎は？』

『何處へとも言はずに、一昨日家を出たきりで、いまだにお歸りにはなりません。何だか非常に亢奮して居らつしやいましたが、日暮前にブラリと出ておしまひなすつたのです』

『困つたねえ。自棄でも起して居るんぢやないか知らん。僕が行つて捜して來ても宜いが、何處か心當りは無いだらうかねえ』

『ええ、何處も……』と云つて、京子はホロリとした。

いろ／＼の悲しい問題が、一時に落ちかゝつて來た夫婦の身の上を、鐵郎は同情せずに居られなかつた。

短歌　尾上柴舟選

課題「月」……（三）……

◇ 坂垣修（京城）

東の低山に生ひ根をはれる大杉がくり月出でんとす

まどかなる月かも今しのぼらむと山の端を出づ大杉がくり

◇ 樋谷白雨（京城）

うつゝなる田の畔に立ち遠蛙月の下びにきゝゐたりけり

街路樹の背葉はしろく影やどし今宵の月は殊に明るき

◇ 和泉聖人（京城）

さらさらと流るゝ水に月のかげ砕かれにつゝ光り止まずも

小田の端影くろぐろと横はる夕べの山に月はのぼるも

◇ 山中新太郎（京城）

立ちならぶポプラの若葉露ちりてこよひの月のさやかなるかも

わがなやみさぐるがごとく滿月はてらしてありけり一人しゆけば

◇ 鈴木千里（京城）

夕月の出づれば早も君が歌まがき經てこの庭につたひぬ

かの宵に似し月させり今一度われの心に君謡りませ

鳴呼九月一日　岡本ひろし

茫然とたゞ茫然と見つめたる號外の記事は讀むに堪えがたし

呪はしき號外の聲にいくたびか心おのゝき外に出でて見つ

魂をうばはれたりし人のごと默してぞ讀む號外の記事を

子は親を親は子を呼ぶその聲もやがてご絶えぬときくいたましさ

ある者は河に身を投げ死ぬといふ生くるかもはや盡き果てしか

火に燒かれ家に潰かれてはかなくも息絶えしてふ人からを思ふ

きくもあはれ讀むも淚の種ならし母國の秋よわが同胞よ

はかなくも焦土と化せりすめらぎの國の都は見るにすべなし

九……三……

汀幽氏を迎へて（湖南吟社）

秋晴の丘なる午砲響きけり　汀幽

務唐辛子に色附きに　兔

掃きよせて千唐辛子鳴らせ　兔

秋晴や樹搦るゝ影の襲踵子　冷味

よく乾て鳴りぬ唐辛子

唐辛子干したる屋根の圃哉

秋晴や今日暮き替ゆる草の家　暗光

唐辛子粗壁に吊し赤さかな

唐辛子二三盗みて戻りけり

秋晴や仔兎のせし掌　幽水

屑に節彩衣の稚子や秋晴

水汲女來し日中や唐辛子　天涯松

秋晴の門前に驢馬繋ぎ　兔

唐辛子木のまゝ抜きて干しけり

秋晴や豆の中なるまばら黍　原人

秋晴の朝より汲むや風呂の水

秋晴の連山透き晴鍋

秋晴や庭石に置く鬼灯

秋晴や房深くうつ合點　淡夢

秋晴の海見に出るや老コック

其中の霄き一つや唐辛子

雀追ふ鞭の唸りや秋晴るゝ　麥雨

秋晴や枝拂はれし町並木

藁屋根の朝の濕りや唐辛子

看板娘こぼれて秋日和　風骨

九月七日即事

秋晴の庭に馴れゐて放れ鷲

屋根低くの房扉片下ぐ唐辛子

たまに來し川魚賣や唐辛子

唐辛子綿埃らして打つ隣家、

讀者らん

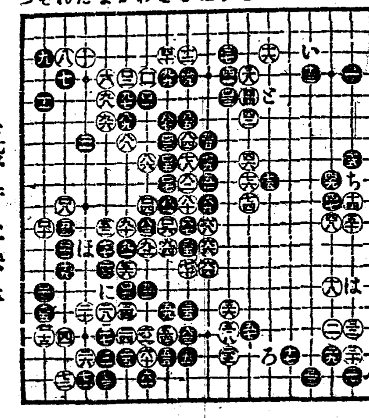
▲私の家は來春から內地に移住するのですが三四ケ月位の間、一週三四時間位の都合で日本料理の出教授をして下さる方はありますまいか朝鮮家庭のとですから男の方より女の方を希望します（毎申鍋一局員）

▲今回の震災に際し陸軍に於ては戒嚴令を發し各師團に動員令を下して秩序回復に從事し七日附を以て陸軍省より陸軍活動の槪要を發表した一方海軍に於ては罹災民救援に要する食糧物品の運搬に全力を注いで居る又十二日附貴紙夕刊に九死に一生を得た仁川の今井きよみさんの健氣な遭難談に今度の震災で一番有りがたく感じましたのは兵隊さんです若兵隊さんが居なかつたならば私共は命を全うして歸る事は迚も出來なかつたでせうと有り近來軍國主義だとか軍隊は不用だとか盛に呼ぶ者今回も不用なりや（大田一在鄕軍人）

▲僕は內地へ電報を出すのは之で二回目であるが第一回には十五字を書いて四十錢で濟みましたが此度は十五字書いて本町五丁目郵便所へ出しました處郵務員が私の方で『ラム』とか『ハム』とか書くから二音信代入るとの事で不安ながらに二字其文通よりけずり出しましたが最少し親切安い樣教て下さいこれまでとは規則が改正になりましたのでせうか（田舍者）▲內地行電報は目下非常に輻輳して居るので『遲延承諾』即ち『ラナ』の指定をせぬと引受け以事になつてゐます（係）▲多人數の子持の母様へ、住所姓名お知らせ下さい　係

圍棊對戰

第四局（完）中押勝　互先番　東 曲篤郎（初段）　西 高嶋正三（初段）



第四回　五段 井上孝平　五段 小岸壯二　合評

白十二は白の態度さして餘りに平凡である、此手を以ては直し「い」に掛るがよい其時黑十二さすれば白三七さ洗寄る事勿論である、白十一方向を誤る「ろ」に拓くが至當である、黑十七は少しく緩い「は」から掛つて白十四をへたてゝ打つ心持に出るがよい白二二の際は最も熟慮を要すべき機會で是を以て「に」に尖むのが頗る大勢の均衡を得たものであらう、即ち六十の打込も「ほ」の掛けさを含むものである、黑二三は白二二の打込に對して是を他方で兩扱に應じて居る要領を得た着手である、白二四の掛けは打たずして單に二六さ尖付るがよい、白三二は白さして餘りに無爲である此手を以て「へ」に二段に押し白「口」黑「口」白「口」二さ交換して八九に飛ぶが形である白四八は緩い四九に綽出し黑ちに數つた時五十二引いて戰ふべきである、白六十の綽込は是れなくして單に六二に粘ぐがよい後に黑から七一、七三さ打たれて完全に活路を得せしめたのは不覺であつた、要するに白は如上の失着を重ねて漸次頽勢を醸成する事さなつた、若し其れ無にして白八十の時九九に押すの厚勢に出たならば一層確實であつた事を添言する譯である。

帝都復興委員顔觸

西大門署管内 秋季清潔法

…洞、…洞、新北洞、杏村洞、橋洞、峴底洞

▲二十六日竹添町二三丁目、…

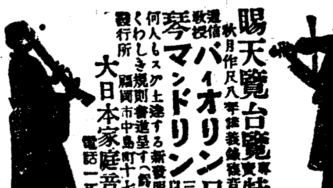
雜件一束

◇投身 府內竹…

◇棄兒 十五日午後八時過ぎ府內貞洞二二番地支那人馬平禮方の入口に捨子があるのを家人が發見し…

◇…十五日旭町一丁目小林醫師診斷の結果腸チブスと決定した

忠北經濟…


賜天覽台覽 專賣特許 秋月作尺八 大正琴 通信教授 バイオリン 尺八 三味線 琴 マンドリン 以上各別 何人もスグ上達する新發明講義錄 くわしき規則書進呈（郵券四錢） 發行所 福岡市中島町十七 大日本家庭音樂會 電話一五四四番

清代のほまれ 白味噌 釀造元 日本醬油株式會社

御料理 安東縣 太陽樓 電話七三番

御料理 安東縣 由良之助 電話二五九番 五九二番

奉天 ミヤコホテル

產科婦人科 外科花柳病科 入院隨意 仁川濱町 鶴田醫院 電話七三四番

仁川本町三丁目 東京齒科醫學士 天辰親夫 天辰齒科醫院

西洋料理 仁川宮町 東洋軒 電話五一九番

上城酒造場 仁川

大田 案內

東亞藥房 理化學工業用藥品 醫療器械衛生材料 ペイント及染料 大田春日町一丁目 長電話二五番 振替京城一〇三三番

ビタミンタブラッカー 製造元 遠藤商會 電話一六番 振替京城九四八一番 大田春日町一丁目

大田驛前 時計 眼鏡 貴金屬 指輪 不入 作 具 製 鹽崎時計店 長電話二〇〇番 振替京城五〇九番 日本蓄音器商會專屬店

京釜線大田本町一 和洋家具 建具類 南鮮商會 貨物運送 委託賣買 大田共同組 長電話二七番

京釜線大田本町 久納洋服店 長電話二〇番

忠南大田春日町 發動機專門 豐鐵工所 淺野セメント株式會社特約店 長電話二一六番

斯文堂教育品店 教育用圖書標本・物理化學用器械・幻燈器械並映畫・運動遊戲用器具・其他各種教材品 學校諸官衙御用達 朝鮮京釜線大田 振替京城二六五七番 電話長三四九番

三枝藥舖 京釜線大田本町一 長電話一五六番 振替京城六二五五番

富士家 和洋御料理 貸席 大田春日町一 長電話五七番

森繁釀造場 醬油 忠南大田春日町 長電話二一四番

井出時計店 大田本町一丁目 とけい めがね ゆびわ 電話三二 振替京城七八六〇七番

瀧川銃砲店 大田支店 大田春日町 ラーヂー、ケッチ自轉車特約店 長電話一二二五 振替京城一七九二番

卸 箕浦商店 倫敦煙石油 赤貝揮發油 白紋灑油 機械油 洋蠟 マッチ 木炭 スターサイダー 燒酒各種 鑵詰類 帝國生命 同火災 代理店 長電話五二番

開正舍工作所 醫療器械及諸機械製作 裝飾金具鍍金一式 京城本町貳丁目五三番地 實業銀行本町支店橫突當 取次電話三九三六番

一誠齒科醫院 平壤本町 電話五五〇番

稻葉醫院 平壤本町 電話七〇九番

石川內科兒科醫院 平壤橫町 電話六六三番

平壤醫院 ミカド南 電話四二一番

資本金參千萬圓 株式會社 朝鮮殖產銀行 京城府南大門通二丁目 平賦又は定期償還方法に依る產業資金貸出の外一般銀行業務並貯蓄預金業務を取扱申候 電話長一二四四 大二四五 二〇九〇番 營業振替貯金口座四一〇番 貯金振替貯金口座特一〇三九番 頭取 有賀光豐

支店及派出所

京畿道 忠清北道 忠清南道 全羅北道 全羅南道 慶尚北道 慶尚南道 黃海道 平安南道 平安北道 江原道 咸鏡南道 咸鏡北道

仁川、清州、公州、全州、光州、大邱、釜山、海州、平壤、新義州、春川、元山、淸津、滿洲、

水原、忠州、鳥致院、群山、松汀里、浦項、草梁、沙里院、鎭南浦、新義州、原州、元山里、羅南、支那、

開城、大田、井邑、木浦、金泉、馬山、安州、江陵、咸興、城津、

論山、南原、麗水、尙州、新馬山、博川、宣川、北靑、雄基、會寧、

江景、裡里、金堤、筏橋、統營、寧邊、江界、晉州、濟州島

右の外內地、朝鮮、滿洲、支那各地に爲替取引先有之候

貯金 …○…資金を造るには常行の「殖產積金」に御加入なさい。そして毎月怠りなく一年間御掛續けになれば御便利な…資金の御融通も致します

開店御披露

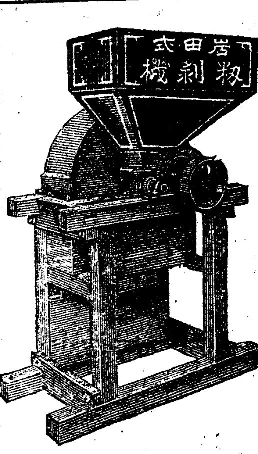
謹啓いよ〳〵秋風冷涼の好季節と相成候處益々御清榮の御事と謹而奉賀候扨て此度とこ候に付左の如く料亭を開業いたすこととめ御同情とせつなるおすゝ最負様の御引立被成下御清遊いたし申たく候間何卒特別の御愛顧に叶ふ樣に充分に人選いたし相成候御來駕の程伏而奉願上候　敬白

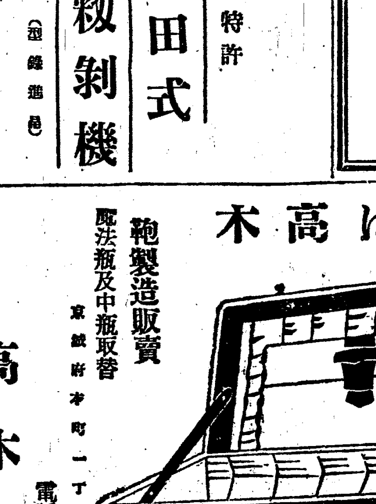
會席料理 千歲 仁川濱町十九番地 電話四一四番

京城自動車學校 入學隨時 夜間部教授 每月一日十六日開講 無試驗 平易なる教授 校外生有 公認 姉妹校 東京市京橋區 東京自動車學校 福岡市中島町 福岡自動車學校 大阪西區 大阪自動車學校 卒業生は鮮內は勿論內地にも就職大成を指導す

一陣の秋風爽やかに 吾人が活動慾をそゝる時 机上唯一の良友 ゼブラペン の光輝燦然たるあり 腕は高鳴る 血は湧立返る

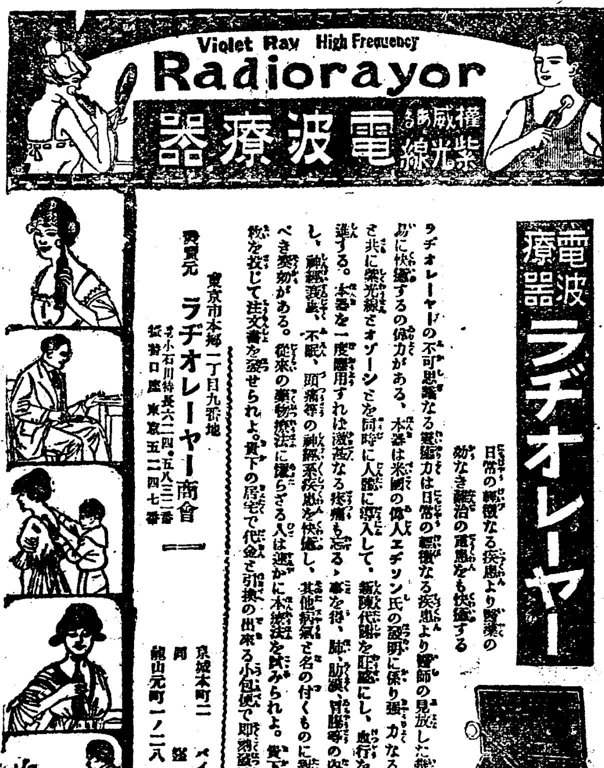
品目
1 金Gペン先
2 鐵Gペン先
3 金銀行ペン先（二二號）
4 鐵銀行ペン先（二二號）
5 金銀行ペン先（二二號）
6 鐵銀行ペン先（二二號）
7 金二重ペン先
8 丸ペン先六五九號（製圖用）
9 スクールペン先（五號）
10 金一七五號ペン先
11 鐵一七五號ペン先
12 金一八三號ペン先
13 ニュー▲點（一二〇號）ペン先
14 鐵點（一二〇號）ペン先
（右の外入種合計二十二種あり）
（二錢郵券十五枚御送附次第見本として下記品目全部取揃へ進呈）
東京牛込 石川ペン先製作所


籾摺作業ノ革命 專賣特許 岩田式籾剝機（型錄進呈） 全國優良農具展覽會金牌受領 朝鮮一手販賣 大東社商業部 京城府黃金町二ノ二七 電話本局七三二


鞄は高木 鞄製造販賣 魔法瓶及中瓶取替 京城府本町一丁目 高木鞄店 電話一三四 二五四番

大いに威張つて御愛用下さい 內地酒に劣らぬ處に 銘酒朝の花の特色が現はれてゐます 釀造元 朝鮮黃海道 朝鮮酒造株式會社 京城出張所 京城黃金町三丁目 電話本局二一九番 販賣店……各地信用ある店に在り

朝鮮一の美酒 滋強保健血肉改造の營養飲料 ハタ印 人蔘精葡萄酒（ニンジンセイブドウシュ） 呑むだけ血となり顔の色艶を美化する甘味飲料 販賣元 釜山 ハタ商店



電波療器 ラヂオレーヤー 日常の輕微なる疾患より醫藥の効なき難治の重患をも快癒する

ラヂオレーヤーの不可思議なる靈能力は日常の輕微なる疾患より醫師の見放した幾多の難症をも容易に快癒するの偉力がある。本器は米國の偉人エヂソン氏の發明に係り强力なる電波を發生すると共に紫光線さオゾーンとを同時に人體に導入して、新陳代謝を旺盛にし、血行を良くし榮養を增進する。本器を一度應用すれば激烈なる疾痛も忘るゝ事を得、肺、肋膜、胃腸等の內臟の機能を調整し、神經衰弱、不眠、頭痛等の神經系疾患を快癒し、其他病氣と名の付くものに對しては悉く驚くべき奏効がある。從來の藥物療法に飽きざる人は速かに本療法を試みられよ。貴下は郵便はがき一枚を投じて注文書を發せられよ。貴下の居宅で代金引換の出來る小包便で郵送致します。

金三十五圓（說明書入用者）

發賣元 東京市本郷一丁目九番地 ラヂオレーヤー商會 東京小石川特長六二四・五八三二番 振替口座東京五二四七番

京城本町二 パイン商工株式會社 同 盛田器械店 龍山元町一ノ二八 三個商會

京城日報

夕刊（朝夕刊合せて十頁）
本紙定價 一ケ月金壹圓 廣告料 五號活字一行 金七十錢
發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

京日評壇

既報も記した通り、來る十月、京城に於て開催の豫定である鮮滿聯合共進會は、關東地方の震災に對する『遠慮』の意味で延期した。此際のことだから、總て質實にと心掛くべきだが、延期するには及ばない、と思へ、協贊會でも、然らば此方針に則つて豫定の通り仕事を進めるといふことに決定したのであつた。

◇

然るに、今朝鮮々々言つて居る者がある。其れはホントの朝鮮々々だ。彼の既に厭つて居るから、縱へ其れが見え透いて居ても、寧ろ敢かざるを作法と心得る次第だが、今では表面『入鮮の遠慮』が唯一の口實と爲つてゐる。

◇

入鮮の遠慮は、獨り京城のみならず、朝鮮全部、何處でも大した異ひは無い筈。それだのに、京城は延期したいと云ひ、大邱の聯合共進會に釜山の水産共進會は豫定の通り開催する。京城は當初『震災に對する遠慮』が主たる理由とあつた、然らば文句無しに開催する大邱や釜山は關東地方の震災に對する、震災の影響も蒙らないのだらうか。其とも右の兩地は京城と事情を異にしてゐるのだらうか。兩地の當事者の考へが間違つて居て、京城の方が穩當なのだらうか。」

◇

要して京城の當事者の考へが穩當であると信ずるなら、何故京城の當事者は、先づ以て兩地の當事者に其の意見を提示しなかつたか。協議の上、意見一致せず、各自勝手といふことになつたら、其れは其時のこと。」

◇

假りに、京城では震災に『遠慮』して開催を延期することに成つたとする。兩うとは知らず、大邱も釜山も震災に拘らず豫定の期日に開催することに決定したとする。道理は偏て捨き、兩地は何か知ら不德義のやうに思はれはせぬか、といふ懸念が其時に起る。京城の震災に對する『遠慮』は、兩地に對しては、却て『無遠慮』な態度を示すに至る。」

◇

兩地は無論、市民の意思を酌むで各自の方針を決するであらう。而して能く世間の狀勢を察して、其判斷を誤らないであらう。京城も固より同樣であらねばならぬ。別に京城が、兩地に對して容喙をする必要は無い。然し、朝鮮の首都たる京城が、他の地方に迷惑を感ぜしむるやうな、兎かく無遠慮なことを爲てはならない。」

◇

遠慮して言ふ。京城は朝鮮の首都である。從來何事に依らず、京城々々とタテられて居る。市民は之が爲に矜持する處があるのである同時に或る責任を感じて居るので

あるが、協贊會の委員達は悲しで働らうか。今日の如き場合に、釜山は釜山で、大邱は大邱で勝手にやるが可い。京城は京城で、震災に對する遠慮から、京城は共進會の開催を延期するが、兩地では御勝手だ。雙方の遠慮が、兩地に對しては無遠慮に終つても致し方が無い。大邱と釜山が、れ位の氣位は……手に、……する勇氣も……と思ふならやるサ』こんな態度が京城として相應しいのであらうか、今日迄の協贊會の態度は何うも合點が行かない。

◇

何は兎もあれ、大邱でも釜山でもヤレルと思つてヤルのだ。京城がヤレないヤラないといふ理由も、協贊會の委員達――今では其中の少數――の申分だけでは至極薄弱だ。愚圖々々つまらない泣言を並べずに、大邱でも釜山でも……

獨人對佛反感
塞國回答しない結果 戰爭に禍されんとする模樣

【倫敦十三日發電】最近獨逸に於ける食糧品の價格は益々騰貴しつゝあり國民に獨逸人の佛國に對する感情は日を追ふて惡化し若し獨逸政府が佛首相ポアンカレー氏の政策に屈伏する樣な手段を執らば獨逸國內に最も重大な騷擾が勃發せんとする形勢がある

【倫敦電報】伊太利が希臘に送つた最後通牒の回答は四月十五日となつてゐるに拘らず未だ之に對して確定の回答を得ず此結果は伊太利、希臘、西班牙の談判を戰禍に投ぜしめんとする傾向がある

浦鹽日貨暴落

【浦鹽電報】露東大震災が共產黨の聲價に依り誇大に傳へられたる結果浦鹽にては日貨の大暴落を來し露國側は之が受取を拒絕するに至つた其の數週間の新聞に據せると正金銀行支店が外國爲替取扱ひを開始せる爲め漸く日貨に對する不安を一掃され一圓六ルーブルに付き一圓十八錢迄回復した

甲府列車不通

【甲府電報】夜來の豪雨に十五日午前甲府近傍山崩れあり爲めに列車不通となる明日復舊の見込み

復興院の組織內容
總裁には山本首相

【東京電報】帝都復興について政府は目下の所大體復興院設置の形式を執り總裁には山本首相自ら之に當り其の下に各省高等官及び市長其他官民有力者より任命する筈にて其中央執行機關に對し各省は專門的事務を分掌し尚ほ調査委員會評議會等の諮問機關をも併置する考へであると

假建築物には
建築法を適用しない

【東京電報】閣議に於いて罹災地に於ける市街地建築物に關する左記勅令を可決した

東京及神奈川縣の市街地建築法適要區域內に於て震災に罹り大正十三年二月迄に建築に着手し大正十七年八月末日迄に除去する假設建設物は市街の建築物法を適用しない。

議會繰上意向
近く各派交涉會を開く

【東京電報】震災善後策の爲め臨時議會を召集すべしとの說あるが政府は目下緊急善後の罹災者救助及び復興事業に忙殺されて居る際の政府としては此際臨時議會召集をせず其代り通常議會の召集期を繰り上げ十二月一日から召集せんとする意嚮である各政黨も此希望で近日中各派交涉會を開き召集期繰上げを政府に交涉する筈である

復興機關設置
十五日中にきめて御裁可を仰ぐ

【東京電報】震災復興機關設置に就き十三日閣議で大體方針決定したので更に十四日閣議に附議協議したが種々の腹案あり何れの案を採用するかに就ては頗る重要問題に屬し愼重審議を要するものあるが何分急を要する問題であるから議論審議を進め多分十五日中には決定し御裁可を經て公布される運びとなるであらう

義金處分內定

【東京電報】震災救護事務局に寄附を申し込んだ義捐金は一千五百萬圓に達し之れが處分は大體左の如く使用される事に內定して居る

一、簡易食堂公設食堂孤兒院養老院無料診療所等の設置
二、建築用材米穀薪炭等の生活必需品衣類等の濫賣
三、小學兒童に對する學用品の給與
四、バラツク建築に對する補助

首相告諭
復興機關決定後

【東京電報】十四日閣議は午前九時から首相官邸に開會各省大臣が震災後の善後策及び復興に關する特別機關設置の內容に就き協議し決定するに至らず午後一時散會した山本首相は十四日今回換發された大詔の御趣旨を更に敷衍した告諭を發する豫定であつたが震災復興機關が全部決定するに至らなかつた爲め右告諭の內容も該機關の內容と密接の關係があるので發表を延期する事となり從つて右復興機關の決定まで延期されると

移轉官署

【東京發=通信局發信】東京市內の主なる官署の移轉先は左の通りである

▲內閣、法制局、賞勳局、恩給局、拓殖事務局は樞密院事務局內へ
▲印刷局は衆議院事務局內へ
▲內務省は內相官邸へ
▲大藏省は日本興業俱樂部へ
▲遞信省は中央郵便局へ
▲鐵道省は東京鐵道局へ
▲會計檢查院は同院營繕事務所へ
▲警視廳は丸の內商工獎勵館へ
▲文部省は高等師範學校へ
▲農商務省は農相官邸へ

不埒千萬な涪州支那兵
捕虜代償として百萬圓要求

【東京十三日發電】支那兵の爲め拉致した宜陽丸の事務長……一等運轉士……七の三氏と支那人船員其他の船員及び宜陽丸乘務等で何れも目下涪州の支那兵川邊防軍司令石靑陽氏の命令である、とて捕虜の代償として現金百萬圓を提供せよ若し現金なければ……若し日清汽船にして此要求に應ぜず日本軍艦の派遣を乞ふて之に臨むなれば即日捕虜を銃殺し同時に日本軍艦に向つて戰爭動作に移るべしと土匪にも等しい不法の提案をなした同地附近に駐屯する軍隊は石靑陽の部下の……で兵力は少くとも三萬人に達するであらう外國人は本陸軍に對し……冷靜な態度に出で居る模樣がある

李侯閔男釜山滯在

【釜山特電】李完用侯及び閔李王職長官は關東震災狀況視察の爲東上した

露船退去について
―戒嚴司令部發表―

【東京電報】東京方面震災の報傳はるや勞農露國政府は救助船レーニン號を派し既に橫濱に入港したと同時に退去を命ぜられた事は既報の如くなるが右に關し戒嚴司令部の發表せるところ次ぎの如し

在浦鹽露國自由艦隊は汽船を日本に派遣する計畫を爲し十二日午後一時橫濱に入港したるが十三日午前中に於ける情報に依れば特に同船乘組員が不穩なる言辭狼藉の事實判明し殊に積載の貨物は古自働車及煉瓦等で其貨物も一切見せることを避けてゐる模樣である爲め此擧に出たものである

後任法制局長官
松本博士に內定

【東京電報】山本內閣の法制局長官として馬場鍈一氏留任したが馬場氏は永く山本內閣に留まることを欲しないので山本首相は後任者を物色中であつたが前法制局長官松本烝治博士に略交涉纏まり、二、三日中に任命發表さるゝ筈

陸軍損害
三億圓の見込

【東京電報】陸軍の震災損害は目下調查中なるが救護作業に忙殺され確なる數字は判明せざるも田中經理局長の談に依ると被服廠の損害三億と云ふ巨額の見込みである

外相說は間違ひである
と打消して伊集院長官東上

【旅順特電】十四日付關東廳告示を以て大連取引所に於ける金銀兩建取引の公布を見たが之に就き伊集院長官を訪へば『四國の狀態より察して兩建制の必要なることを認めたから改正せるまでゞある』何等今日迄交涉を受けた事は無い從つて余の外相說は何等かの誤傳である』と打消した、

震災當時東京にゐた 朝鮮學生は皆無事
歸鮮中の給費生は給與に心配はない
長野學務局長談

今回の大震災に對し在京朝鮮人學生の救濟並に官費留學生の官費給與如何等に付學務局は左の如く語つた

今回の東京附近の震災に關しては災害の莫大なると共に流言蜚語も傳へられ之が爲めに子弟を遊學せしめてある父兄親戚の方は殊に非常に心配せられるのであるが學務局よりは高橋事務官を出張せしめて在東京本府官吏及在京各道と協力して專ら周到なる保護救濟に當らしめて居つて本日迄の在京朝鮮人學生に關する情報に依ると朝鮮學生の最も多く集まつて居る朝鮮學生監督部の寄宿舍は燒失したが事務所及事務員、住宅二戶と正門兩側の倉庫寄宿舍並に倉庫は燒失を免れ當時寄宿舍に居つた朝鮮學生は衣服類其他一部を燒失前に持出して皆殘存建物に收容することが出來たとのことで其後監督部は燒失を免れた三棟の建物に朝鮮學生九百餘名を收容し今後尚二百名を收容する計畫で宿舍に關する交涉も着々進捗しつゝあると云ふ狀態で食物給與其の他保護に付いても遺憾なき樣になつて居る其他學生の多く住んでゐる山の手方面は災害が少いし十一日迄に目黑競馬場其他の場所に收容保護中の朝鮮人中にも數百名の學生が居るとのことであり又既に災害地域外に避難した者も相當あるから東京に留學して居る約三千名中當時在京した者は朝鮮學生は大體皆無事であると云ふことが想像出來る震災地に於ては通信も出來ない爲めに一層心配を高められ居るが朝鮮學生に付いては學務局から出張せしめてある者から追々詳報ある筈であるから成るべく迅速に之を關係の向へ知らせて少しも早く父兄を安心せしめたいと思つて居る又本府の給費生で歸鮮中の者は如何なるかと云ふことを尋ねらるゝ向があるが今回の如き場合は例外であるから其の點は心配なく成るべく有益に其期間を送つて歸校し得る時期を待たれたいのである

在京京城府民調査

京城府に於て在東京京城府民の安否調査の照會に應じてゐる事は既報の通りであるが現在申込は千百六十二件に達し內判明七十二あつたが入金調査は二千餘件に上つた

炭價前途
震災は影響しない

今回の震災で關東方面の各工場が一時閉鎖するから自然石炭の消費量が減じて價格が下がるだらうと豫想する人もあるやうだがこれは論據が少々薄弱ではないかと思ふ一體東京方面の工場で年々消費する石炭の總額はざつと五百萬噸であらう今假りに此內の三分の二を減少するものとしても僅か三百萬噸乃至三百五十萬噸しか減じないから、これでは九州の二ケ月分にも及ばない……石炭の一年間の消費量は僅か十萬噸であるが內地から來るものは此の三倍も搬入されて居る……(三國商會調査)

▲卸賣(大口現金渡)▲塊炭二〇、〇〇▲粉炭一七、〇〇▲切込一八、〇〇
▲小賣(大口現金渡)▲塊炭二一、〇〇▲粉炭一八、〇〇▲切込一九、〇〇
▲小賣(持込)▲塊炭二三、〇〇▲粉炭二〇、〇〇▲切込二一、〇〇

滿洲粟の輸入

滿洲粟は本年一月以來輸入高頓に增加の趨向であつたが最近內地震災影響で稍減退を示した、粟の輸入激增の原因は西鮮地方に於ける水害以來各方面に亘つて其大の影響を及ぼし就中食糧の不足を告げた結果其の補充用として輸入せらるゝに至つたので今後滿洲との關係の恢復と共に需要增加を見るべき形勢である、本年一月以來の各月輸入高を示せば左の如くである

一月	三五二、九〇〇斤	一五、六九四圓
二月	四四四、三〇〇	二三、二二〇
三月	三二八、二〇〇	二六、七二六
四月	一、七六四、四〇〇	一〇八、三三六
五月	一、六九五、六〇〇	八八、五五三
六月	一、七六八、六〇〇	八八、五五三
七月	三六六、八〇〇	一八、五四〇
合計	六、六〇〇、一〇〇	一四〇、六六八

尙本年西鮮地方の農作物は水害の爲め不作を免れ難い狀態であるから今後粟の輸入は相應の如何に拘らず相當脹額を呈するであらう

宿舍に關する

(前掲朝鮮學生記事中)

葉煙草の收納實績
耕作面積收量共に減少

總督府專賣局に係る本年度の葉煙草收納實績を聽くに耕作人員五萬九千二百六十八人、耕作面積七千三百五町步で此の收量百四十一萬七千六百七十三貫四百匁、賠償金二百十一萬四千九百七十六圓二錢と云はれて居るが、之れを前年の實績に比較すれば一貫當り賠償金に於て七錢四厘を增加し、人員に於て二萬五千五百十八人、耕作面積に於て四千四十二町步、收量に於て九十八萬八千七百二十四貫、賠償金に於て百二十九萬八千八百七十七圓、包數に於て十六萬四千百九十八包、一反步當り收量に於て一貫七百九十九匁、一反當り賠償金に於て一圓十二錢五厘の減少であると云ふ。而して右一貫當り賠償金の增加したのは耕作方法の指導獎勵に努めた結果多少葉煙草の品質が向上したに因るものであると。然し耕作面積の減少したのは朝鮮に於ける葉煙草耕作の狀況に鑑み不適當の土地を整理したのと、本年稀有の水害に罹つた爲め中途耕作を中止した者が少くなかつた等の結果によるもので更に收量、賠償金及包數の減少したのは右耕作面積の減少したに原因するものであると局者は語つた。

朝鮮統計展覽會には
震災のため東京よりの出品皆無
大西調査課長語る

朝鮮統計展覽會は今回の大震災で中止又は延期の已むなきに至らんと傳ふるものもあつたが元來これは朝鮮統計協會の爲めであるから何等變更する事なく豫定通り開催する事になつて居る事は之を報道した所であるが之と同時に開催すべき統計協會總會と大震災の影響如何に付大西調査課長は語る

今回の統計展覽會は一般に統計思想を普及せしむるものであるから大震災の如何に拘らず是非とも開催せねばならぬものである。從つて各道に對しても成るべく早く出品する樣に勸誘中であるが十五日に到着した通り既に出品申込は千點以上にも達して居る。これは開催期までには多くの出品申込があると信じて居るが、特に東京からは極めて數多くの出品を豫期して居たのが共進會の出品と同時に今回の大震災の爲め出品の見込がない事になつたのである。これは誠に遺憾であるが今更如何とも仕方がなく斷念する外あるまい。然しこれを除いても朝鮮の出品は豫想以上に續々增加して居ると云ふ有樣であるから絕對なる朝鮮の統計展覽會としては可成り見るべきものがあらうと思つて居る。從つて今後我々も益々努力して出品を勸誘する心算であるが尙一般に於ても續々出品申込を希望して歇まない云々

人事消息

有吉政務總監 十四日午後三時頃より中村秘書官を從へ目下建築中の朝鮮神宮を視察し自動車にて直に官邸へ引返した

閔李王職長官 李王職長官閔泳綺男は李王殿下の御使として震災後の天機並に御機嫌奉伺の爲め李王世子殿下御見舞及び宮內省等の要路を歷訪の爲め十四日午後十一時五十分發列車で東上したが往復十五日間の豫定である

李完用侯 震災後の天機並に御機嫌奉伺、李王世子殿下御見舞に震災狀況視察を兼ね十四日午後十一時五十分京城驛發東上

▲**有賀光豊氏**（殖銀頭取）守屋秘書役帶同十五日午後十一時五十分發二週間の豫定にて東上

茶話

▲東京大震災で一億や二億の損害を受けても屁古垂れる樣な日本國民ではないんだ▲最近の調査では樺太朝鮮を除く內地だけの富力でさへ九百三十億二千五百餘萬圓で國民一人當り一千六百餘圓の勘定となつてゐる▲これを明治元年即ち王政復古當時の富力六十八億一千八百餘圓と比べたらどうか▲更に大正元年の富力三百七十五億二千三百餘萬圓と對比したらどうか▲この年一年と增進して行く日本の富力に對して何を物語つてゐるものか▲京城局の安藤局長以下十四名は明日の日曜日に勇敢を鼓舞して北漢山登りを行ふそうだ▲安藤局長曰く、こんどの北漢山登りは全部襯衣一枚で要するに精神の鍛錬だとある▲肉體は精神の殿堂である健全なる精神は健全なる身體に宿る▲今や大震災の天譴に會うて國民の大元氣を要する徐々急なるものがあるではないか▲と同時に國民體育獎勵も亦いよいよ急なる者があるのだ

氣象日報（十五日）

琉球群島の南方海上にありし颱風は徐々に北進して和歌山縣の潮岬附近にあり本邦の太平洋沿岸に沿うて北東に進行する模樣なるも或は中部を橫斷して能登半島に出づるやも計り難し其中心示度は七百三十四ミリ內外にして優勢なるものなれば半島中部以東は風雨相當に強き見込である而して大阪以東は電報未着の爲其狀況不明である

天氣豫報（十六日）

晴

十五日正午 攝氏二三度五 華氏七四度三
十四日最高 攝氏二九度二 華氏八四度〇

內外毛糸各種 揃いました 冬の御用意は今の內に
京城本町二丁目 合資會社 尾琴屋

家庭副業 月收三十圓 友榮商會

わたふとん仕立
青島棉井製綿所 特約販賣店
京城本町四丁目 坂元綿店 電話本局二〇九九番

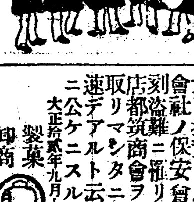
産婆生徒募集
福岡産婆學校

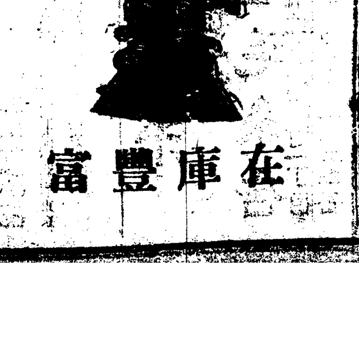
編物教授 初步より親切に教授す
來る九月十七日(月)より一週二回(月、木)午後一時より四時迄
講師 京城編物研究會講師
會費 一ケ月金貳圓
人員に限りありますからお早く御申込みを願ひます
京城明治町二ノ三九 ちゝぶや毛織物部 電話本局一五九〇番

小林式高級金庫
細密なる專門機械を練せる技術と和洋折衷の新なる考案を凝し精巧を極めたる最新式ペンノト式金庫

(カタログ進呈)
名古屋 小林金庫商會
朝鮮總代理店 京城黃金町二丁目 湊商會

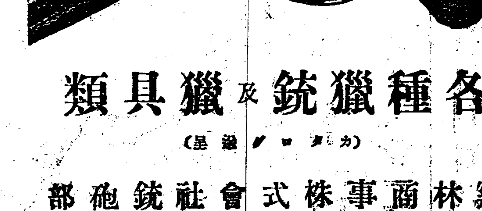
一、松板外貳點
海軍燃料廠平壤鑛業部
右競爭入札ニ附ス希望者ハ九月十五日十六日兩日ノ朝鮮官報ヲ見ヨ

樂器運動具定價表進呈
少年樂隊 金六十圓以上
五人組樂隊 金二百二十圓以上
山葉オルガン 金四十五圓以上
鈴木バイオリン 金五圓五十錢以上
鈴木マンドリン 金十一圓以上

電話光化門 1 2 3番
朝鮮樂器界の元祖
京城鐘路大通り(鐘路警察署前) セヤマ樂器店
振替京城一〇七五六 私書函京城局四八

測量諸機械

在庫豐富
京城本町一丁目 篠崎商店
電話本局一二〇三 六四八番 振替口座京城一五四番

御禮
今回本部長渡邊定一郎氏奇禍に罹り候處各位の深甚なる御同情を給はり其後の經過は稍々良好にて生命は取留め得べき見込みに有之候も不幸右眼は失明を免れず候……本來拜趨御禮申上ぐべき處取敢ず紙上を以て御禮申上候
九月十五日
大日本國粹會朝鮮本部

謹告
精米業各位に急告、時代要求に應じ
品質優秀 在庫豐富 特價提供
石粉製造販賣元 南大門市外
朝鮮石粉廠 電話長……
▲(運賃許可運賃低減の特典あり)

各種獵銃及獵具類

(カタログ進呈)
鷄林商事株式會社銃砲部
平壤大和町七番地 電話長一八番

自轉車受領公告
大正拾貳年八月三十一日附日本自轉車保安株式會社ノ保安會ヘ加入シマシタ處昨九月十三日夕刻盜難ニ罹リマシタ故其旨申出デマシタ處代理店都築商會ヲ經テ本日ケント號ノ新シイ車ヲ受取リマシタニ就テハ同社ノ確實デアリ又頗ル迅速デアルト云フコトヲ認メマシタカラ玆ニ一般ニ公ケニスル次第デアリマス
大正拾貳年九月十四日
京城府本町五丁目 製菓卸商 酒卷孝二郎商店 電話本局三三一一番

入院隨意
京城南山町二丁目六番地(天眞樓ヨリ西へ三軒目)
片山內科醫院
片山信夫 電話一九五一番

東宮軫念の餘り 羅災地御視察仰出さる

東宮殿下には震災に伴ふ火災被害状況に就き東宮御軫念遊ばされ側近者より毎日上奏の状況を聞こし召されて居るが親しく罹災状況視察の御沙汰があつたので十四日午後一時より關屋次官戸田東宮主治醫市村皇宮警察長等御視察宮内省に參集御打合等に就き協議する所ありたるが日時は發表しないと

良子女王 救恤衣を御調製
反物五十反を御母宮 並に妹宮と共に御裁縫

久邇宮家に御滯在中の久邇宮御一家は今回の大震災を殊の外御心痛あらせられ反物五十反と綿類を買上げの御下命あり良子女王には御母宮妹宮と共に御裁縫を御縫ひになつて居るが近く罹災民に御下賜になる由（東京電報）

觀兵式賜宴御取止
震災のため御取止となる

來る十月三十一日の天長節祝日當日代々木練兵場に於ける觀兵式並に同日正午宮中豐明殿に於いて行はせらるゝ賜宴の御儀は今回の震災の爲御取止め相成る由である（東京電報）

在郷軍人團 宮城の修理に當る
宮内省内匠寮技師が指揮して宮城修理の勞務に服す

震災第一報を聞くと共に全國の在郷軍人團は續々救護隊を派し萬難を排して大京して來たが議々宮内當局でも此在郷軍人の手に依つて宮城の外郭、堤防其他の修理を爲す事となり其第一班として十組の在郷軍人團は十四日より夫々宮内省の内匠寮技師の指揮で宮城の修理其他の勞務に從事してゐる（東京電報）

沼津東京間の電話開通す
震災の爲陸軍の執つた處置

八日陸軍省から左の公報があつた（朝鮮軍司令部着電）

一、省略

二、群馬縣知事から內務大臣を經て同縣下で鮮人保護の爲地方民の反感を買ひ不穩の虞あるに依り兵力の援助を請求し來つたので第十四師團に對し機宜の處置を採るべき樣命令した

三、戒嚴司令官は東京附近の治安維持並に食糧の缺乏及び交通の混雜を豫防する爲め此の際公務又は特別の事由あるものの外は戒嚴區域内に向ひ旅行せぬ樣地方長官に要求し又千葉縣知事には前記の趣旨に從ひ東京市內に進入しない樣注意した

四、東京附近架橋の修理工事に從事する工兵隊作業の進度は左の如くである

神田橋、御茶の水橋、一ツ橋、小石川橋、七日夜開通永代橋はサイドカーを通する程度改修濟

五、沼津東京間に電話の架設に從事して居た工兵隊の作業は大に進捗し七日夕沼津―東京間の通話を開始するに至つた

六、清水港陸軍無線電信所は七日夕開設を終り東京參謀本部軍用無線通信所の間に通信を開始した

七、航空部隊（飛行第一、第二、第三、第四、第五大隊及氣球隊）は從來の如く震災地域に亘る連絡飛行竝傳文の撒布並に東京市內の火災豫防に任じて居る

八、陸軍刑務所に在つた囚徒を三重縣に移送する爲第三師團長に對し囚徒の同地到著後に於ける護送を命じ又之が爲の飛行機の同乘を有する三重第五大隊に命じ同隊の飛行機は昨七日夕無事明野に著陸した

九、給水班は更に給水區を擴張し本日に於ける給水區域二十八ヶ所水量合計一、九〇〇石である

十、昨七日自動車に依り實施した糧食補給の情況は左の如くである

龜井戸米二、五〇〇俵及副食物

田端米一〇、六〇〇俵及副食物

新宿米六、〇〇〇俵及副食物

芝浦米三、六〇〇俵及副食物

岡田米 五〇〇俵及副食物

即ち府市の希望數一萬五千俵に對し二萬三千俵を輸送した譯である

十一、各地軍隊から輸送し來つた乾麵麭七百萬食を避難民救恤用として東京府及市に交付した

十二、戒嚴地域內に在る陸軍部隊及關東戒嚴司令官隷下部隊並之に配屬する軍人軍屬は總べて特に限り…ること

十三、…縣及宇都宮、仙臺、高田、豐橋、名古屋、旭川、小倉の各師團長に朝鮮軍、臺灣軍に食糧品の調辨を命じ其の內九日迄に東京に到著すべき糧食の概數左の如し

米三萬七千六百石

乾麵麭十九萬六千四百貫

罐詰肉五萬四千五百貫

漬物一百萬五千四百貫

其他（鹽、干魚、調味品、乾野菜）二萬貫

其の他東京附近軍隊保管糧食を交附せるもの頗る多數に上るも其數確實ならず

十四、各地方（多くは不明）の在郷軍人分會は東京罹災民救助の爲め逐次上京し其人員六日夕より八日朝に至るもの約九百名に達した陸軍大臣は之れを戒嚴司令官の區處に屬せしめ戒嚴司令官は各方面に軍需食の運搬業務に從事せしめ尙續々上京し來たる見込又福岡（所澤附近）の支部は被服品五千點其他の寄附をした

若い侯爵樣が 炊出の握飯で
天幕張の內で舌鼓を打つ 大玄關廣間戸前の宮內省

宮城の壯麗なる建物は今度の大震災にビクともせず常磐の緑の翠に香は大內山千年の安泰さを物語つてある只洋館造りの宮內省の建物は側の柱築の厄災にこそ遭はぬが瓦が落ち壁は崩れる慘狀を呈したので省內各課は東御車寄の大玄關前の大廣間に天幕張の圍を設けて忙しさうに事務を執つてゐる、野天の食堂には皮ゲートルの武裝姿も勇ましい井上侯や總務部長も炊出しの飯に判任官と同じ樣に舌鼓を打つて居るのも宮內省の日頃丈けに甚だしく奇異の感じを起させる、一番忙しい小原內匠頭も日頃の奢麗好が嬉げらく〳〵と延ばしてゐる、宮城內も方々に被害はあつたが大概の建物は實に見上げたもので少しの損害もないのには感嘆に價する、流石に立派な建築と內匠頭も嬉いでゐる、今日までに大破損所の調査も濟んだので工營係の方で近日中に修繕に著手する筈になつてゐる、何しろあれ丈けの建物である入念に修繕を完了するまでには相當の時日を要するのだから、日光田母澤御用邸に御避暑中の兩陛下には例年なら九月中旬は還幸になつてゐるがこれでは多分十月中旬頃まで修繕を服急き兩陛下の還御をお願ひする事になるだらうと（東京電報）

保護鮮人 復舊工事に從ふ

朝鮮人は昨今では彼等の救濟事業に從ふもの二百餘名戒嚴司令部にて保護中のもの約二千名あるが鮮人各自の希望もあるから鐵道改修工事や燒跡の取片付け事業等に從事せしむる方針である

救護者 五萬人

陸軍省醫務局の發表する所では陸軍衞生部員が十二日中救護した傷病者は約五千名內收容せられたるものは約二千名に及び震災以來救護した傷病者は累計五萬人である

又々流言流布 者捕はる

震災に關する流言蜚語の取締は益々嚴重を加へ釜山に於ても十二日避難鮮人二名を引致するに至つた事は既報の通りであるが十四日正午頃三名の然も紳士風の鮮人が居民を煽動する樣な言辭を弄して居るを發見した釜山署では直に逮捕しなく之を拘引したが頗る嚴重なるべき模樣である

羅災民の就職難 流れ込んで來た
入城した羅災者九十四名

十三日迄に羅災地方面から入城した羅災民は九十四名で內地人が三十七名、鮮人五十七名である京城以外元山、仁川、平壤等に赴く羅災民で京城を通過したものは約百二十名であつた、入城した羅災民で救護を受けた人員は十四名に及んだが現在救護中のものは八名である、是等救護者中で就職希望者もあるが目下の所求人は殆どないので就職は甚だ困難であると

二千四百萬圓に達す
列國の同情金 慰問品見積千百萬圓を突破す

十三日までに受けた列國の奉仕義捐金累計二千四百一萬二千七百八十四圓慰問品十三日までの見積額千百二十八萬二千圓であると

國境を超越して 外國婦人團活動す
清き涙の結晶が 日毎に愛國婦人會へ集まる

愛國婦人會朝鮮本部が今回の震災慰問金品取纏めに献身的努力をなし有吉本部長は役員と共に赤誠を籠めて衣類の新調慰問金の取纏めに活動し外國婦人會も此際協力して應援したいと申入があり米人ミス嬢子は右衣類千五百點の寄贈をしたが更に同デーテー氏等の發起で外國婦人救助會から此際へ同情の意を表したいと金五千圓を有吉夫人に提供された右は全く國境を超越した人類愛の發露なるが、ヨアス夫人は特に二十五圓を醵捐する等之等外國婦人有志者から慰問金品は何れも續々と當部の寄贈で日毎に申込みが殺到してゐると

專賣局職工連義捐
僅かな日給に衣食する 同情の滴集まつて三百餘圓

人類の歷史上に一大悲慘を留めた這般の大震災に際し內鮮を擧げて救援は誠に眼くましく際限を知らずであるが此に聞くもうるはしい鮮人職工達の、麗しい人類愛の發露を見た。それは、專賣局京城支局管下の工場に勤めてる二千有餘の職工達しかも一日の汗によつて、辛うじて一日の衣食を充たしてる職工達が、今回の震災の報を耳にするや零細な金を出し合はして、その額三百二十餘圓に達したのを、製造課の山本君に託して、本日本社に其取扱ひ方を申込んで來た これにつき山本課長は語る『今度の震災に際し、當地においても義捐金を募集されるやうになり、私達の課でも夫れ〳〵出捐するやうになりましたが、管下の工場に勤めてる二千人餘りの職工達に付いては、僅かの日給によつて衣食してる有樣ですから此際無理に出捐を勸めないやうにとの佐藤支局長からの御注意もありましたので、別にすゝめない事にして居りましたが職工達自ら申出でゝも、それを抑へて居た位でしたが、慘狀の實況が詳報されるに從つて彼等も益々同情に堪へないやうな面持ちで申出でますので、小供の職工達には一圓兩錢に相談させることにして一先づ職工達の申入れを、聞き屆けることにしました。そうして集つた金が三百二十餘圓になつた譯です。職工は全部で二千人餘り居ます、その內約九割は鮮人で、殘り一割が內地人であります』云々無學で、無產な職工達の此擧に對し、省て恥しくない有產有識の士が幾人あるだらうか

七萬點 愛婦の慰問品
光濟丸で發送

愛國婦人會朝鮮本部で取纏め中の慰問衣類は第一回分本部及び各支部寄附のものを合せ七萬三千九百五十六點六百七十四箱に達したが尙發送した支部報告未著のもの多く之を加ふれば第一回分十萬點に達する見込で何れも十五日釜山發光濟丸に積載され東京震災事務局に發送し配分すること〳〵なつた

本部衣類新古、三萬二千九百五十六點（百七十五箱）忠州支部一萬七千〇八十八點百四十五箱（…）全州支部一萬五百九十四點（…）咸興支部…百三十點（六十一箱）元山委員部六千六百…點（六十一箱）義州支部四千五百點其他四十八箱、晉州支部九百四十八點（七箱）

慰問品 第二回積出

京城府取扱の義捐金は十五日朝現在が府衙の分を除いて十九萬五千四百九十六圓に達して居る此の外各團體等の慰問品も續々集まつて來るので十五日夜第二回の搬出を行ふ筈である、京城消防組で募集した衣類も約八千點を數ふるに至り六十一個に梱包し右と同時に積込み十六日午前十時京城地…

共犯一味捕はる
渡邊氏を傷害した 爭鬪原因は幹部更迭で 分島が一會員になつた爲め？

既報―國粹會朝鮮本部長渡邊定一郎氏（五〇）を待ち伏せて重傷を負はせた犯人黃金町一の一九二番地元同會幹事長分島周次郎（三〇）の自首に依り本町署では直に十數名の搜査班を組織して市內の各飲食店旅館方面の搜査に充てると同時に更に犯人の立廻り先には刑事を張り込ませて極力證據品の發見に努め各方面へ手配する等三重の警戒線を張り水も漏らさぬやうに犯人の逮捕に全力を注ぎ活動を開始した結果分島方に食客する福岡縣門司市清瀧町二丁目神田宇一（二三）を分島方に潛伏中を又岡山縣阿哲郡新見町小野鶴太郎（三三）を大平町を俳徊中難なく逮捕した又後る坂東博一（三〇）は犯行の現場より一旦分島方へ引返して衣服を著替へて非常線を突破して仁川へ高飛びし某家へ潛伏せる處を十五日午前三時頃仁川署に逮捕された、犯行を演じた原因は國粹會朝鮮本部の幹部の更迭より幹事長の分島が一會員となり幹部に置かれず分島の反感を招いたもの〳〵如く當日渡邊氏の姿を見るや分島が歸宅して前記三名を率ゐて待ち伏し渡邊氏が双渡り二尺の日本刀で他は何れも樫のステッキを振翳して顏面部外數ケ所を亂打傷付けたもので兇行當時著用した血痕の衣類兇行器全部を家宅搜査の結果發見押收した、要するに白鞘の鑑斷ではあるし鑑定の結果より程遠からぬ場所で兇行が企てられたことゝて鈴木署長以下の苦心一方ならず一夜の內に

坂東小野檢事 局へ送らる

仁川署に逮捕された坂東博一（三〇）は十五日朝京城に護送され本町署に於て小野鶴太郎（三三）と共に檢事局へ送られ平山檢事の嚴重なる取調べを受けて西大門刑務所へ收監された、渡邊氏は目下總督府醫院に入院治療中であるが經過良好であると

本町路面の お化粧
今月一杯では 六敷しい

本町通りの路面鋪裝は一丁目から三丁目に亘る路面鋪裝工事は晝夜兼行で工事を急いで居るが一日の工程は約八十坪單位で殆ど二十日間位の豫定で進捗して居る九月中には完成の豫定であつたが過日來の降雨で非常に工事を阻害されたので今月中の完成は稍困難であらうと當局者は語つて居る

人力車の 車體檢査
共進會で乘物を取締る

共進會開催中の乘物は重要なる役目を有して居るので取締上から警察部では二十日頃より車體檢査を施行し乘物の改善を圖る事になつた…

救世軍の活動

先年獨逸に監禁されてゐた東京救世軍日本々營は此度の大震災の爲め全部燒失し、幹部たる指田中佐及び瀨井縣本營は慘死せ、山室軍大佐以下參謀の士官も負傷すると云ふ大變害を受けたに拘らず救世軍は罹災者の救護及び罹災民救濟を始め食物其外の必要品の供給に盡力した、處で朝鮮の救世軍からも都賀佐中佐が平井中佐と同件にて上京し救濟事業に盡力すべく十二日當地を出發したが同軍の活動は賞讚すべきもので中略でも救世軍司令官及びビエス中將が出發し多數の衣服其他を携帶東上し、英國同數救世軍では早速三千磅（三萬圓）を電報にて送金して置いて二百萬磅（二千萬圓）の義捐金を募集すると計畫の下に活動を始めてゐる米國救世軍も救濟義捐金として五百萬弗を募集中であると

國際賑恤會
梅蘭芳の主唱

曾て日本藝界を驚歎せしめた支那劇界の花形梅蘭芳の主唱にて北京國際賑恤會を催し其收益を擧げて關東震災に寄附する筈へ向け發送する由

高陽郡の 義捐金募集

高陽郡內にては今回の關東方面震災罹災者に對し同郡內の內鮮官民有志一同は數日前郡當局と協議し目下同情金を募集中なる由（高陽郡廳取扱）

壹百圓 崇仁面敦岩里 李宗獻

壹百圓 同 祭基里（京城本町二丁目）城基一六

五拾圓 同 安岩里 宋元淳

小計金二百五十圓也

城津の義捐

咸北城津官民合同にて義捐中の義捐金は總額三千圓以上に達する見込みであるが城津日本宗本妙院及本願寺の各婦人會聯合にて十三日午前八時より會員總出で救恤の衣類一千六百點を募集し直に御送…

電報賴信紙を送る
遞信局から 羅災地局へ

今回の震災で東京府內各局罹災の爲め遞信局では取あへず多數の電信機、機械材料を東京方面に急送し臨時通信の便を圖つたが今回更に電報頼信紙二百萬枚外式紙類百二十餘點及び郵便物遞送用空行囊一萬五千袋を一千八百餘個の行李に包裝して急送する事にした

…りなし十四日夜の連絡船で歸還した（釜山特電）

懸賞募集
副業共進會の 十日午後締切る

副業共進會が豫て懸賞募集して居た標語、脚本、唱歌及逸話は、十日午後四時を以て〆切つたが其應募件數は標語三、九七六唱歌二四五逸話二、〇〇〇、逸話四四で朝鮮は固より內地各府縣から滿洲等に至るまで殆ど各方面に亘つて應募してゐる狀況で此の外にも〆切後に到著し募入漏れとなつたものも多數ある由である懸賞は會に於て嚴密に審査し十月五日開會々期頭に之を發表し會場に掲示すると

八萬圓 橫領事件公判

京城石油共同販賣組合の支配人鶴田繩太郎、會計山口三郎に係る八萬圓の業務橫領事件の公判は京城地方法院深木裁判長、山根、白爾判事陪席係で審理中の處、檢事は之に對して鶴田は懲役十月、山口は懲役二年の求刑があり、切山、赤尾の兩辯護士は大に辯論に力めたが、十五日鶴田は同七月に執行猶豫二年、山口は同一年半に執行猶豫四年の判決があつたので兩人は同日夕釋放された

親の土地で金 を借りる
詐欺で告訴

忠北沃川郡沃川面馬巖里二二六番地朴丙采（二七）は去る七月十七日府內元町一の八九金泰圓に向つて『自分の所有土地である利川郡栗面所在石里及大井里の四萬三千坪を抵當として二千五百圓を借り受け度いから世話して吳れ』と依頼し泰圓は府內八幡町五三具海冕に右の話を傳へ同人も承諾して同月廿八日二千五百圓を丙采に貸し與へた處右土地は後日調べた處丙采の所有ではなく丙采の實父と弟の所有であることが判明したので詐欺として鍾路署へ告訴したので丙采は一件書類と共に十五日檢事局へ送られた

府內には適用 するものなし
暴利取締實施

今回の暴利取締令は京畿道でも施行さるゝ事になつたが京城府當局は直に生活必需品の價格調査に著手し一部は既に調査を終へたが未だ全部の調査を終らないので一概に斷言する事は出來ないが目下の狀態では取締令を適用せねばならぬ樣なものはないだらうと

刑事と詐稱し
短杖で毆る

十五日午前一時頃府內樓閣洞五七番地李容淳（二〇）は觀水町を俳徊して居る李乘鶴（二〇）を引捉へ『俺は高等刑事である』と詐稱して大和町まで同伴し突然帶締の數本したステッキを揮つて亂打して居る處を本町署刑事に發見逮捕された

連絡船缺航

內地方面に颱風あり爲めに關釜間の連絡船は十五日朝下關及釜山から出帆せず十五日朝下關發の連絡船は缺航したが十五日夜は多分出帆し得べき見込である尙十四日夜列車にて羅災地より到著した普通郵便は千九百五十九通で同夜行列車にて發送した官公署宛の災害郵便は百七通である（釜山特電）

忠魂碑供養

帝國在郷軍人會京城聯合分會では第二十師團司令部及び帝國在郷軍人會京城支部後援の許に十七日（月曜）午後七時半より南山本願寺で忠魂碑供養講演會を開催する由であるが出演者は佛教濟世軍の眞田友松、龍昇氏で演題は『平和の裏面に潛める涙』で尙漢文學士も出演する事になつて居るが演題は未定だと

杉山米堂氏無事

東京米タイムス社長杉山米堂氏は東京市外西大久保四百二十番地丹所氏方へ家族一同無事避難し居ると

モルヒネを密賣

府內觀水洞八九番地鄭入柳敬植（三一）は十五日午前八時頃府外漢芝面下往十里三八七李基春（二三）に自宅でモルヒネを注射したばかりでなく外にもモルヒネを密賣したことが發覺して鍾路署に檢擧された

震災義捐金品（本社扱の分）

參百四十圓二十錢 成歡鐵道保線區管內一同

壹百五十壹圓〇六錢 京城公立第一高等女學校生徒一同

參百二十二圓六十二錢 遞信局京城支局職工一同

內譯 壹百九十六圓 仁寺洞工場千百七十四人 七拾九圓三十三錢 善州通工場五百九十三人 四拾七圓二十九錢 太平通工場四百二十八人

參拾八圓 論山大日本眞宗會傳會論山支部

內譯 ▲五圓宛 足立眞正、橫田一郎、松本信夫、永津博▲參圓 山名豪五郎、池田宗三郎、荼田義謹▲貳圓宛 安田道太郎、山本千尋▲壹圓宛 山川實、竹野豪龍、野村武夫、松永兵頭一夫

金拾貳圓 忠淸北道原興協議醸造所

內譯▲貳圓…▲八十錢…▲七十五錢…

金拾壹圓六十錢 忠北道醸業取締所

▲貳十圓 明治町一丸福 ▲五圓 同丸條 ▲二圓 京仁線妙 小林巖之助

小計金九百〇貳圓四十八錢

累計金壹萬二千五百二十三圓〇八錢

一大水害と赤十字の活動

…が其結果は總人員一七四〇名…

作業服 堅牢 廉價 優美
店員モ職工モ農夫モ働クニハ此服ニ限リマス
カタログ進呈
京城南大門通 ユニオン商會 電話本局二五六二番 振替京城八六三九番

御好みに應じ會席料理も致します
席貸專門 烏丸
ラジユム溫泉の設備も有ります

親切 薬 勉强
釜山辨天町 藤田藥鋪 電話長八一一番

平壤府大和町
內科 小兒科 藤本醫院
入院室設備あり 電話一五三 二〇〇番

求林堂西川商店
立退先 本郷區西片町十番地松永郎內 東京市外西巢鴨新田七〇六 求林堂第二工場內
店主 西川忠亮

京城府西小門町二十一番地
田中丸病院
院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫師 上野和夫
普通病室 隔離室 設備アリ
電話光化門一八八 三八五

朝鮮信託株式會社
●營業科目 信託 金錢信託 有價證券信託 不動產信託 代理 其他一般信託業
●營業案內進呈
京城府明治町一丁目 電話本局一五九五番 仁川本町一丁目 電話一二二番

資本金六百萬圓 明治三十八年設立
當銀行ハ預金貸金爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通二丁目十四番地
株式會社 漢城銀行 頭取 韓相龍
電話長光化門八一番 振替口座京城二〇五番
支店所在地 水原、平壤、大田、開城、京城南大門、釜山、東京
出張所所在地 大邱、京城東大門、東萊、平壤大和町、京城西大門、京城本町

英白國製毛糸
專門發賣元
米倉毛糸店
京城府明治町二丁目 電話長本局一三二四番

府内警察署巡閲所感（四）

馬野京畿道警察部長談

大きに濫用に依り發見したる不備缺陷につき、將來これを改善し又新に施設を加ふることが其第二の効果である。所謂岡目八目で自分が取りきめでこれなら大丈夫と信じて居つたのも、他から見れば案外不充分の點あるを免れぬ、巡閲は即ちこれ等の不備を指摘して改善施設を促す事に、其一半の効果を認めることが出來る。

第四、警察精神

以上巡閲の意義目的及効果に就いて簡單に説明を加へたがこれを要するに、巡閲は警察の成績向上を其主眼とするのである、而して警察の成績を向上せしめるには、前にも述べた樣に警察の訓練を十分にする必要がある、警察訓練の根源は警察精神であるが警察精神といへば、甚だ漠然たる觀念であるが大體左の三點は其内容として最も重要なものであると信ずる。

（一）進取の氣象を有すること　警察精神は進取、敢爲の氣象を必要とする、退嬰姑息は警察の敵である、警察精神は軍人精神と同樣であつて、軍隊の所謂攻撃精神が必要である古來戰爭に於いて守勢にして勝利を得た例は未だ曾てこれを聞かんのである、近くは日露戰爭に於ても又歐洲の大戰に於ても勝利は常に攻撃軍に歸して居るのである、而も戰爭は十年に一度か、二十年に一度の例であるが警察は毎日が戰爭である、警察官は日々夜々戰場にあると同樣である從つて常に進取敢爲の精神即ち所謂攻撃の精神を以て其職務に當るにあらざれば我國家社會に害惡を及ぼす有形無形の敵と戰つて勝利を得ることは不可能であると信ずる。進取の氣象は實に警察精神の第一義である。

（二）公明正大の心事を持する事　『自ら省みて疚しからずんば、千萬人と雖も吾往かむ』の概あることを要する、或は監督者の眼前で用を二三にし或は相手に依つて其の態度を異にし、表面に於いて職務に勉むる如く見せかけ、裏面に於いて職務を缺くが如き卑屈な精神は、警察官として最も慎まなければならぬ事であると思ふ何處迄も正々堂々光風霽月の態度を持することが必要である、自分に後暗いことがあつては、堂々職務を執行することが出來ぬ、徒らに權勢に媚び卑賤に威張る樣では到底立派な警察官と稱することは能きぬ、法の前では上下卑賤の區別はない恰も太陽が萬物を一樣に光被するが如く常に正々堂々でなければならぬ、これが特に警察官として最も必要な心掛であると信ずる。

（三）意氣を尚ぶこと　古人も『士は己を知るものゝ爲めに死す』と言ひまた『人生意氣に感ず』と言つたあり『功名誰か又論ぜん』と言つた事である、意氣は實に武士道の精華である。或は意氣投合といひ、或は同僚相求むといふ意氣は實に警察精神の根原である、下僚は上司に臨むに意氣を以てし、上司は下僚に對するに意氣を以てし、上下互に意氣相投合して茲に始めて警察の眞價を發揮することが出來るのである警察が特に他の行政事務と異り一種特別の心的作用を要するかの如く見えるのは全く此の意氣があるがためである前項に述べた通り警察精神は武士道であり軍人精神である軍人が戰場に於いて一身を鴻毛の輕きに比し鉄彈に殉ずるのも全く上官の意氣に感ずるからである。乃木將軍が其愛兒の二人迄も戰場の露と化せしめ且つ數千の部下を犧牲に供し而も自分遂に先帝陛下に殉じ奉つたのも恐れ多い話であるが全く、明治大帝の御意氣に感激し奉つた結果であつた。又多數の部下が乃木將軍の下で死に赴いたのも同じく乃木將軍の意氣に感じた結果であつた、意氣は實に警察精神の精華であり、武士道の精髓である今や輕佻浮薄の風の瀰漫せんとする際余輩は特に警察官に對して此の意氣を貴ぶの精神を鼓吹して歇まんのである。

以上三個の要件を總括して警察精神と稱するのである、これ即ち警察活動力の原動力であり警察機能の生命である。

第五　結論

今回の巡閲は大要以上の意味を以て行はれたのであるが各署特有の長所缺點に就ては別に詳細講評を試み又中には一般に發表する事を憚かる點もないではないが概して巡閲に緊張した氣分を以て各警察署共非常に緊張し又巡閲官一行も特に多大の興味と努力を以て巡閲に從事したことは大いに余輩の滿足する所である吾局從來曾て無かつた大事に際して整理し得た丈けでも大成功と稱して良からうと思ふこれに依つて一先づ内地警察事務の基礎がこれに依つて確立した譯である各署の職員は過回の巡閲の結果に鑑み其改むべきはこれを更ため其の施設すべきは新に施設し以て警察の新面目を發揮するに力め巡閲をして無意義に終らしめざる樣切望して歇まぬ次第である（了）

帝國の礎は微動だもせず

疑惧惑動せず專心生業を勵め　尹江原道知事の諭告

【春川】今回關東地方の震災に對し尹江原道知事は左の如き諭告を發した

東京及近縣に亘る今次の震災及火災は未曾有の慘害を呈し人命の損傷建築物の倒壞甚大にして交通通信の機關損壞し罹災の狀酸鼻を極む

聖上深く之を軫念し給ひ御内帑金一千萬圓を下賜せられ、攝政宮殿下は特に山本總理大臣を召され優渥なる御沙汰を賜り又政府は聖旨を畏み直に内閣に臨時震災救護事務局を設置し救護の爲豫備金九百五十萬圓を支出し救護に全力を傾注し食糧物資の補給建築材料の準備其の他應急百般の施設を爲すに於て最善の努力を竭し今や帝都秩序全く恢復し救護の方法亦確立し何等憂慮を要するものなきに至れり

特に聖上皇后兩陛下、攝政宮殿下、竝李王世子殿下の御安泰に在しますは道民と共に歡欣感激に堪へざるところなり

在東京朝鮮人に在りては政府並に各種公共團體の周到なる保護に依り憂慮すへきことなし

秩序の維持民心の安定叙上の如しと雖も交通通信の杜絶に依り災害の狀況一時不明なりし爲或は無稽の流言蜚語行はれ人心を惑はすものなきを保せず素より今次の災害は帝國政治經濟の中樞地に起り其の損害の甚大なる影響の廣汎なるを測り知るへからす之か復舊には擧國一致の奮起協力に俟つこと切なりと雖も帝國の國礎は微動たもせず全國民の熱烈なる救援と海外各國の深厚なる同情とは森然として帝國災害民に集中し或は物質的に或は精神的に既に當面救護の手段は整然樹立せられたるを以て徒に疑惧惑動するか如きことなく各自の生業に專念精勵して國力の增進に努むると同時に罹災者の窮狀に同情し同胞相愛の赤誠を捧し此の異常の災厄に對し各應分の義捐を爲すと共に聖旨の厚きを奉戴し仁慈なる御沙汰の貫徹を期するは道民の當に努むべきところなりとす

若し此の天災を奇貨とし生活必需品殊に米價の昂騰を見越し買占又は賣惜を敢てし竊に市價の暴騰を誘致し不當の暴利を貪らむとする如きものあるに於ては人道上看過すへからざるを以て道民は深く思を茲に致し是等悖徳行爲の防止に努め郷閭相戒め兄弟の誼一家の親に相背悖するか如きことなからむことを望む茲に曠古の災厄に際し道民の歸趨を明かにし其心得へき事項を示すは當に本官の責務なりと信す我百二十萬道民克く本官の微衷を諒得し國民たるの本務を盡すに於て遺憾なきことを切望して止まさるところなり

右諭告す

大正十二年九月八日

朝鮮總督府江原道知事尹甲炳

今回の大地震は　心機一轉の好機

誰しも此の大打撃を蒙つた氣で大に節約をすべし　仁川商議會頭　吉田秀次郎氏談

【仁川】這回の關東大震災は實に擬古未曾有の悲慘事で過去の何物にも優る國家の大損失であつた生命財産文化等何れの方面から見るも然りだ戰爭の軍費は其費消された大部分は民間の經濟界に影響し一般商人の財政を潤澤ならしむるが天災の斯かるものは恰も發射した彈丸の落下するに等しく全然之れを泥土に歸せしむるものである而して今回の事變が齎した本邦の經濟界は勿論の事我朝鮮其他に波及し又取り其れのみか吾人の精神的にも打撃の大なるものがあらう國民たる者は恐らく斯かる一朝事に處すべきを知らねばならぬ吾人は其慘禍には滿腔の同情を捧ふは言はずもがな之れを國家觀念から考察する時は此際をして心氣一轉の好機であるべきを熟知するのである先づ第一に罹災者の救濟に盡し以て其復興に專ら努力を致さねばならぬ其災禍にして朝鮮經濟界に波及する程度は未だ判斷を下すを得ないが其の程度の如何に拘らず此際に於て絕大なる打撃に襲はれた意思になつてあらん限りの節約を怠らず假令外債を起すとも多くの額に及ぼさず內債に俟つて事を足らしむべく飽く迄も國民性を發揮し更に新しき文化を開拓し罹災地の復興が速かに遂行される事を希望して歇まない

水原の義捐金

豫想外の好成績

【水原】水原郡で募集中の震災義捐金は各人の同情と各町洞役員の熱心なる努力とに依り非常な好成績を示し十四日現在で南門外の三百五十圓五十錢、柳山里の三百四十三圓、本町の二百八圓、校洞の百四十三圓五十錢、北門の百十九圓、鼎昌町の五十五圓、仲町の四十三圓五十錢、西門の二十二圓、榮町の十四圓等合計金一千百九十八圓五十錢に東山里里民より中屋榮藏氏の三百圓高見長恒氏の百圓外社員より二百六十四圓、水原電燈會社の百圓等申込多數にして第一回締切までには豫想以上の多額にのぼるであらう

人類の災害は　人類が救濟する義務あり

震災と滿洲に於ける鮮支人の同情　平安南道李保安課長談

【平壤】某要務を帶びて急遽奉天地方へ出張した平安南道李保安課長は十三日夜歸任したが奉天に於ける鮮支人の思想が著しく善導されて居るのに驚いたと次の如く語る、

『道に大國人は偉い所がある、今回の東都地方大震災に對しては張作霖氏はじめ一般の市民迄が非常な同情に心配して殆ど毎日の如く慰問の情報を聞く爲めに領事館を訪問する、義捐金も各新聞社を通じて旺に募集されて居るが五十圓百圓二百圓と云ふ寄附者が大多數で十圓以下の寄附者は一人も居ないと云ふ狀態であつた張作霖氏も生牛一千頭、麥二萬俵を贈つた、支那人有力者の如きは今回の大震災は世界的の悲慘事で我留學生や居留民も多數罹災して居るに違ひない然し我々は同胞の爲めのみの救濟方法などは考へても見ない、そこは大日本帝國に於いて遺憾なく救濟策が施されることゝ信じ何等人種的差別待遇があるべき筈がない齊しく人類の上に襲つた災害は又人類に依つて救濟する義務があるいふ以上我々は人類愛の上から日本帝國を信賴して出來得る限り義捐金の多からんことを希ふものである云々と又朝鮮人のうちでも從來假政府や共産、社會主義に共鳴した所謂過激思想の所有者であつた連中も今日では大部分醒化して大に總督政治を諒解し時代に覺醒せし事の著しいものがある私の來た事を何處から聞いたか之等の人達が進んで訪問して來て種々時局を論じて見た云々』

新義州の活動

【新義州】新義州青年會幹部連は震災義捐金募集に努めつゝあつたが時恰も官廳に於て義捐金募集を一括する議が起つたので會員のみで醵出する事となり十三日會員一同より得たる百二圓を新義州府尹に託し義捐金中に寄附した又連日戸別訪問で衣類雜品を蒐集してゐる愛國婦人會新義州支部員は十三日迄に衣類其他の慰問品衣類二千五百點品六百五十五此の寄附者四百五十人と云ふ多數に及び意外なる好成績を得た、此外新義州在住の鮮人義捐金は十三日迄に六百圓に達し內地人側は五千餘圓である

本當の義捐金

【平壤】中和郡中和邑內酒類釀造所主岡田渡雄同果樹園主佐久山藤吉の兩氏は曩に大水害の際兩氏所有の農作物殆ど全滅の痛手を蒙むつたにも拘らず今回關東地方の大震災の慘狀を聞き率先して從業者の一部にもと各三十圓を差出し中和郡に寄贈方を依賴して來た、多數の借家も持ち銀行にはうなる程の金を貯へてゐながら見ぬ振りする人も多いのに兩氏の如きは僻村に貧しく住みて仁み深い人であると中和邑では一般に噂してゐる、兩氏共學校組合議員である

……に達したので一先づ夫々災害地へ發送した又修養團員は慰問袋募集に着手したるが是亦頗る好成績にて即日二百袋に達したので第一回を締切り十三日發送した

溫突改造會議

【平澤】曩に京畿道より溫突改造に關し各府郡に對し夫々宣傳實行方依託する處あり振威郡にては過般來各方面の實地に就き徹底的に改造の必要を宣傳したることは既報の通りであるが尚一層徹底せしむる爲め地方有力者二十名を溫突改造獎勵委員として囑託し、十四日午後一時より同郡會議室に於て實行宣傳に關する協議をしたる結果、來る九月二十五日迄に平澤里一圓を完了せしめ同月二十八日より十月十日迄に實地檢査をなす事に決した

十四年間七代の　稅關長に仕へた

新義州稅關每熊監視長の榮轉　流石に名殘が惜しさう

【新義州】新義州稅關監視課長として十四年間勤務した監視兼書記每熊雄次郎氏は今回龍岩浦稅關支署長に榮轉し近く赴任する事となつた府內の官民有力者は氏の爲めに記念品贈與の計畫を樹て目下奔走中である、氏は佐賀縣生れで本年四十二歲騎兵軍曹として日露戰爭に從戰し鴨綠江の渡河から九連城攻撃に名譽の金鵄勳章を拜受した勇者である、明治四十一年神戸稅關から鎭南浦稅關に轉じ四十二年龍岩浦出張所長四十三年新義州支署監視係長として本日に至つたもので數ある功績中に特記すべきは大正二年四月陸接國境稅關開始に當り從來稅關事務を取扱ひ居たる憲兵に對し鴨綠江上下流を通じ隈なく出張稅關事務を教授して遺憾なき準備を完成せしめ爾來本日迄結氷中の密輸入者檢擧夏期の非常監視等河一つ越せば外國と云ふ國境の稅關事務を何一つ非難の點もなく取締つた其の功勞には何れも感謝して居る此の外に警察事務の手助けをなした功勞も少くないのである、尙氏は劍術は有段者の腕前を有し現に新義州武德分隊の師範であり加ふるに大の運動家として庭球野球に趣味を持ち稅關庭球部が本日あらしめた功勞者の一人として數へるに決して吝でないのである、尙氏は劍術は有段者の腕前を有し現に新義州武德分隊の師範であり加ふるに大の運動家として庭球野球に趣味を持ち稅關庭球部が本日庭球チームの重鎭として他共に相許すは氏が主將として孤軍奮鬪の賜物である此の惜まれて去る名物男の氏は往訪の記者に左の如く語つた

『私が當地に厄介になつたのは長女君子が生れた許りの年でしたが其君子は今鎭南浦稅關に勤務する愛兒の手元から女學校に通してゐます、早いものです、その十四年になりますよ、其間これと云ふ手柄もせずに勤めて居たのは全く皆様のお蔭です、私今長いお馴染の皆様や思ひ出多い新義州と別れねばならぬと思ふと感慨無量です、思へば矢鍋氏から大瀧取締所長の矢野さん森林所長の野中さんを始め七代の稅關長に仕へたのです、何と云つても名殘が惜まれます』

仁川水道

計量器取付竣工期

【仁川】仁川水道計量器取付工事は其後着々進捗し十一月末全部の工事を終る豫定であるが此の計量器設備の結果として水道收入に於て約四千餘圓の不足を生ずべきもが取付けのため自然一般が節水を行ふことゝなるので其餘水を京城府に給水せば此方面の收入は當然增すべきに依り結局大した缺損は見ざるべく因に計量器取付總數は一千五百個であると

燕岐治山施設

【淸津】朝鮮產業開發上治山治水の最も喫緊なるは言ふ迄もないことではあるが特に忠南燕岐郡は殆ど全部荒廢山野のみと云ふも敢て過言ではない有樣であつて大雨ある每に土砂の流出甚だしく是が爲に荒される耕地の損害は實に莫大なものである是非共是が防止策を講ずるに在らざれば到底完全なる產業の發達は望むべからざるの狀態である郡當局も此の點に深く留意し從來も造林の獎勵及び保護に付いて色々と施設はせられ漸次其緒には付きつゝあるが未だ前途は遼遠である故に本年は伐採減少の策として郡內燃料は他道他郡產より求むるの方法とし一般に共同購入を斡旋獎勵し又木炭の如きは之を三つ穴燃炭を以て代用する樣宣傳に努め一面植林方法の改善林野保護の方法等に付來る二十二日郡內山林所有者占有者國有林野貸付者及び種苗業者を郡廳に招集し協議會を開催し相俟て治山事業の目的の達成を期する由當日は專門家の有益な講演もある豫定

虎疫豫防を嚴重にせよ

上海方面はナカナカ猖獗　流行期は之れからだ

【釜山】釜山に於ける惡疫殊にコレラの流行期は既往の統計から見ても九月下旬から十一月の初めにかゝるを通例としてゐる本年は幸ひ未だ何等の徵候を認めないが時節柄大に警戒の必要があるので去る十日から海上生活者及び港灣關係者約九千人に對し豫防注射を開始してゐるが時恰も關東地方の震災に際會し橫濱方面の檢疫所を始め海港檢疫機關一切が破壞され同方面の豫防施設も施すに途なき狀態に陷つた、一方上海方面の虎疫は各國居留地は稍終熄に向つたが支那街には未だに每日三十人內外の新患者を見つゝあり然も今回の震災に對しては同方面から盛に慰問品其他の物資を輸出しつゝあり萬一震災地方面に病毒を傳播するが如き事あらんか到底收拾すべからざる此上の慘禍を招くべきは明かなるのみならず避難民を介して各地に及ぼす可影響亦甚大なるを以て門司神戸方面に於ては多大の恐慌を來し極力之が豫防に努めつゝあるが何分同方面よりの入港船に對しては橫濱檢疫所の全滅が幾多の缺陷を醸す事となつたので之に關聯せる一門戶たる我釜山の如きも一層の注意を以て防疫に從事するの必要あり努々豫防注射の勵行を早めた譯で一步を過つに於ては由々敷大事を惹起する事となるので各自に於ても十二分の警戒を忘れざらん事を望む次第であると釜山港務部永富醫官は語つて居た

施設工事

月尾島上水道　十一月中完成

【仁川】月尾島送水鐵管施設工事は目下突堤右側約二百餘の海底へ埋沒中であるが月尾島に近接せる濟筋の工事は潮水の關係で工事極めて困難であるので潮時を見計ひ取急ぎ工事に着手する筈で遲くとも本月中には完成するであらう因に同所の使用せる鐵管は內徑四吋で延長は千百五十四間である

買占が暴露して

支店長左遷

【奉天】正隆銀行奉天支店の竹內支店長は關東震災の報に接するや出入り商人と結託して米の買占めをやつた事が暴露して去る十日奉天警務署の取調べを受け科料十五圓に處せられた、其結果大連本店では斯の如き曰く付の者を店長として地方に其まゝ据置く譯には行かないので急に本店詰を命じた平松主任を奉天支店長に任じ竹內氏は本店貸付掛り平松氏は十三日朝着奉直に事務の引繼を開始したが一兩日で全部を終了し竹內氏は一度本店に引揚げたる上で更に自決する筈であると

慶北農界革新

小型發動機購入

【大邱】慶尚北道農會に於ては道產米を改善する意味に於て諸種の新計畫を立て之を實行せんとしつゝあるが本年度に於ては米穀調製用其他に使用する爲め小型發動機を購入するもの十一郡二十二臺の多きに達する由なるが之を郡別に區分する時は

永川郡六臺、善山二臺、慶州四臺、金泉三臺、達城、軍威、迎日、醴山、淸道、漆谷、尙州各一臺にして內インターナショナル五臺ゼット一臺、オット四臺に對しては地方費より一臺に付金三百圓の補助を下附せらるゝ事となり不日之が据付けにより來る十八日より二十二日迄五日間道種苗場に於て發動機及び農用動力の講習會を開く筈なるが技師及講師は本府勸業模範場及び發動機販賣總代理店の技師道種苗場の片山技手にして受講者は二十二郡の共勵者の筈に付道農會の……

庶務財務課長

移動

【晉州】各郡庶務財務課長の移動を十日發表した

命昌寧郡在勤	中光岩太郎	
同宜寧郡同	松丸	源治
同山清郡同	橋川	順三
同居昌郡同	赤川	鹽介
同咸安郡同	加來	助吉
同泗川郡同	阪口	鹿文
同咸陽郡同	木室	判六
	瀧口	順二

平南道屬移動

【平壤】九月四日付を以て平南道府郡屬に左の通り異動があつた

朝鮮總督府々屬　秦　恕夫（平壤）鎭南浦府在勤を命ず（內務庶務課長）

同　西村眞三郎（鎭南浦）平壤府在勤を命ず

同府屬　加藤才治郎（社會課）任朝鮮總督府郡屬价川郡在勤を命ず（庶務課長）

同郡屬　上野初三（价川）任朝鮮總督府道屬內務部社會課勤務を命ず

同郡屬　鹽谷開市（順川）平原郡在勤を命ず

同　宋國鳳（安州）順川郡在勤を命ず

同　水川義彥（大同）价川郡在勤を命ず（財務課長）

同　山ノ內敬三郎（价川）任朝鮮總督府々屬平壤府在勤を命ず

同府屬　井山敏夫（平壤）任朝鮮總督府郡屬大同郡在勤を命ず（財務課長）

同　大塚譜（平壤）任朝鮮總督府郡屬順川郡在勤を命ず

同郡屬　木原梓（順川）江西郡在勤を命ず（財務課長）

同　金承烈（龍岡）中和郡在勤を命ず

同　尹海觀（大同）順川郡在勤を命ず

同　成相鎬（順川）大同郡在勤を命ず

同　齋藤千代治（平原）江西郡在勤を命ず（庶務課長）

同　林　彌市（江東）平原郡在勤を命ず

同府屬　洲崎米作（鎭南浦）任朝鮮總督府道屬內務部會計課勤務を命ず

忠北警官更迭

【淸州】忠淸北道警察部では部員の一部更迭を行つた

高等課警部松尾倉之助元淸州署衞生課警部補大浪濟之元警務課堤川署警部補下野巖之助元高等課淸州署警部補橫山常治元衞生課

美湖川改修

完全な橋梁も架設

【淸州】鳥致院にある美湖川は雨水の都度氾濫して忽ち交通杜絶を來すのだが其入選網は先月の大水で墜落以來渡船にて僅に交通の連絡を取りつゝあつたが今度本府の事業として完全なる橋梁の架設及河岸の改修を決行する事となり數日前請負入札の結果二十二萬八千五百圓で淸州前田組へ落札直に工事に着手する由尙又同沿岸にある服部農場の護岸工事も同組の手にて竣造する事となつたので之等完成の曉は根本的に浸水氾濫を防止すべく屢々起る朝鐵の不通も車馬の杜絶も全然一掃さるゝに至るであらう。

朝鐵不通

降雨出水で　自動車も運轉不可能

【淸州】十日以來連日の降雨の爲め美湖川增水氾濫して西方の線路約二尺浸水の結果朝鐵鳥致院間の汽車は十一日午後より不通となつた自動車は鳥致院間は勿論淸州鎭川間淸州米院間共に運轉不可能となり淸州忠州間は淸州曾坪間不通につき朝鐵淸安驛より連絡して僅に運轉しつゝある情況である

出水被害無し

【平澤】十日以來殆ど梅雨の蒸し返しの如き降雨あり、爲めに安城川は多少の增水を見、十二日中降り續かば田畑に多少の損害を來すの虞ありしも、幸ひにして降雨も止み平澤市場に逆水浸入し小部分の浸水を見たるのみにて漸次減水し、稻作には全く被害がなかつた尤も降雨中冷氣の爲め幾分生育に障害があつたが今後天候の恢復により差したる被害もない樣である

初霜白し

平南寧遠地方　例年より早い

（平壤）平南道寧遠小白面地方では最近遽かに寒氣加けり九月八日朝の如きは初霜で眞白になつた爲め農作物の被害夥しい見込である、之れが平南道の初霜で昨年より三週間以上本年は早かつたと

獻穀畓刈取

【平澤】振威郡芙蓉面頭里にける獻穀田は既報の通り完全に成熟したるを以て、來る十八日午前九時京畿道及振威郡より立會ひ刈取りをなす由

廢材供給は　市價の五割引

格安品と云ふ名義で

【新義州】營林廠は其の格安品を平南水害罹災民に供給する件に就いては平南道廳と營林廠との間に交渉を進行し目下著々製材を急ぎつゝあるが同廠では平南道以外に平北道廳からの要求もあり双方の高を合して一萬二千尺締に及び內三分の二を平南道に仕向ける手筈で更に東都震災に對する供給もあり大車輪で製材に努めてゐる因に平南北兩道に供給する製材は市價の五割引であるが右の如きは何等現在の法規に根據する處がないのでそれに相當する格安品を供給するといふ名義にするといふ

在鄉軍人役員會

【仁川】仁川在鄕軍人會は十三日午後七時より公會堂に於て忠魂碑供養會其他に就て役員會を開催した（仁川）

義勇隊員出發

【慶北】慶州郡では八月修養團慶州郡支部を設置以來非常な歡迎を受け今や百五十名の團員となつて居るが今回朝鮮修養團本部が發意によつて義勇隊を組織して各支部から一名つゝ選出することゝなつたので慶州郡支部から古隅巳之吉田中宗次郎の二氏を選出することゝなつた地方有志は之を壯擧として百餘圓を醵出して支部に寄贈したので之を兩氏に送つた一行は十四日午前六時十分の慶州驛發列車で勇壯な歡呼裡に送られて出發した（慶州）

避難者通過

【大田】十三日午後五時三十四分大田驛着奉天行列車にて關東地方震災罹災民無賃移乘者凡そ七十名北行通過せり尙當驛乘換木浦方面行きは十一名にして通過客の內京城方面が十九名京義線方面が井五名元山方面六名南滿洲方面の六名なり主に鮮人にして學生並に勞働者の歸鄕である（大田）

留學生全部無事

【光州】光州郡下より東京留學中の學生は合計十八名なるが之等全部は今回の大震災に際し全部無事であつた（光州）

每熊氏送別庭球戰

【新義州】新義州稅關監視課長から龍岩浦稅關支署長に榮轉した每熊雄次郎氏の爲に稅關庭球部は十三日午後四時から送別庭球戰を擧行したが右は新田満庭球場記者團等からも選手加入し七組の紅白戰となし左の結果で白軍勝利に歸し夜は原で心許りの送別宴を催し夕散會したスコア左の如し

江軍		白軍	
×〇西村	川上	×洪	辰巳
×長谷	小野	×◎樋口	宮後
×◎淺尾	一瀬	×福澤	平田
×◎岡田	竹中	×齋藤	霧部
×阿部	鶴林	×仙波朝	米野
×宮本	小林	×今川	松井
×〇川村	岸川〇〇	◎每熊	佐藤

地方人事

▲西晉州慈惠院長　新任西晉慈惠病院長は十二日午後五時著任（晉州）

▲中筋警部　一行全南道警察部より鮮人留學生の狀況視察のため東京へ出張の一行は十三日著京の旨入電があつた（光州）

▲加藤農學博士（九大教授）今月末より滿洲を巡遊の後朝鮮に入り來月十日頃光州著一泊の上木浦に向ふ筈（光州）

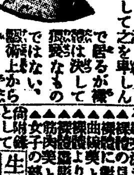
▲性慾大家　澤田順次郎先生新著　（裸體寫眞及挿畫多數入）

▲豐滿にして艶麗なる、世界に於ける。

女の裸體美の新研究

〇日本及諸外國の裸體美人悉く本書に集る

◇裸體は性慾と結び附いて、人の心を唆るものであるから、猥褻なる肉體の曲線美を選擇として之を專しんで居るが、決して猥褻なるものではない、藝術上から見れば裸體の女はモデルとして神聖なものである、本書は著者が多年の研究に依り蒐めたる材料により各國の美人を集め



▲科學的にして裸體美と生殖器崇拜　▲藝術的に宗教上から見たる裸體の見方と男女の性　▲曲線美と生殖器　▲裸體美より來る性慾……

生殖器崇拜の奇習

●女の裸體を崇拜する宗教●生殖器を崇拜する儀式等數十項あり。

正價金壹圓五拾錢　送料金八錢

◆前金注文送料金八錢　◆代金引換送料金廿三錢　東京麻布區富士見町六　振替東京一五八番　正文社書院

官製食卓塩

發賣元　京城　富田商會

地方特約　釜山　木浦　群山　あづまや　仁川　中村嘉　鎭南浦　赤岩本店

販賣店　京城　池尻商店　元山　小山商店　平壤　桑田商店　清津　鈴岡商店　新義州　貝沼商店

仁川本町一丁目　朝鮮銀行仁川支店　電話(二)一二番

仁川本町四丁目　朝鮮殖産銀行仁川支店　電話(三)二四九番

仁川本町三丁目　百三十銀行仁川支店　電話(五)〇八番

仁川本町二丁目　十八銀行仁川支店　電話(一)九一八番

仁川本町三丁目　朝鮮商業銀行仁川支店　電話(四)九八番

仁川海岸町　朝鮮實業銀行仁川支店　電話(三)三番

醫療化學諸器械一式

Ⓚ　仁川本町　北島藥店　電話三四・三三番　京城本町　北島藥店京城支店　電話七一六

藥種賣藥卸商

ヱルネマン會社製

ミニアチュア　クラップ　ツロ　クラップ　ペン　クラップ　ベッツ　クラップ　（ヘッグボップ　各種在庫）

ゲルツ、イカ、コンテツサーネテル、カードベレチン、オリオン、カールツアイス其他有名なる寫眞機及材料製造會社の製品を最も豐富に取揃へてゐます

目下上記の各社製品の內優秀なる品特價提供中のもの多數ありますから安價に御希望のカメラが御手に入るものと信じます。是非カメラ御望みの方は御照會の程御願ひ致します

（アクファ）

ロールフヰルム　フヰルムパック

普通、整色乾板　現像藥品　閃光粉　寫眞機械各材料

直輸出入商　木村洋行　奉天浪速通六　電話三三四番　振替大連一三三五番　私書箱一二番　小賣部　岡田本店　支店　大連、哈爾賓

大震災の跡（芝區より築地方面の慘害）

調和し兼ねる 婦人の趣味性と流行

個人の趣味から流行は從てある

流行と云ふ事が近來何處にでも用ひられると共にその流行が行き詰つたと云ふことが非常に云はれてゐる。それで近頃の婦人の服裝の意匠に就ても市松模樣等が現れ流行を追いであると云ふ事も云へるか、又此の市松模樣は現代一部の風俗に的して居つた。然し現代の樣に混雜した思想が雜居してゐる時代には一つの流行が他を風靡して終ふと云ふ事は考へ得られない事である。又多くの流行と云ふものは多くは小間物屋や吳服屋の鑑定に依つて出現するものであつてその小間物屋や吳服屋が必ずしも時代精神にまで喰ひ入つた流行を生み出し得るものとは信じられない事である。少くとも外れるものも多い事にあるであらう。◇

斯く考へ合せ、又一方に於て流行と各婦人の個性、各婦人の趣味性とその流行とが如何程までの交渉があるかと云ふ事を考へて來ると流行と云ふものは實に空なものにも考へられて來るのであるそれで一方から流行を追ふに汲々として居る婦人は金が有つて個性！趣味性に乏しい人の多くであると云ふ事も云へる流行が時代と何等の交渉を持たぬ突飛なものである場合が有ると共に流行が、或る人には最も不適當な場合が有るのである◇

そんな場合、例へば今年は銘縮が流行すると云ふのでそれを求めて着た人が、脊丈が低くて不似合であるが爲に自分の醜い部分を上塗りしたり、色が黒いのに明るい色合が流行すると云ふので其れを身に着けて増々自分の黒さを引き立たせるといふことに成る、又朝鮮の樣な土地で內地の流行を追ふ事には樣々な不合理が現れる事も尠くないのである。空氣が乾燥して陽の光りが强く、自然に花が少い處で內地の樣に野には花が亂れ咲き雨の多い事で有名な土地で流行する色合ひや地質が直接に朝鮮でそのまゝ用ひられると云ふ事には種々不適當な處が有るのである。鮮人が白衣を用ひ、麗姿を用ひるといふことも決して偶然ではないのである。◇

必ず斯くの如き傳統には一理を含んで居ることを思はねばならぬのである。先づ彼等の自然に於ける樣を御覧なさい、白衣の婦人がポプラの下やアカシヤの中を行く時如何にそれが似合つた白衣でせうか、又、寄く冴えた芝の上を行くその白衣の人を見、背景の彼の禿山を見上げる時彼等の樂は一種崇高なものゝやうにも思えるではありませんか。斯くして流行と云ふものは必ずその土地柄とも非常な關係が有ると云ふことを考へねばならず、◇

又、その時代に關係して時代の精神に殺されてゐる個人の趣味性は商人の手に依つて作り出される流行よりは一層確實な意氣ある流行を産み出すものであるといふことを思ひ、婦人はその趣味に據つて徒らに流行を追ふよりは自己の一個の中に流行を産むことが必要であります。近頃の米國や佛國等に現れる突飛な流行が喝采ひ出し度く成る多くの傾を持つてゐるのを見て流行といふものが悲哀な爵位に位して居る事を感じる人は決して少くは無いと思ひます。◇

よれより私等の見た眼では何うしてシックリとして身に相應しい模樣や色合ひ、それに髮形を選んで居られる婦人があれが最新流行であるとしか寫りません。左樣な人は何となく明敏で尊い女性の樣に感じるのです。

童話 船

甲藤しろを

（二）

若いおぢさんは、煙草に火を點し私を見てにつこり笑ひました。私もにつこり笑ひました。『それから……』とおぢさんが云ひますと、船の上の人達は急に口を噤みました。おぢさんは此度は船の上に立上りました。そして話し始めました。

……『僕達はボートを下してその島に漕ぎ始めました。波は都合に靜でしたのでボートは矢の樣に島に走りました。段々船は島の影に近づきました。島は澤山木が茂つてゐて、その木の影が暗く島の周りに影を落としてゐたのです。船が近くなればなる程、女の姿が大きく、船は益々高くなりました。その船の美しい事は何に？さあ、何にたとへたものでせう？……そうそう銀鈴を振る樣でした。……救ひを求める聲が……。

私達はぐんぐんその女の呼ぶ所に迫りました、邊は段々暗くなりました。木の葉が茂つてゐるのです……その淡暗い瀞に女の姿が、白く白く、浮んでゐました。私達は驚きと云ふよりも、一種の好奇心、と云つたなれば、おかしいかも知れませんが、早く女の所に行つて見たくつて、皆は女の姿ばかりを眺めてゐました。すると、どうでせう。

×

白い白い、女、女と思つてゐたその船の主は、全く、不思議、不思議、白い姿も船も、私達が、ボートの櫂を放した瞬間にパッと消えました。そして、その消えた後には、澤山な魚が金色の光を暗い波上に輝かし、水の上までも躍り上つて、大きな岩の樣に纏まつてゐるではありませんか。私達は驚いたのなんて、頭の頂までびつくりして、船、ボートの中にポカンと立つて、金色の魚の群の塊を見てゐるばかりでした。

その次ぎの瞬間でした。私達一同は何思はず櫂を握り、全身の力で、その金魚の群の中間をさつと乘り切つてゐました。すると、その金魚の群がサッと二つに別れた間から一匹の大きないるかが浮上がつて、浮上がるが早いか、パッと水面を一間位飛びどんどん沖の方に逃げて行きました。と此度はその逃げる後から金色の魚の一尺程あるのが四五十匹位どんどん追つて波間に消えました。

×

君達はたゞあつけに取られて、殘つた赤い魚の消え行く群を見てゐました。やがて、赤い色で騷がれ、驅されてゐた水の面は全く靜まつたのです。私達は力なく櫂をにぎりました。そして遠くで停まつた母船に向つて漕ぎ始めました。

と、その突端、一番先で漕ひでゐた私の友達がどうしたものか、櫂を振上げて波の上を打ちました。そして手には、此の魚を一匹にぎりしめてゐました。……私達はその魚を土產にして本船に歸りました。邊は暗く星が一面に輝いてゐました。……實際、あの女が消えた時は、びつくりしましたよ。今でもぞつとします……』

と話を終つて、踏をぶるぶるとふるはし、夕暮のそらを見上げて再び當時の事を思ひ浮べる樣でした……。

×

皆、面白かつた樣に家の方や、船の方に歸りました。が金色の魚を見ずに歸りました。それが私には大變不思議でした。若いおぢさんは、私が一人殘つて見てゐたので『面白かつたの？……ほんとゝ思ふのあの話しを……』とにこにこ笑ひながら問ふのです。私はすぐに『ほんとでせう？……』って云つたです。が、おぢさんはそれを聞ずに

『ワハ……あれは皆、嘘さこの魚は南洋の海に澤山居るんだ……ハハ……面白かつただらう。お話はおぢさん、大好きなの？又、明日來たならば話して上げやうね。いらつしやいよ……』と私の手を握つて、私が岸に上つてから、小さい船のおぢさんは、向ふの大きい船に歸りました。私はいつまでもいつまでもおぢさんの姿を見てゐましたが、──左樣なら──とおぢさんの方に向つて云ひました。船尾にはよく見えませんでしたが、……艦丸……つて書いてありました。

そして私が歸り始めた時、ラッパが鳴つて汽笛がその船から聞えました。今思ひ起して見ると何でも、商船學校の練習の船の樣でした。（續く）

母の死際に子供に與へた木札

八才の少年は母の教を守り木札を頼りに熊本の兄を尋ぬ 震災が生んだ悲劇

今回の災害の爲め避る母親と姉に死に別れ僅か八歳の身を以て生國熊本に歸らんとする可憐な一少年が大勢の避難民に混つて九日朝門司驛に着いた此少年は熊本市細工町生れで六歳の時兩親に連れられて東京に出て新宿に住み花園小學校に通つて居たが父には早く死に別れたゞ母親一人の細い手で育てられてゐたのである震災の起る數日前から他に嫁付いてゐた姉も偶り合せてゐたが地震のある頃姉は死兒を分娩して其儘バスケットの中に押し込み少年と其母は産後の姉を助けつゝ當度もなく逃げ走つた其途中姉は死んでしまい手にしてゐたバスケットと共に燒かれて仕舞つたので母親と少年とは止むなく之を見捨て川口驛まで逃れたが餘りの悲しみと疲勞の爲め母親は一歩も動けなくなり今は最う絶命する際苦しい息の中から『熊本には兄三郎と云ふ未だ妨いが御前の兄さんも居るから此人を賴つて行け』と熊本市細工町原田熊三郎と記した木札を與へ無量の悲しみを握つたまゝ永久の眠りに着いた少年は母の屍を後にして大勢の人に助けられつゝ木札一枚を懐へて遙々九州路さして立つた途中此の可憐なる少年の身上聞いた人々は何れも同情し小使錢から財布、菓子などを與へ中には御金を取られるからと洋服の裏に堅く縫ひつけてやつた人もあつた。昨朝雲族の如く押し寄する避難民と共に漸く門司驛に着いた少年の餘程元氣づき人々の間にもハキハキと答へつゝ時には恐ろしかりし事を思ひ出して涙を流すので傍に居て何くれとなく世話して居た門司の婦人會の人々も貰ひ泣きして居た。此處でも十五六圓の惠みを受け同じ樣に洋服の裏の袋へ收めて貰つた。銅貨は重からうと云ふので輕い紙幣や銀貨と取り換へて入れ十幾圓かの金が縫ひつけた袋に收められた頃汽車の發車となり少年はシホシホと熊本へ向つた『原田と云ふ人の處へ行けと母ちやんは云つたのだが僕は其人は知りません兄さんの顏は未だよく覺へて居ます熊本へ歸つたら勉强して死んだ父母や姉ちやんに安心させてやります』と涙ながらにしほらしく語つたがその物語りが餘りのいぢらしさに面を外むけぬものはなかつた。

風味豊かな松茸料理

松茸めし フライ

──もう松茸の走りが現れましたので大ぎにその料理をお紹介します。

松茸のフライ（五人前） つぼみ松茸七十匁を買ひ能く水洗ひして石付を取つて縱に一分位の厚さに切り水一升に鹽一合を混じた鹽水の中に浸して置きます。材料として玉子一個、メリケン粉十匁、パン粉十匁、ヘット五十匁、柚子三個とパセリ少しを要します柚子は二つに切つて置き、松茸の水氣を拭き取つて、メリケン粉を全體に附けてその上を玉子水で浸してからパン粉をつけます、次にフライパンにヘットを煮溶かして能く熱した處で松茸四、五切れ宛入れて狐色に揚げて、油氣を取つて皿にもり柚子とパセリを添ます。玉子水とは玉子一個と水二勺位とを混ぜ合せたものです。

松茸めし 先づ白米一升を洗つて二時間水に浸した後笊に上げて水氣を切つて置きます。二百匁の松茸を短册形に切つて薄い鹽水に浸して置き七十匁の鳥肉は小さく切ります。さて用意が調つたなら、釜に水と醬油（一合）酒（五勺）砂糖（大匙一杯半）を加へて一沸騰して松茸の水氣を切つたものと鳥肉とを入れ、混ぜ合せて更に沸騰した時米を加へて二三回攪き廻して釜の中央四形にして、釜ぶたし、汁が噴き出しさうに成つた時は直ぐ火を消します。（釜の中の汁は少しもこぼしてはいけません）そのまゝ二十五分間蒸して飯櫃に移します

今秋流行の帽子の型

ケバケバしたものは駄目 日本製より舶來物が安い 勿論比較的に

今秋の流行界 は此の有史以來の大慘事に因をなして何う變化されるかは豫測されないが勿論ケバケバしい派手なものは男女を問はず慎むことであらうといふ價格に於ても多數の仕込は夏期に於て取引されてあることゝて高値を喚へるやうなことはないであらふ

帽子に就いて 調べて見ると今秋は日本製品よりも一般に舶來ものが比較的安價ので、ステツソン會社、ハードマン、バタスビーと各會社から輸入された、殊に於ても日本人向としてよく似合ふ、これは歐米のニユーファッションであることは云ふまでもない價格は十圓位か二十圓位である

型は大體に於て 中折はさう大した變りはないが今秋はいづれもフチ上りのものが流行されてゐるやうだ山の高さも高いものは野暮とされ低いものは下品であるといふところからふつくりと丸味を持つたものが好かれるらしい

色は茶を基調 として濃淡自在に表されて頗る落ち付いてゐる、流行色としては濃茶が一般的の傾向であるが若い紳士には濃色のものより淡い者が好かれる一時猟帽も丸子も流行されたボヤッとした毛のある高價な帽子は趣味によるが一部の人士に用ひられるのみであるといふ、淡白した堅にて於ても引縮つたものが今年の流行を語るものであるらしい何んといつても

舶來品として はステツソンのものは高級であるといふ其の他の舶來で輸入せられたものは價格に於ても幾分の安値であるが近に總ての點に於いて材料なり品質なりに違いがある

▲本一册あれば何でもスグ分る ▲全廿卷合本の大著 百科辭典 日用文庫 四六判七百頁の大册

▲世間の挨拶 ▲儀式と作法 ▲出產の儀式と心得 ▲日常法律顧問 ▲婚禮の心得 ▲契約書の書方 ▲日常の手紙 ▲願書と屆書 ▲葬式の儀式と心得 ▲運勢三世相 ▲茶道と花活心得 ▲和洋食の喰方 ▲應急手當法 ▲和洋服の著方 ▲祝辭と演說 ▲秘法秘傳集 ▲兵役の心得 ▲納税の心得 ▲新語字引 ▲以下壹千餘項目に達す。

定價金貳圓 特價 壹千部限り 希望者は代金引換にても送る 前金送料十錢 代金引換送料廿五錢 東京市青山六丁目 振替東京二七四七番 有教社

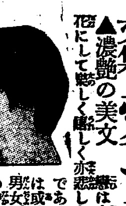
▲諸博士調査─文部省發表の 萬病根治 灸點療法 圖解說明の一大秘書

▲小便▲脚氣▲淋病▲てんかんを始め其他萬病根治に偉大なる特効ある灸點を今回文部省に於て帝國大學教授三宅醫學博士を始め六大名家の研究の結果發表せられたるもの ▲無痛無痕法 によれば少しも痛みもなく、あとも付かず女でも小兒でも容易に出來得るが故に何れの家庭にも必備の寶典也 今回特價 金九拾五錢 ▲腦病▲リウマチ▲胃病▲子宮病▲肺病▲かつけ▲神經痛▲喘息▲中風▲心臟病▲たんせき▲肋膜 振替東京二七四七三番 東京市青山六丁目四八 有教社

▲どんな演說や挨拶でも即座に出來る 宴會集會 即席演說挨拶集 菊版五百頁

▲雄辯の秘訣 本書は著者が最大の苦心と注意を拂ひ他に類のない一種獨特の編纂法により誰にでも自分の思ふ通りの演說が出來る ▲祝賀▲弔祭▲宴會▲集會▲歡迎▲送別▲入營▲退營▲招待▲開業▲當選▲表彰▲就職▲退職▲新年會▲青年會其他產業教育等社會百般の演說や挨拶の復案が思ふ通りに即座に出來る樣頗る便利に編纂し尙演說者必携の寶典也 定價壹圓 特價 振替東京二七四七三番 東京市青山六丁目四八 有教社

▲樂しく嬉しく亦悲しかりし 手紙文集 愛する人へ ▲濃艶の美文



戀は人生の花にして嬉しく亦悲しきものである本書は男女が相思の仲となりて以來取交す手紙集にして彼等が烈々たる情熱を訴へ限りなき胸中の秘密や戀の展開を如何に切々と綴りしか 價 振替東京一一四四番 東京市青山六丁目 有名堂

▲本會は帝國大學教授文學博士高楠先生を會長として 小學教員 志望者と 師範入學 志望者の爲に

本會獨得の受驗準備講義錄を發行し多數の受驗者中必ず合格の榮冠を得せしめんとす。見よ本會々員の合格成績の如何に良好なるかを◆今回新學期會員三百名限り募集。諸種の特典あり入會希望者はハガキで申込次第會則見本及會員合格報告書進呈 東京市青山北町六丁目 日本師範育會

魚釣具 投網 各種 捕鳥用 カスミ網 京城永樂町二丁目 チエロ化粧料卸賣門 卸商 吉備商會 電話本局三二一四番 振替京城四三三八番

色白くなる藥 色黒き方赤き方ニキビソバカス日にやけた御方は三錢切手封入御手紙下さい色白く美しくなる良藥を秘密に御知らせ致します 東京本郷湯島六丁目 久保とも子

勉强第一 親切本位 在庫豐富 出荷迅速 釜山辨天町一丁目 合資會社 大黒南海堂 電話長四〇五 三七一 振替京城四五六

价川輕便鐵道 大正十二年七月一日改正

驛名	下り 列車番號 一	三	五	七
新安州發	前 [illegible]	前 [illegible]	後 [illegible]	後 [illegible]
安州發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北松里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川著	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

驛名	上り 列車番號 二	四	六	八
泉洞發	前 [illegible]	[illegible]	後 [illegible]	[illegible]
价川發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北松里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安州發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新安州著	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

朝鮮平安南道价川郡 价川輕便鐵道

正しき補血强壯増進劑 ブルトーゼ

三大特長 一、芳香美味にして我國民固有の嗜好に適し婦人子供も好愛し良藥にして口に快し。二、絶對に胃腸を害せず食慾を增進す。三、速かに消化吸收せられ血を增し肉を肥やし柔養を盛にし體力を强壯ならしむ。

補血强壯增進劑 單味ブルトーゼ ／ 神經質疾患特效劑 アルゼンブルトーゼ ／ 腺病質特效劑 ヨードブルトーゼ ／ 健胃補血强壯劑 キナブルトーゼ ／ 呼吸器系疾患特效劑 グアヤコールブルトーゼ

賣捌各地藥店にあり 說明書進呈

發賣元 藤澤友吉商店 藤澤友吉京城支店 代理店 高井商店

大田監獄調製學生服販賣開始 學生靴 學生鞄 特價販賣す御入用の方は御一報次第市內は店員拜趣可致遠方の御方には型錄送付可仕候 製造販賣 京釜線大田春日町一 合資會社 朝鮮革具會社 長電話一七二番 振替京城九八〇七番

鞄─靴─洋服

登錄商標 特製防水布製 雨合羽 ▲在來品ノ欠點ヲ完全ニ補フタ理想的雨具 マント型 小兒用 外套型 ▲輕クテ强イ實用向シ馬車荷車貨物用雨覆

學生用雨合羽 ▲革ノ如ク强イ朝鮮紙ヲ更ニ强クシタ新案特許品 ▲絶體◈雨漏リセズ 特號 一號 二號 三號 黑色外ノ色物ハ壹枚ニ付十錢增シ 京城太平通 合資會社 京日代理部 振替京城二三〇〇番 電話光化門六三三〇番

大阪商船出帆 ●大阪行（釜山木浦經由）宮島丸 交通丸 天智丸 ●南浦安東縣行 東光丸 第七原田丸

仁川出帆 ●城津清津行 台北丸 九月十三日午後二時出帆 ●釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 新高丸 九月十二日午後四時出帆 ●上海靑島大連行 大連丸 九月廿七日

內地各港出帆主要航路 ●歐洲行每月十三回 ●南米行 ●濠洲行 ●北米行 ●孟買行 ×印一等客御斷 大阪商船株式會社仁川支店 電一〇 · 五五

三菱商事株式會社 仁川出入 長浦丸 三瓶山丸 大黑山丸 長浦丸 三菱商事株式會社船舶部 仁川代理店 浦崎商店回漕店

朝鮮郵船定期 朝鮮郵船株式會社 [illegible] 元山代理店 釜山代理店 木浦代理店 仁川取扱店 [illegible]

內科、小兒科 仁川仲町 高木醫院 電話七一九番

米公定價格制採用

【大阪電報】米は十三日より震災救護事務局より農商務省に移管する事となりたる爲め農商務省では米に公定相場を附する事となり十六日から實施する事になつた決定した公定相場は次の通りである
一、政府より府縣に拂下價格玄米三十四圓
一、小賣價格玄米三十六圓五十錢白米四十二圓

奢侈品賣行減退
鮮內商品界は思惑消滅

鮮內商品界は震災以來金融益々困難を加ふると共に暴利取締令の發布に依り思惑全く根絶するに至つたが何分地方筋の購買力が一向に振はないので新規の仕入れ等は依然手控へ見送りの態である、殊に震災以來銀行の新規貸出に就ては頗る嚴重であるらしく商品の販賣先には相當警戒を與へてゐるやうだ、併し期米株式等の下落は漸く甚だしく景氣恢復は近き將來で無いとの見解から各階級を通じて消費節約が或程度迄行はれてゐるので一般商品殊に奢侈品の賣行は著しく減退したらしい、大阪方面は目下鐵道運輸が稍緩和を見るに至つたが鮮鐵の逆輸送停止は依然繼續され是れは目先き鮮內に好影響を及ぼしてゐる、又京城の商人は直に大阪に商品を注文してゐるが新規仕入れの荷爲替取組みは大阪でも從前通り應じてゐるらしい、唯地方商人に可成りの不便を感じてゐるやうだ

商品擔保
貸出減少

八月末日現在京城組合銀行の商品擔保貸出は土產品五十五萬一千五百六十九圓移入品三十一萬六百八十八圓合計八十六萬二千二百五十七圓にして之を前月に比較すれば十一萬九千六百二十八圓の減少である八月末日現在貸出內譯左の如し

▲朝鮮產品　(千圓)

	貨物證券擔保	現品擔保	合計
玄米	一八	一〇四	一二二
白米	〇	四九	四九
大豆	二	一〇三	一〇五
雜穀	五	一七	二二
牛皮	〇	一	一
麻布	二	[illegible]	[illegible]
原蠶紙	〇	三	三
葉煙草	〇	一	一
製造煙草	〇	[illegible]	[illegible]
繭	〇	二八	二八
朝鮮紙	〇	〇	〇
木材	一七	九	二七
麥	[illegible]	二	[illegible]
綿布	七	三六	四三
其他	〇	二三	二四
計	四〇	五一〇	五五一
前月末	二一五	五一七	七三二

▲輸移入品

	貨物證券擔保	現品擔保	合計
米粟	二	二〇	二二
砂糖	〇	四七	四七
綿絲	〇	一	一
綿布類	〇	一〇	一〇
綿布	〇	一	一
絹布	〇	二	二
肥料	〇	〇	〇
其他	〇	二〇	二〇
合計	一	三〇六	三一〇
前月末日	四一	二二七	二六八
總計	四一	七七〇	八六二
前月總計	二四七	七三四	九八一

鑛業資金
移入困難か

鮮內鑛業界は依然萎靡として振はないが最近稍恢復の兆候を示し鑛業登錄さるゝもの約二十件に上り好況時の六七十件に比し約三分の一に激してゐる際に鮮鐵に於ては維持策が豫想されんとしつゝある有樣であるが本鑛の操業狀態としては現在許可鑛區五十餘の中加工中のもの約一割未滿其他のものは五六割を占むる有樣で殘業狀態のみでなく勞銀、運賃が若干低落せざる限り回の立直りは困難である、而して目下從業中の鑛山としては金鑛のみで利原、稷山、甑城等を主とし其他は極めて小規模の鮮人經營のものである、稷山は先般來の水害に極度の被害あり一時中止するか縮小するかの外途あるまじとの說あり一般に金利等の騰貴と大規模の經營を許さるものである爲め當分恢復困難らしい、尙今回の震災の及ぼす影響としては金鑛が稍復活の曙光を示したると第二浦工場の命脈が延び得る程度にある併し今後は到底內地よりの資金の流入困難であるから未だ其の影響は不明なれ共第二浦の如きも自然中止となり其他も一時不振に陥る事は免れまいと

東京コール開市

【東京電報】一時杜絶して居つた東京のコール取引は十五日から開始されたが日步圓價は擔保物二錢二厘で他は之に準ずる筈

期米解合

東京米穀取引所長は十三日取引員總會に於て總解合と決定したが之に伴ふ解合値段の決定に就ては其二部第三部は大體纏まつたが第一部の解合値段は容易に纏まらないので十五日午後一時より更に協議決定し各部の解合値段を十六日發表の筈(東京電報)

鮮鐵輪移出入

九月上旬に於ける京鐵局取扱に係る輪移出入貨物は內地より移入八七二噸にして前年に比し一千六百二十八噸の激減移出九百六十六噸前年より三百七十七噸減、滿洲より輸入品は二萬百九十九噸にして前年より六千七百十七噸を增加した今之れを品種別に擧げると左の通りである

內地より移入

	生果	和洋酒	綿絲布	其の他
本年	一七七	一六	二〇八	四九九
前年	一七	一、三三四	一、三三四	[illegible]
比較	一五〇	△一、三一八	△一、一二六	△八八八

內地へ移出

	米	大豆	木材	其の他
本年	八八	五	四〇四	三三〇
前年	二六六	九〇	[illegible]	九〇七
比較	一七八	△八五	[illegible]	△五七七

滿洲より輸入

	粟類	石炭	木材	其他
本年	一五、八〇〇	一、一〇〇	二、六六六	二、九四四
前年	一、〇八〇	八、四二四	三、二三四	八〇四
比較	一四、七二〇	△七、三二四	△五六八	二、一四〇

貨物區分

	營業品	社用品	計
本年	六二、四八〇	二四、三二三	八六、八〇三
前年	五六、四四四	一七、四〇八	七三、八五二
比較	六、〇三六	六、九一五	一三、九五一

朝鐵上旬收入

朝鮮鐵道會社線の九月一日より十日迄の營業收入は咸南線を除き其他各線の分左の通りである

	人員	貨物發送	客車收入	貨物收入	平均一日收入
忠北	三、一〇〇	六〇四噸	一、五二〇圓	二、五〇〇圓	四〇二
全南	七、二五四	八五四	三、一二四	二、四〇〇	五四〇
慶東	九、二三一	一、七〇二	一、九〇〇	一、七〇〇	三四〇
黃海	七、〇二六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	三二

大阪財界近信
支那紡績萎靡

最近上海に於ける紡績會社は支那人經營のものは固より日本人經營の會社にありても其程度にこそ多少の差はあれ一樣に現下の營業不況の影響を蒙り甚だしき困憊の狀態に陥つて居るが只右の如き狀況の中で日本人紡績で紡出されて居る細番手は多少引合ふ風があるけれども其他合同紡績系の同興紡績が稍採算點を維持して居る狀であると云はれるだけで爾餘は大小紡績一樣に採算不引合の操業を餘儀なくさせられて居るので其結果吸取の先鞭を廠取しつゝも尙之が實現を躊躇して居る狀態である、尙最近の傾向として紡績會社が自己工場の落機と支那紡績の好機を利用して十手以上の紡糸を盛んに紡ぎ出す傾になつた事は多少此の間の消息を語るものであつて豐田紡及上海紡の夫れは云ふまでもなく、更に內外綿も目下建設中に屬する第十五工場には十手の紡機を据付ける筈で從來の好況時代には殆ど一顧をも拂はれなかつた落綿が算盤を持たねばならなくなつた支那紡績界の委靡は蓋し想像以上であると

商品市況

木材（軟迷）營林廠は値上げを中止したが供給圓滑を缺ぎ十一日以後は夜業して納は九月中には罹災地へ供給豫定の一萬石も平南北道水災地への提供以外の供給力は僅少であるその爲め一般市價は圓材より一割乃至一割七分見當高値の民間製材に引寄せられた價は罹災地への一萬石が不用となれば或程度に市價を緩和するであらう內地の移入關稅撤廢が實現すれば六十五ミリ以下の挽材に限り課稅せられて居た百石約八十六圓を免ぜられる從つて安東よりこの種の挽材直輸されることゝなり鮮內の市價も幾分緩るであらう朝鮮への輸入は早くより免ぜられて居た

砂糖（漸騰）內地は震災直後の金融惡化氣配に投物が出たが日銀の徹底的救濟聲明に持直しアメリカの買付に依る玖馬四弗七十八仙の强調と印度及び歐州の〇進みに依る爪哇の續騰九月物十六盾二十五仙十月物十六盾三十七仙五なるに伴れて漸騰し當地はゼー二十八圓を唱へて居る一部には震災を提灯に豫は先走るものがあるがこれは所謂奸商の部類である

綿絲布（弱保合）三品保合を報じ現物界は引續き實需筋氣迷買控のため大した荷動きなく相場弱含保合閑散なり
粗布三エー二百六十四圓九龍二百五十八圓
大エー二百五十二圓金剛山二百三十五圓
金閣二百十七圓煙管二百九圓
白頭山百八十五圓
細布飛犬(十三手)十三圓八十錢
世樂島十二圓二十錢
晒金巾進軍十三圓六十錢金鼎十二圓九十錢
綿絲扇面(十六手)二百三十六圓
双女二百十二圓
晒木綿竹一圓十三錢椿一圓五十四錢

鮮魚（不變）入荷少きに需要稍頭にて一般的には强調なれども上物は軟勢である
タイ四十五圓軍エビ七十圓小エビ五十圓カジキ八十圓サワラ二十八圓タコ三十圓イカ五十圓スヽキ三十圓ハモ二十五圓アワビ三十圓ニベ二十圓マス四十圓仁川タイ六十圓カレイ十三圓

株式　(十五日)

京取臺割
▲前場　仁新投物に崩る

昨後場低落の氣先今朝大阪大新六十一圓九十錢の昂騰を入れたので見送り人氣の裡にも大新は六十一圓五十錢と二十錢高に始んたが大阪大新六十圓六十錢の歩みを入れて六十圓に〇九十錢と低落京取は大阪安に軟派追撃し買方主力の見送りに常先共廿九圓七十錢と台割を演し新安値に叩かれ仁新は一部買方の大口投げ物に三十圓八十錢と低落仁取も小賣安く安取は田中筋買總切りて保合に終つた

▲京取當七十錢安△先五十錢安、▲鮮銀新先十八圓五十錢▲殖銀新先十圓八十錢▲實銀先十一圓五十錢、▲仁新一圓七十錢安、▲短期大新四十錢安▲仁取五十錢安、安取十錢高朝紡十圓ドタ

▲後場戻る

前場低落の氣先後場は大阪大新六十一圓九十錢の聲りを入れて氣配小強く鎭静濃乎ら大新は六十一圓七十錢と戻し京取は一部買方より少し買戻しの利喰と一部賣方の手仕舞ひもあつて

主力筋の買進みはれたるも買方纏りたる投物現と戻し三十圓ドタ

取は十錢方小締り仁取新の三十一圓四十錢と戻し安八十錢と低落したけで大體に於て相底堅き商狀を呈して大引した

▲長期▲京取當三十錢高▲同先三十錢高▲實銀十二圓四十錢
▲短期▲大新八十錢高仁取九十錢
安仁新六十錢　十錢高安取

安取小堅し

安東株は勝澤の安陽閣もあるが依然として底堅い商狀を續け後場十四圓十錢と小締りを告げた大勢敗の折柄でもあるが値頃安は買込氣を避けしむるの手加減と信頼筋の出馬もあり賣方遊り離き所あり現在の步合も高小堅き商狀を持續と相俟つて今後も尙小堅き商狀を持續すると見られて居る

特別提供實施

市場と供賣者組合間に交渉中なりし件は合同內地の非常事變に依り該組合總會も其筋しきを以て其實施を當分見合せる事になつた從つて一部反對者の請求した仲買組合臨時總會も其儘立消へとなつた筈である

尙引締り模樣

前場大阪大新の寄付後步み値に六十圓五六十錢所があり京取の三十圓臺割と共に人氣萎衰の振合であつたが後場は前場の大新が六十一圓七十錢を止め更に後場寄付は六十一圓九十錢の小堅き人氣があり且つ底拔けを見られた總新が後場には小戻し步調となつたので人氣が飽迄固く投物續出されたより一部買方から投げ出動となり京取は三十圓臺に乘せ大新仁新共に小戻しを告げるに至り人氣も大分落付模樣となり阪が此の小堅き步調で推移するならば京取は借株關係、仁新は賣安取は値頃關係、大新は逆日步關係等夫々の事情と相俟つて尙引締りを告げだらうと觀測されて居る

大阪安に崩る

市場は東角見送り人氣が彌漫して居り無氣力を免かれず今朝も大阪大新の小戻しを入れたが殆んど感じがなく單に大新のみ小高く寄付いた丈で其他は何れも小安く寄付き其鼻大阪大新六十圓六十錢の步みを早耳せる賣物に大新は四十錢方の下押しを告げたが京取は小口午ら軟派の追擊賣があり買方は此上の安値があるとするなら此邊で强いて防戰するの必要は

逆日步續く

今十五日も大新は千五百九十株の

現株中値出來値　(十五日)

銘柄		前場 常限	前場 先限	後場 常限	後場 先限
京取	寄	三〇・〇〇	三〇・一〇	二九・八〇	三〇・〇〇
同	引	二九・七〇	二九・七〇	三〇・〇〇	二九・七〇
仁取	寄	一〇一・五〇		一〇一・〇〇	
新同	引				
鮮銀	寄	一三・五〇		一三・〇〇	
同新	引				
殖銀	寄	一八・五〇		一八・五〇	
同新	引				
實銀	寄	四六・〇〇		四六・〇〇	
同新	引				
商銀	寄	一〇・八〇			
同新	引				
漢銀	寄	一一・五〇		一一・五〇	
新同	引				
韓銀	寄	四四・〇〇		四四・〇〇	
同新	引				
東拓	寄	三五・〇〇		三五・〇〇	
新同	引				

銘柄		前場	後場
鮮土	寄	三七・〇〇	三七・〇〇
朝紡	寄	九・五〇	
紡滿	寄	一〇・三〇	
毛蒙	寄		
京電	寄	三〇・五〇	三〇・〇〇
新同	寄	三一・〇〇	三一・〇〇
電京	寄	一〇・五〇	一〇・五〇
興業	寄		
釜產	寄		
朝鐵	寄	一九・五〇	一九・五〇
殖鐵	寄		
中鐵	寄		
同新	寄		
明治	寄		
京南	寄	八・〇〇	八・〇〇
南金剛	寄	一三・〇〇	一三・〇〇
鮮滿	寄		
銀新	寄		
東亞	寄	九・五〇	九・五〇

短期取引

銘柄		寄付	大引	高値	安値
大新	前	六一・五〇	六〇・八〇	六一・五〇	六〇・六〇
同	後	六一・五〇	六一・七〇	六一・九〇	六一・五〇
仁取	前	一〇〇・〇〇	一〇一・二〇	[illegible]	[illegible]
同	後	一〇〇・八〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新同	前	三一・五〇	三一・二〇	三一・五〇	三一・〇〇
同	後	三一・二〇	三一・四〇	三一・四〇	三一・二〇
朝紡	前後	一〇・〇〇			
安取	前後	[illegible]	[illegible]		

諸株喰合尻　十五日前場現在

▲京取長期千八百七十一株(新十株)▲同先四千四百五十株(一萬九店)提供八(二千八百十店)買方十一店
▲仁取長期八十(三店)▲同先八十(七店)▲仁新長期二千三百八十株(十五店)買方十七店

▲長期千五百四十枚、短期二千九百九十枚累計十六萬三千三百十枚

出來高

▲朝鮮紡十錢、拓新十錢、仁取二十錢
仁新十五錢、大新四十錢

日步

算定

仁取百〇二圓、仁新三十一圓朝紡十圓、安取十四圓、大新六十一圓

大阪長期取引

銘柄	十五日前場寄付	十四日後場大引
大株	八四・〇〇	八三・八〇
同新	六二・二〇	六二・二〇
鐘紡	八二・五〇	八二・三〇
同新	二八・〇〇	二八・〇〇
商船	[illegible]	[illegible]
同新	一三五・〇〇	一三五・一〇
鐘紡	一三〇・〇〇	一三〇・〇〇
東紡	一〇七・〇〇	一〇七・〇〇
日糖	八九・〇〇	八九・六〇

銘柄	十五日前場寄付	十五日後場寄付
大株	八四・〇〇	八五・〇〇
同新	六二・一〇	六二・八〇
商船	八三・〇〇	八三・〇〇
同新	二六・二〇	[illegible]
東紡	二四九・五〇	二四七・四〇
日糖	二九・六〇	二九・一〇

大阪短期取引

銘柄	十五日前場寄付	大引
大新	六一・九〇	六一・七〇
天取	二九・五〇	二七・一〇

銘柄	十五日後場寄付	大引
大新	六一・九〇	六〇・八〇
天取	二九・〇〇	二五・四〇

安東株式

	寄付	大引
○十四日後場 安取 當	一四・四〇	一四・四〇
先	一四・五〇	一四・六〇
○十五日前場 安取 當	一四・五〇	一四・六〇
先	一四・七〇	一四・七〇

鎭平銀

	寄付	大引
○十四日後場 當限	一・三〇八	一・二九八
先限	一・三一八	一・三〇四
○十五日前場 當限	一・二八八	一・二九五
先限	一・二九六	一・三〇四

米況　(十五日)
仁川期米
前場手堅し

昨後場の止め値に二十三圓四十九錢と稍硬化して打止めた今朝大阪期附二十八圓〇一錢と十一錢高の報告を入れたる爲め人氣稍引締り手持ちの處も戻りは小口買方の手控へより繋ぎ薄く賣方主力の手控へにて案外十錢と二錢高に寄付
▲第一節　當中出來ず先二十三圓四十八錢より四十六錢と押し九錢と頭を引き
▲第二節　當中出來ず大阪第一節二十二錢の高移りに先五十九錢より六十三錢と引締りしが戻り九錢は賣方の手控に仲方返はす六十錢と引
▲第三節　當中出來ず先五十九錢の熱付きに引
▲第四節　當中出來ず先六十一錢と引
▲第五節　當中出來ず先五十九錢の弱散に引
▲第六節　當中出來ず先五十九錢より八錢と小締めせし後先步より目立つた買物を呼びて名ゝ十八錢以上四十八錢に出來ず先五十九錢の高移りに反落し後先步より目立つた買物を呼び手控へ賣物の多く五十九錢と押し六十錢と引
▲第七節　當中出來ず大阪先節三十五錢の高移りに先六十六錢と手堅く大引

底固めか淀みか

既報の如く赤米實が證明して居るが如く政府の非常手段に對する買方の恐怖相場は先づ一段と落付いた然らば昨今の相場は底値であるか否か未だ下げかけの一時的調ぎかと云ふ事になつて來る良好な事から推すと正米は目先情勢に制されて下げ過る爲めの一時的現象に過ぎないやうな感想が少くはない四圍の事情へ唯々と一概に軍方が目立つた行動へなのは相場の整以上に出て居る結果である以上に有する數料が現れ整した結果であるとの見解も撤てられる何れにせよ底か淀みか一般が氣迷ふ際にはい賺から一般の人氣が今後の事情を極端に悲觀して餘り理想に走り過ぎた嫌のある丈賣方に弱味があると同時に此の道理外の理とと云ふ技術相場を實現せねばよいかとの觀測者も可なりに多いらしい

小掬ひ主義

玆強氣としては値頃から觀て買ひたいが暴利令と時節柄の遠慮もあり目立た行動は執れず又紆賣方はしても財界の前途を考へれば買ひたいか正米との採算上桁を外ずした不斷に在る相場として之れ以上は突込み兼ねると云ふ目下の狀態にて玆許暴利令と正米高の板挾みといふ形で眼先大相場は望めないらしいから當分は小掬ひ主義に限るといふ通中が隨分多い様である

仁川米豆取引所仲買人
ワツミ
高橋謙三
電話長...一六...

正米引締る

罹害地の救援米として仁川より移出さるゝ白米は全部で二萬五千石以上に達し其の內總督府買附米の五千石は既に積出しを了り其の他に內地商人と契約せる白米は今月二十日迄に殆んど片付模樣である何分一時に大商內が行はれた事とて市中在米は著しく減少を告げ玆許正米は定期の如何に拘はらず下値を望み難い狀態であるのみか在米薄の京城は當地を指して買漁へて來るもの爲めに今朝は丸ギ四等二十八圓二十錢見當の唱へとなり前日に比し五六十錢方引締り此の邊で爲は實應ずる向が勘ない樣である

某正米師觀測

內鮮共に豐作を謳歌された昨年でさへ阪地の二十二圓當所の十九圓臺まで下げ止つたのであるから今年は此の儘天候が順調に經過しても一部の觀測の如く平年作が關の山であらう其れに今日の弱氣が之れ以上大安値を望むのは餘り總ての事情に超越し過ぎては居やすまい

賣買差引殘

	買方	賣方
牛(山)	一八〇〇	一〇〇〇
山口	九〇〇	三〇〇〇
大黑	八〇〇	一〇〇〇
丸藤	九〇〇	一〇〇〇
共成	一五〇〇	二〇〇〇
九久	一〇〇〇	四〇〇〇
大	二〇〇〇	五〇〇〇
		大〇〇〇

	前場公定値	後場公定値
寄付	三二・五〇	三三・六九
高値	三三・九八	三三・七五
止値	三三・六八	三三・九〇
安値	三三・四六	三三・六〇
一節	三三・五〇	三三・六九
二節	三三・四八	三三・六一
三節	三三・六〇	三三・七五
四節	三三・五九	三三・七六
五節	三三・六二	三三・八四
六節	三三・六一	三三・七五
七節	三三・六八	三三・七五

取組高 當限 中限 先限	二萬五千六百石
値段 入 當限 中限 先限	三三・五九
出來高	五萬八千六百石
累計	一六七、一〇〇石

米界餘聞

最近の救援米相場は暴利令と財界の前途を恐れて聊か脫線氣味の相場であるから人氣さへ落付けば正米との採算値まで戻るのが常識だと強氣は云ふ▲據程定期が正米より五百丁近くも下鞘を叩いて居る事は確かに當方の弱味であるが然し正米は目先の事情に支配され定期は三ヶ月先の人氣を現はして居るのだから一概には云へまい▲市中の在米が薄いと見る向さは定期の裏面に於て農家の賣惜み人氣を計算外に置いては實附を行はないのは保以外に買附けなかつた事情で不安であるから京取定期が危い罪束心理の表徵である▲弱氣の見る處にも或は鮮見た觀があるかも知らぬが目下の相場は行き詰つたと云ふよりか寧ろ入換が貿易と云ふ爲めの一時的の足を止めて居るに過ぎずに二萬石內外より一向砲へない容積の關係上定期の値段に狂ひ來て居ると算すると十萬石以上に達するやも知れないとの觀測が行はれて居る若し之れが事實とすると當方の未路も甚だ心細い處がある▲農商務省では今回東京に於ける小賣米の公定價格を制定して玄米三十六圓新十錢白米四十二圓と定めて之れを實施する事になつたらしい▲尤も時々の變動に伴ひ公定價格も其の都度變つて來ようが暴利取締りの內容も自ずと之で標準も立つ譯である

後場小戻し

▲第一節　當中出來ず先二十三圓六十九錢と一丁高に寄付
▲第二節　當中出來ず先三圓六十四錢より六十錢と押し四錢と返して引
▲第三節　當中出來ず先六十五錢より七十八錢引
▲第四節　當中出來ず先七十五錢より七錢引
▲第五節　當中出來ず先八十錢より九十錢と締り八十五錢引
▲第六節　當中出來ず先六十五錢と小堅く引

京城穀物
正米現物

大體に於ては稍米筋緩め復の姿なる一部匪透き進みあると手持筋は定期を受けて安値賣盛りの風情にて今朝は丸ギ四等

白米

現白米原料安にも拘らず高值持品を擁して目下の物は漸く小締り氣味となり相場は引續き高値で取引は高値の小口の取引行はれつゝあり
二十八圓五十錢四十錢　丸ギ二十八圓四十錢　二十三錢安にて二十八圓四五十錢にて十錢高乃至十五錢方にて立てた
三十五圓七八十錢より六圓擡みに下疑りつゝあり精白も今朝は引締みなるが採算上商は多少の下げ氣味あれば反對に此の際に仕持はんか暴先一般の低落はあるらし

延

十月末限二五一九　五石　出來高百石

釜山正米

期米高による賣人の高唱へと精米筋の相當買進みに氣配引締り結局二十三錢高の穀良都二十八圓三十五錢神力二十七圓七十錢にて千五百個出來延十月中限二十六圓十月末限二十四圓四十三錢より五十錢大豆十六圓九十錢處にて百十六個出來

大邱正米

現物二十六圓五十錢十月末限二十三圓七十錢より六十九錢

群山正米

現物二十六圓八十錢十月末限二十二圓九十錢より五十五錢出來高二萬〇五百石

大阪期米

	十五日前場	十五日後場
寄	三一・三九	三一・四八
止	三一・三四	三一・六五
中	二九・九九	三〇・四五
先	二八・〇一	二八・三〇
二節	二八・〇一	二八・〇一
三節	二八・〇五	二八・〇〇
四節	二八・〇一	二八・〇五
五節	二八・〇一	二八・〇四
六節	二八・〇一	二八・〇九
七節	二八・二〇	二八・〇九
八節	二八・一八	二八・一八
九節	二八・三五	二八・二三
十節	二八・三〇	二八・二五
寄	三〇・〇一	[illegible]
止め	三〇・〇一	[illegible]

仁川米豆取引所仲買人
中實屋

兵庫期米

	十五日前場	十五日後場
寄付	[illegible]	二七・三一
止め	[illegible]	[illegible]

下關期米

	十五日前場	十五日後場
當限	[illegible]	寄付
中限	[illegible]	止め
先限	[illegible]	[illegible]

桑名期米

	十五日前場	十五日後場
寄付	二六・七三	二七・一五
止め	二六・四〇	[illegible]

各地期米

○十四日後場止め
東京…… 大阪二七・九〇
兵庫二七・二〇 下關二七・三四
桑名二六・七九 名古屋二七・二二
熊本二六・九一 金澤二五・九九

大阪三品

綿糸銀塊相場三十一片四分の三
○十五日前場寄付 棉四本錢高

	十五日前場寄付	後場大引
九月限	三三五・〇〇	三三二・三〇
十月限	三三六・〇〇	三三六・六〇
十一月限	三三七・〇〇	三三七・六〇
十二月限	三三八・〇〇	三三八・八〇
一月限	…	三三八・六〇
二月限	…	三三八・六〇
三月限	…	三三八・五〇

	十五日前場寄付	後場大引
九月限	三三五・四〇	三三三・二〇
十月限	三三六・三〇	三三六・〇〇
十一月限	三三六・三〇	三三六・〇〇
十二月限	三三六・〇〇	三三六・〇〇
一月限	三三六・二〇	三三六・二〇
二月限	三三六・二〇	三三五・〇〇
三月限	三三六・八〇	三三五・八〇

佐倉金庫店
本店 東京日本橋區室町 支店 大阪東區安堂寺町
朝鮮代理店
京城本町
佐藤半次郎商店
電話長本局二四三

京城本町一丁目(郵便局前)
中村眼鏡店
電話三一七番
振替京城三四六番

せきずい
同病にて手足リウマチ腰足不隨肩背筋痛みシビレ等に効能正しき良藥あり二錢切手封入申込次第詳報す
兵庫縣明石市三番町 元木本家

京日案內

貸家 五號活字十五字詰五行一回壹圓五十錢居名八壹個毎ニ一定活字增料金八前納ノ事
貸家 店舖向き二階建其水道電話又は米談　黃金町一丁目會社　黃金町一丁目電話本局一三四〇 津田光藏
電話 本局電話至急讓受けたし　姓名番地
店員 入用保證人要　高等學校卒業有者　御來談　大田本町　一商京享商店
株券 金融自九時至五時　日步安貸付株引受貸付
御照會次第御返信　明治町一ノ五九　竹下
電話本局二一四〇番
賣物 建築用ジャッキ多數安價格賣物あり御入用の方は左に御照會下さい　電話本局二六〇六番へ
貸家 平家建十二疊一間三疊一間附水道浴室園付永樂町二ノ八五伊東附譯地電話本三云二四
有給 外勤社員固定給にて歩合もあり經驗の有無を不問但通事熟帶本人來談あれ電話本局一六五四番　京城旭町一日本自轉車保安株式會社
女中 人用　但し四十歲前後希望者は午後六時迄にて主婦の前西十一時以後は和泉町二六番地三越社宅へ來談あり度し
貸家 四疊十疊半の二階東北裏一丁又は新交町の三疊一間家賃廿圓
二十五戶の內六疊の三間用水道物置家賃廿四圓書付廿七圓
讓店 本町目拔きの場所至急御希望の御方は御照會次第讓り度し
京城黃金町二丁目電話本局二六九四番　市來鐵店へ
讓る 讓院所在社電話附都合に依り內地引上げに付格安讓る(家賃は格安にて開業者に好都合)　名在社
下宿 高等下宿新築二階建內湯の設備あり　孝子洞(新總督府官舍)岳陽館

ぜんそく患者と感冒患者とセキタンで苦しき方に一讀を乞ふ

醫學博士久保田晴光先生實驗御推賞
滿洲藥物界に於ける一大發見!
△ぜんそく患者の一大福音!
△たんせき患者の一大福音!
△勿驚タッタ一回
一回一茶匙(三瓦)の服藥を以て咳嗽止め呼吸困難去り胸自ら開けて蘇生の感あり

新藥
アストマトール

本劑は滿洲醫學博士久保田晴光先生多年御研究の結果發見せられたる藥劑にしてアドレナリン注射の如く注射の要せず內服に依つて其の効力彼よりも偉大なるを特長とす、
ぜんそく患者は勿論一般たんせき患者は兩三回の服藥を以て効を奏す、尙は體溫を增す故に感冒豫防として即効あり、
△適應症、喘息氏他急性慢性の呼吸疾患にして咳嗽喀痰多き諸症例へば氣管支炎、百日咳、肺結核、咽頭炎等
△藥價　壹圓、貳圓、四圓、七圓、の四種(但し滿洲朝鮮に限り當分の內)
製造發賣元　奉天松島町十四番地　鶴原製藥所
日本販賣所　門司市本町　鶴原誠藏商店
各地有名藥店に販賣す、若し品切れの節は著へ注文を乞ふ(說明書進呈)

ふ乞を用試御の度一非是

痔疾專門　入院隨意
京城久枝肛門病院
京城明治町二ノ三一　電話本局二一〇二番(病院用)三七一二番(自宅用)

宮內省御用達

ヒゲタ醬油
千葉縣銚子港　銚子醬油株式會社釀造
代理店
京城明治町二丁目　山邑酒造株式會社京城支店
電話長本局九一番
振替貯金口座京城七五番

ミヨシノサイダー
サクラビール
帝國鑛泉株式會社
優良な美味に富む品質本位

資本金　八千萬圓
拂込濟資本金　五千萬圓
積立金　壹千百四萬圓
本店　朝鮮京城南大門通
振替貯金口座京城三〇三番
預金、貸出、爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務並朝鮮、滿洲及支那ニ於テ日本銀行代理店トシテ國庫金ノ事務ヲ取扱申候
朝鮮銀行
總裁　美濃部俊吉
支店出張所　內地 東京 大阪 神戸 下關 / 朝鮮 釜山 大邱 仁川 群山 木浦 元山 鎭南浦 平壤 新義州 會寧 / 滿洲 大連 旅順 長春 奉天 安東 開原 四平街 哈爾賓 ... / 支那 上海 青島 天津 濟南 / 米國 紐育
右ノ外歐米其他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

通俗太閤記

松林伯知講演
加藤由太郎速記

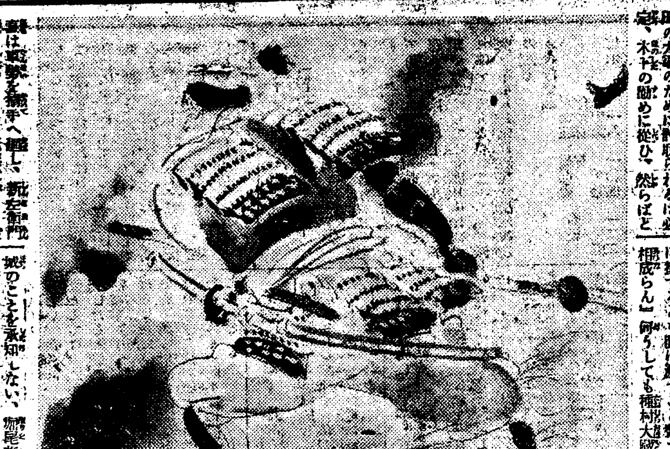
二百三十九回

衛門」新左衛門が決死の戰ひなれば我が手の所勢の由勢をば受けられい」と齋藤が之を聞いて『無念ての云氣が勇氣失はず、併し主人難儀いたせしに我等に向ひ戰ふこと共に六角入道承禎の御味方にならず主の名を思ひ却つて主人に弓を引く不忠者と相成るべし、速かに當城を退散いたして然るべし、其身が勇氣の程も我手の刷勢如何にも承知いたした」と聞くが早いかとや云はん、疾く退散いたして然るべし」と齋藤が言葉短く其理非を述べた。三輪新左衛門武士の本分に於くと云ふので一度は斯く抵抗ひをいたしたが、長く戰ひなば織田の大軍のために討取らるゝは必定、木下の勸めに從ひ、然らばと

寫眞 河原寫眞館 京城明治町一丁目 電話本局二九六一番

でない、武士に血迷らず矢弾丸を多く費さず敵城を得ることと恐るべしと、卽ち柵尾茂助を使者として城中へ申入れたるは『既に六角入道承禎は觀音寺の城を落ちて石部城へ引揚げたイ御身も速かに當城を明け渡いたされて然るべし』稻村大藏大輔、上坂主馬助は柵尾茂助より齋藤の口上を聞き兩入道は議をいたして返答をした『御尤もの儀なれども武士たるべき者一城を預り討死なさずして其城敵に渡すは武士の本分にあらず、稻村上坂の兩人決死の覺悟をいたして當城を相守る上からは、如何やうなるお使ひに接するとも明け渡すこと思ひも寄らん』

胃腸病院 京城明治町一丁目 佐々木 電話本一六五九番



勢は戰勝を得手へ擧し、新左衛門は自ら案内者となつて其の石部の大將入道承禎の陣を襲ふて引揚げる、されば佐々木家の居城たる觀音寺の本城は見るゝ間に敵の襲ひ擊を田の同勢之を乘つ取り、信長公先づ觀音寺へお乘込になり、一同の軍勢を悉く御賞讃遊ばした、何しろ織田の同勢は第一番の戰ひに勝ぬき、續いて本城を乘り取つたことなれば其勢氣宛然破竹の如く殊に作和田山を陷の時日を以て是を初起より守山日野の兩城へ軍勢を向けることになつた、日野の城へは柴田權六勝家、佐々内藏助成政、蜂屋兵庫守頼隆、一萬餘人を以て向ひ、守山へは木下藤吉郎、池田勝三郎の五千人が向ふ、此守山は稲村大藏大輔、上坂主馬助の兩人が一千人を以て籠つて居る、茲で藤吉郎の思ふには力を以て城を落ると云ふことは之は策の得た所

皮膚科 外科 専門 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二二五八番

ことを承知しない、柵尾茂助吉晴は色々に利害を說いて頻りに稲村勝城の論を承知いたした、茲で誰々守山城へ木下池田の兩勝が乘込み、先づ一同勝鬨を擧げ、戰勢を悉く我軍をいたした、稻村上坂の兩勢は守山を引揚げる、其夜に入り突然にも凡そ七八百の同勢が勝手より急に襲ひ掛る、稲村大藏の同勢が逆襲する、柵尾茂助の說得に由つて得心をいたすと見せ、其夜に至つて突然取詰め來つたのは上坂主馬助と協議の上にて敵の不意を破る所存、名に負ふ織田の奇手の大將は木下藤吉郎、斯る謀人が城中へ乘込んだので例令戰ひに勝つたればとて油斷がない、勝つて兜の緒を締める、夜討と云へど用意嚴重『ソレ敵の逆襲であるぞ』と云ふが否や池田勝三郎信輝、『必ず木下御身の手に敗はすべからず、勝三郎引受けて敵を破らんと刃渡り三尺もあらんと云ふ野太刀を揮り取り味方に下知して稲村の八百餘りの同勢へ驅向つた。稲村勢は寄手が飽までも油斷の無きと思ひ突然に敵ち來るに、思ひ掛けなく池田木下は既に油斷もなく用意充分にて、それが爲此方に射たれ彼方に破れ、見る見る内に東西に逃げ去た稲村上坂の兩勢は粉破られた、殊中て池田勝三郎信輝の勢ひ猛の如く取詰る同勢を東西に射ち散らす、大藏大輔も此に此有様を眺め、『小賢き池田の振舞、イデ大藏對抗の勝負をいたさん』と突つ掛つた。

時計御註文ハ 村木時計店へ 電話四二一

應募金品多し

【仁川通信】府廳實業所、新之會、赤十字愛國婦人會の連名にて汎く府民の義捐に訴へつゝあり、旣報の震災救護義捐金品募集は其後同情者殺到として集まり、既に府廳より去る十三日迄に送り越して發送せる品物のみにても四百餘個尙ほ此の外に古物百點を數へたので締切り期日たる九月二十日迄には莫大なる應募金品ある見込みである

將棋新手合(五)

於大連市松山台ヲダウ溫泉歡迎會席上
▲七段 將呂木光治(東京)
六段 泉宮香吉(大連)
飛香落△持駒 泉宮氏 金歩
圖は前號指了迄の局面

△四三馬(ヌ) ▲同歩 △五三成桂 ▲六一香 △六二歩 ▲同香 △五二金 ▲八一玉 △六二銀ナル ▲八二金 △(ル)五六銀(ル) ▲六六馬 △四八香 ▲九九龍 △六三成桂 ▲八五桂 △九三歩(ヲ) ▲同馬 △七二金 ▲九二玉 △八二金 △同馬 △七一成銀 ▲九三馬 △七三成桂 ▲八四馬 △八二成銀 ▲九三玉 (以下次號)

將呂木七段講評
△(ヌ)四三馬は大によろし
△(ル)五六銀打は面白からず四八香と龍に當てる方大によろし
△(ヲ)九三歩打ち手筋なり

九月十七日

(舊曆八月廿七日) 月曜 一白 ▲暗劍北方 ▲月 癸巳 ▲友引 ▲成 ▲危指

▼一白▲落着きのない日轉居旅行談判等不利失せ物北の西が吉
▼二黑▲心を勞してばかりゐて利得は少い半擴張一の日時と巽が吉
▼三碧▲好運の日思はぬ儲け事に出會す待人必ず來る巽が吉
▼四綠▲慌てふは敗目落着いて事を行うて收益の多い日西と巽が吉
▼五黃▲念に念を入れても破れ易なる日大取引見合艮と東と乾が吉
▼六白▲損に比べて利の多い日正しい事は行うて益々吉東と乾が吉
▼七赤▲目上の引立に逢ふ事ある日怠らなければ儲ね吉東と乾が吉
▼八白▲足元の見えぬ事がある進むよりは退くに利巽と坤と乾が吉
▼九紫▲心に迷ひを生じ方針を誤り易い日、飲食物注意西と艮が吉

關釜連絡船

釜山發	午前十時	午後九時三十分
十六日	朝 德壽丸	夜 昌慶丸
十七日	朝 景福丸	夜 德壽丸
十八日	朝 昌慶丸	夜 景福丸

上海のコレラ

ラクトスターゼ
整腸保健
ラクトスターゼはメチニコッフ博士の長壽說に基き暗く應用せらる▲に至りたる乳酸菌製劑にして腸内の腐敗醱酵を防止し、膽汁並に膵液の分泌機能を調節し、蛋白質の消化吸收を佳良ならしむる作用あり。腸疾豫防及治療劑として左記諸症に推奬せらる。
慢性大腸加答兒、鼓腸症、常習便秘、慢性盲腸炎、腸性皮膚病、小兒便秘等。
實驗報告集あり、御申越次第進呈す。粉末・錠劑の二種あり。
各地有名藥舖にて販賣す類似品あり、ご御注意。
東京日本橋室町 三共株式會社 出張所 大阪道修町 同 臺北市表町

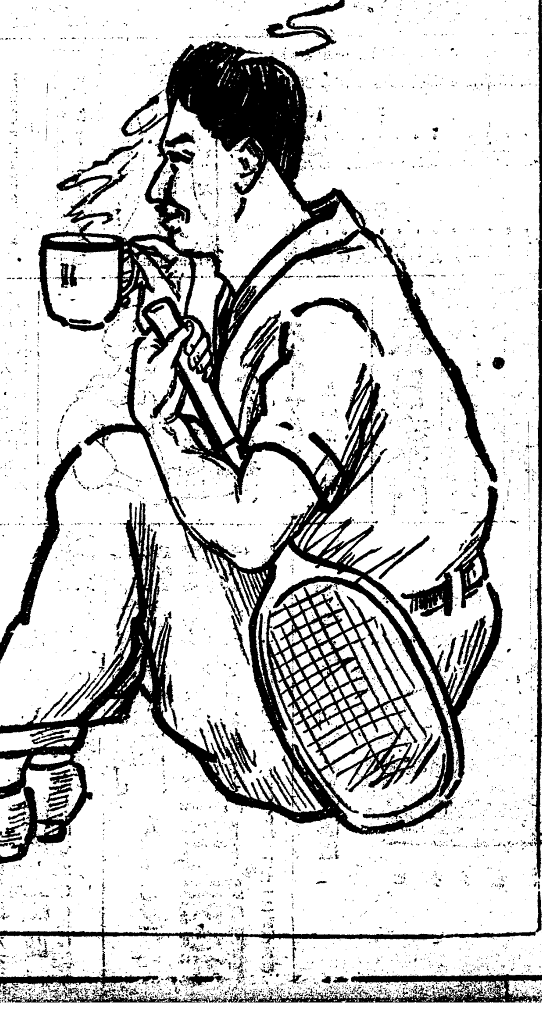
クスリは藥劑師の調劑は藥局
京城著名藥局業内 (イロハ順)
明治町二 橋爪藥局 電本二五二五番
龍山元町 林藥局 電龍三二二番
本町四 ダルマ藥局
本町一 山岸天佑堂藥局 電本二〇一四番
本町二 古城贇化堂藥局 電本一〇二番
大漢門前 愛生堂藥局 電本二四〇〇番
明治町二 阪井藥局 電本一四四四番
本町二 北島藥局 電本中六二番
本町三 ミヤモト藥局 電本三一二七番
本町三 森川回天堂藥局 電本二二七六番
藥品純良調劑確實

あんぞう病
家傳丸藥にて如何なる難病も全治す御照會あれ
仁川 吉木醬油製造場

最上醬油
朝鮮仁川港
高杉醬油釀造場

ええ氣のみなもと
ほまれみそ
醸造元 仁川港 日本醬油株式會社

旗幟幕袢天
工場大擴張
營業所移轉
京城黃金町五丁目七番地
龜屋染工場
電車花園町停留場
電話本局 一五八 二七八五番
振替京城 四三八四番

赤玉ポートワイン
お〻! この赤玉の純眞そのもの〻ごとき色よ 香よ 味よ

運動の季節!!
陸に! 海に! 山に!
高天肥馬の秋 流汗淋漓の後 清風に吹かれつ〻傾けるラクトーゲンの滋味……知る人ぞ知る
サラくさした粉末純乳
ラクトーゲン
近來類似品や模倣品が澤山現れて居りますから御注意下さい
飲め! 味へ!
滋養の精!
イヌイ
乾卯食料品株式會社
本店 大阪市東區伏見町二丁目 支店 東京市丸ノ内ビルディング内